はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

- 本書の「安全上のご注意」には、安全確保に必要な重要事項が記載されていますので、必ずお読みください。
- 使いはじめるときは、クイックスタートガイドに記載の「セットアップ」、「パソコンとの接続」を行ってください。GENIO eでインターネットやメールを利用するには、本書に記載の「インターネットの接続」、「電子メールの接続設定」を行ってください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが本書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 別売品や市販品をご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- 本書に記載している説明用画面は、実際の画面と多少異なる場合があります。

■商標

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Pocket Outlook、Windows、Windows Media、MSN、Hotmail、Windowsロゴ、MSNロゴ、Officeロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel XScale は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国SanDisk Corporationの登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- Macromedia、 FlashおよびMacromedia Flashは、Macromedia, Inc.の米国および全世界における商標または登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス社の商標です。
- SDロゴは、商標です。
- VGAは、IBM Corporationの登録商標です。
- ConfigFreeは、株式会社東芝の登録商標です。
- 本取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

安全上のご注意

・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた商品を安全にお使いいただくために、重要な事項を記載しています。
・次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること”を示します。

＊ 1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
＊ 2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊ 3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	●は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信機会の消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害、および通常当社が想定することができない使用方法(含む使用環境)により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置(内部メモリ、メモリカードなど)に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。記録内容の消失に伴う損害を最小限にするために、定期的にバックアップをお取りください。

本体の取扱いについて

⚠警告

自動車などの運転中、および歩行中は使用しない

交通事故や、けがの原因となります。

禁　止

ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れない

端子（金属部分）を金属で接続しない

発火や発熱、故障の原因となります。

禁　止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本体の破損およびバッテリパックの発火、破裂、液もれの原因となります。

禁　止

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、バッテリスイッチを停止側にする

そのまま使用すると、火災の原因となります。点検・修理はお買い求めの販売店またはお近くの保守サービスへご依頼ください。

指　示

航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では電源を切り、使用しない

禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認のうえ、指示に従ってください。誤って使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

禁　止

火の中へ投げ入れたり、加熱したりしない

バッテリパックが発火、破裂、液もれする原因となります。

禁　止

⚠警告

次の場所では使用、充電、保管しない
- **浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所**
- **雨、霧などが直接入り込むような場所**
- **火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所**
- **直射日光が当たる場所**
- **炎天下の閉めきった車内**

バッテリパックが発火、破裂、液もれ、発熱する原因となります。また、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

禁止

バッテリパックから液もれしたときは、液には触れない

液が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目に入ったときはこすらず、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに眼科専門の医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁止

ビニール袋などの梱包材料は幼児の手の届かないところに保管すること

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。

指示

分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスへご依頼ください。

分解禁止

⚠注意

ヘッドセット（別売品）、イヤホン（市販品）またはヘッドホン（市販品）を接続してご使用になるときは、音量を上げすぎたり、長時間使用しない

聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

幼児の手の届く場所には置かない

スタイラスなど、先が尖ったもので、思わぬけがなどの原因となります。

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談する

この商品に使用している材料、表面処理により、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶にふれない

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

近くにコップ、花びんなど、液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データが消えるなどの原因になります。万一本体内部に入った場合は、電源プラグを抜き、バッテリパックも本体から抜き、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

本製品を持ち運ぶ場合は、ACアダプタを取りはずす

ACアダプタを取り付けたまま持ち運ぶと、コネクタ部分に無理な力が加わり、発火、故障の原因になります。

バッテリパックの取扱いについて

⚠危険

製品付属のバッテリパックは、本製品以外で使わない

バッテリパックの性能や寿命が低下したり、発火、破裂、発熱する原因になります。

分解したり、改造しない

バッテリパックには、安全装置や保護装置が組み込まれています。これらを損なうとバッテリパックが発火、破裂、発熱する原因になります。

火のそばや、炎天下などでの充電はしない

バッテリパックが発火、破裂、液もれ、発熱する原因になります。

バッテリパックの充電は、製品付属のACアダプタ、クレードルを使用する

バッテリパックが発火、破裂、発熱する原因になります（参照 12ページ）。

バッテリパックを使用時、次のことを守る

- 水や海水などにつけたり、ぬらさない
- 火のそばなどの高温の場所で使用したり、放置しない
- 火の中に投入したり、加熱しない
- （＋）（－）を逆にして使用しない
- （＋）（－）を針金などの金属で接続しない。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- 直接ハンダ付けしない
- 乾電池などの一次電池や、容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わない

バッテリパックが発火、破裂、発熱する原因になります。

⚠警告

バッテリパックから液もれしたときは、液には触れない

液が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目に入ったときはこすらず、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに眼科専門の医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

バッテリパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
また、安全を確認してからバッテリパックを本体からはずす

発火、破裂、液もれ、発熱の原因になります。

バッテリパックから液もれしたり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざける

もれた液に引火し、破裂する原因となります。

⚠注意

バッテリパックを本体に取り付けるときは、しっかりと取り付けられているかどうか確認する

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリパックがはずれ落ちて、けがの原因になります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電しない

発火、破裂、液もれ、発熱の原因になります。

一般のゴミと一緒に捨てない

発火、環境破壊の原因になることがあります。
不要となったバッテリパックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからリサイクル協力店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて

⚠警告

付属のACアダプタ、電源コード、クレードルを使用する

付属以外のものを使用すると、発火や発煙、故障の原因となります。

指示

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

浴室など、水がかかる場所で使用しない

濡れると発火、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

充電時のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

内部の温度が上がり、やけど、火災、故障の原因となります。

禁止

電源プラグは、家庭用交流100Vコンセントに接続する

それ以外のコンセントに接続すると、火災、故障の原因となります。

指示

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

指示

ACアダプタの近くに、コップなどの液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、発火や感電、故障の原因となります。

水ぬれ禁止

電源プラグの差刃や差刃付近にほこりがついているときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりをふき取る

電源プラグにほこりがたまると絶縁低下により、火災の原因となります。

指示

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損し、発火、感電の原因となります。

ビニール袋などの梱包材料は幼児の手の届かないところに保管すること

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。

分解・改造・修理をしない

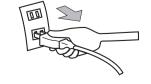
火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い求めの販売店へご依頼ください。

⚠注意

長期間ご使用にならないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

発火、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く

コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、発火、感電の原因となります。

電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る

・傷つけない　・加工しない
・ねじらない　・無理に曲げない
・引っ張らない・物を載せない
・加熱しない　・熱器具に近づけない
・コードをつぎ足さない
・机、家具などを載せてつぶさない
・ドアなどにはさまない
・クギやステープルで固定しない

守らないと、やけど、火災、感電の原因となります。
もし、電源コードが破損したときは、お買い求めの販売店にご相談の上、新しい電源コードを購入してください。

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて つづき

⚠注意

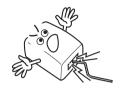
端子（金属部分）を針金などの金属類で接続しない

発熱し、やけどの原因となります。

禁　止

幼児の手の届く場所には置かない

けがなどの原因となります。

禁　止

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしない

タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電の原因になります。

禁　止

付属または別売りの指定されたACアダプタを使ってください。

指　示

無線通信について

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されているかたが、付近にいる可能性がある場所では本製品の電源スイッチをOFFにする

電波によりペースメーカおよび除細動器の動作に影響を与える原因になります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器装着部から本製品を22cm以上離す

電波によりペースメーカおよび除細動器の動作に影響を与える原因になります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは本製品の電源スイッチをOFFにする、また、医療用電気機器を近づけない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカやその他の医療用電気機器をお使いの方は、無線LANやBluetooth™のご使用にあたって、医師とよく相談する

電波により、心臓ペースメーカや医療用電気機器の動作に、影響を与えることがあります。

航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、本製品の電源スイッチをOFFにする

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは本製品の電源スイッチをOFFにする

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

⚠警告

本製品使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は本製品の電源スイッチを OFF にする

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか自動車販売店へ確認する

安全走行を損なう原因になります。

ご使用上のお願い

■使用環境や使用方法について

- **次の周囲環境条件の場所でご使用ください。**
  温度０～40℃（充電時約５～35℃）
  湿度30～80%RH

- **次の場所では使用、保管しないでください。**
  ・極端な高温、低温の場所
  ・ホコリの多い場所
  ・振動の強い場所
  ・電気的ノイズが発生しやすい場所
  ・腐食性の薬品のそば
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

- 本体とパソコンなどの外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。
  乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。

- **雷が鳴っているときは、使用したり、充電したりしないでください。**
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

- **急激な温度変化を与えないでください。**
  結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
  結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

- ACアダプタは、温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。
  あとがつくことがあります。

- 使用中や使用直後は、本体やACアダプタの表面が温かくなっていることがあります。異常ではありませんが、ご注意ください。
  持ち運ぶときは、電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。

- 本体を持ち運ぶときに、カバンなどの中で本体の電源スイッチやボタンが押されないように気をつけてください。
  自然に電源が入ってしまうことがあります。

- 照明について、次のことに気をつけてください。
  ・日光や照明が画面に反射しないようにして保持してください。
  ・薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
  ・明るい照明や日光が直接眼に入るような場所での使用はさけてください。
  ・なるべく、柔らかい間接照明などを使用してください。
  ・書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

● 健康のために、次のことに気をつけてください。
・長時間画面を見続けないようにしてください。
・15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。

■故障や破損を防ぐための取り扱いについて

● GENIO eは精密機器です。タッチスクリーンやスタイラス、筐体の破損、故障を防ぐため、ていねいな取り扱いをお願いします。

・スタイラスでタッチスクリーンをタップするとき、強く押し付けないでください。

・落としたり、ねじったり、強い衝撃を与えたりしないでください。

・指でタッチスクリーンを押さえ付けないでください。

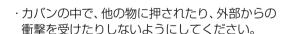
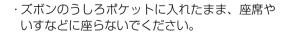
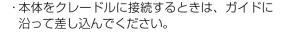
・上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。

・荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、他の物の下にならないようにしてください。
固い本などに挟み込むのも、かえって破損につながる可能性があります。

・カバンの中で、他の物に押されたり、外部からの衝撃を受けたりしないようにしてください。

・ズボンのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。

・本体をクレードルに接続するときは、ガイドに沿って差し込んでください。

ご使用上のお願い　つづき

- **本体に取り付けているカードに強い衝撃を与えないでください。**
  カードや本体の破損、故障の原因となります。

- **本体にカードを取り付けたまま持ち運びしないでください。**
  カードに物が当たり衝撃が加わるとカードや本体の破損、故障、またはカードが本体からはずれて紛失するおそれがあります。

■お手入れについて

- **お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。**
  色や形が変わる原因となります。
  汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。

- **濡れた布でタッチスクリーンをふかないでください。**
  濡れた手で触れないでください。
  故障、誤動作の原因となります。
  タッチスクリーンの汚れは、やわらかい乾いた布で、軽くふいてください。強く押し付けてふかないでください。

- **端子（金属部分）をときどき乾いた布などで清掃してください。**
  汚れていると接続不良、充電不良の原因となります。

■接続機器や、使用するソフトウェアについて

- ご使用するソフトウェアプログラム（アプリケーションプログラム）によっては、本体に搭載しているプロセッサ（PXA272）の処理能力を十分に引き出せないものがあります。

- この本体のOSは、Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition software for Pocket PC日本語版です。GENIO eシリーズには、OSがMicrosoft® Windows Mobile™ 2003 software for Pocket PC日本語版やMicrosoft® Pocket PC 2002 Software日本語版、Microsoft® Windows for Pocket PC日本語版のものもあります。OSの違いによって動作しないソフトウェアプログラム（アプリケーションやドライバなど）もあります。その場合はソフトウェアプログラムの開発元にお問い合わせください。

ご使用上のお願い　つづき

- 他社製の接続機器につきましては、当社で動作を保証するものではありません。
  他社製の接続機器の動作確認状況につきましては、各社にお問い合わせください。

■通信データの保護について

- 無線LAN、Bluetooth、通信カードなどを利用して、データを送受信する場合、電波を使用するため、第三者に送受信データを傍受される可能性があります。留意してご利用ください。データを暗号化すれば、データの機密性・保護性が高まります。データを暗号化して送受信することをお勧めします。送受信データが傍受され、それにより生じた損害について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■記憶データについて

- メモリカード、Flash ROM Diskへ書き込み・読み出し中は、電源を切ったり、メモリカードを取り出したりしないでください。メモリカード、Flash ROM Disk、本体、記憶データが、破壊されるおそれがあります。
- **重要な本体内の記憶データは、定期的にメモを取ったり、メモリカード（別売品）やパソコン（ActiveSyncでデータ転送する）に保存して、控えを取っておいてください（参照 55、104ページ）。**
  次のようなときに記憶データが消えます。
  ・バッテリスイッチを停止側にしたとき
  ・バッテリパックの充電残量がなくなった（放電しきった）とき
  ・内蔵電池の充電残量がなくなった（放電しきった）とき
  ・内蔵電池が著しく消耗している場合にバッテリパックを交換したとき
  次のようなときに記憶データが消えるおそれがあります。
  ・電源が入ったままバッテリパックを交換したとき
  ・誤った使いかたをしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・故障したり、修理に出したとき
- 本体の故障や修理において、またはバッテリパックや内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ご使用上のお願い　つづき

■バッテリパックについて

- バッテリパックは、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、バッテリパックが放電しきる場合があります。定期的にバッテリパックの充電残量をチェックして、充電を行ってください。
- 充電能力が著しく低下した場合や、バッテリパックの充電残量がなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けないでください。
  そのまま使い続けると、本体内の記憶データが消失するおそれがあります。手順に従いバッテリパックの充電をするかもしくは充電した別のバッテリパック（別売品）に交換してください。

■電波について

- 次の場所では使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生する場所
  環境により、電波が届かない場合があります。
- 本製品には、小電力データ通信システムが内蔵されており、その使用周波数帯は、2,400MHz ～2,483.5MHz です。この周波数帯は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置（移動体識別用の構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。
- 同じ周波数帯の無線LANまたはBluetoothが近距離で使用されていると電波が干渉し合い、通信速度の低下、または通信エラーが発生する可能性があります。
  そのときは干渉しない距離まで離れるか、どちらかを切断してください。
- 本製品のBluetoothと無線LANは同じ周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。
  接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- 電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 無線区間では故意に第三者によりデータ傍受がされることがあります。留意してご利用ください。

ご使用上のお願い　つづき

- 本製品の使用周波数帯（2.4GHz帯）では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品と「他の無線局」の間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は本製品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  3. その他、本製品と「他の無線局」の間に電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社窓口へご相談ください。

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術基準適合証明を受けています。
  本製品の分解・改造や、裏面の証明ラベルをはがすと、法律により罰せられることがあります。

■廃棄について

- **バッテリパックについて**
  バッテリパックは、リチウムイオン充電池を使用しています。
  不要になったバッテリパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

バッテリパック（充電式電池）の回収、リサイクルについてのお問い合わせ先
有限責任中間法人 JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

● GENIO e本体について

不要になった本体については、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体に問い合わせてください。（プリント基板の製造で使用するはんだには鉛が内蔵電池にはニッケルが含まれています。）

【企業で GENIO e をご使用のお客様へ】

本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先
東芝パソコンリサイクルセンター
〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町 20-1 株式会社テルム内
電話番号：045-510-0255
受付時間：9:00 ～ 17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX：045-506-7983（受付時間：24 時間）

■用途制限について

● 本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではありませんので、それらの用途に使用しないでください。

＊１　人の生命に直接関わる装置等とは、次のようなものを言います。
- 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

● 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（*3）が必要となるので、ご注意ください。

＊２　人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、次のものを言います。
- 原子力発電所の主機制御システム
- 原子力施設の安全保護系システム
- その他安全上重要な系統およびシステム
- 集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム

＊３　特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

ご使用上のお願い つづき

■輸出規制

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社窓口にお問い合わせください。
なお、この機器に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

■電波障害自主規制

この機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この機器は家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

■著作権

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

もくじ

第6章　無線LANによるネットワークとの接続 ‥ 215

第7章　Bluetooth通信の利用 ・・・・・・・・・・・・・・ 239

第8章　困ったときは ･････････････････････ 271

付録 ･･････････････････････････････････････ 313

第1章
ご利用いただく前に

1. 本書内の表記について

本書は、次の決まりに従って書かれています。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
お知らせ	知っていると便利な内容を示します。

■用語

- Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- Pocket PCとは、Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition software for Pocket PC 日本語版、Microsoft® Windows Mobile™ 2003 software for Pocket PC日本語版、Microsoft® Pocket PC 2002 Software日本語版、Microsoft® Windows® for Pocket PC日本語版を搭載した情報携帯端末を示します。
- 本書では、コンパクトフラッシュカード、コンパクトフラッシュメモリカードの呼びかたをCFカード、CFメモリカードで統一して表記しています。

2. 各部のなまえと機能

本体

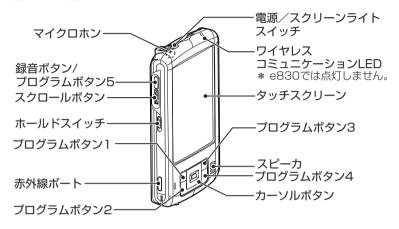
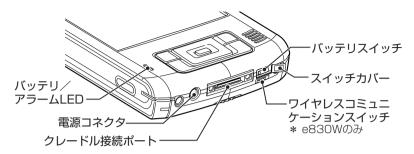
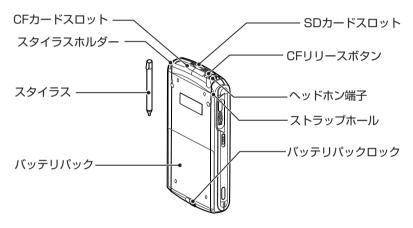
■前面・左側面

■右側面

■底面

バッテリスイッチ
スイッチカバー
バッテリ／
アラームLED
ワイヤレスコミュニケーションスイッチ
＊ e830Wのみ
電源コネクタ
クレードル接続ポート

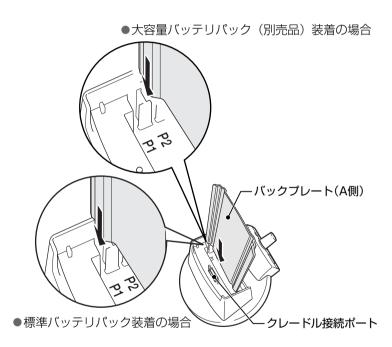
■背面

CFカードスロット
SDカードスロット
スタイラスホルダー
CFリリースボタン
スタイラス
ヘッドホン端子
ストラップホール
バッテリパックロック
バッテリパック

クレードル

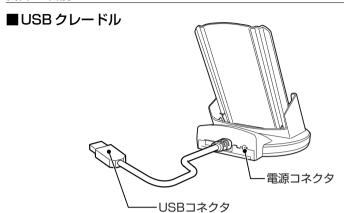
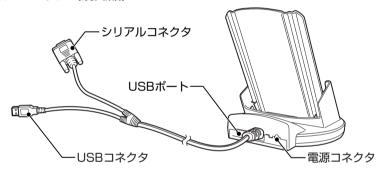
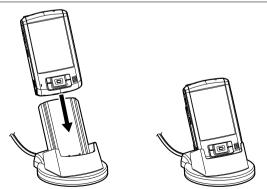
組み立てかた

次の手順に従って組み立ててください。

1 バックプレートのＡ側をクレードル接続ポート側に向け、クレードルのくぼみに合わせ、挿入する

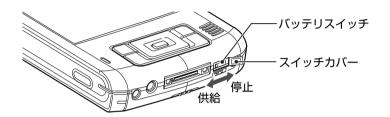
Ａ側については、バックプレートに貼られたラベルでご確認ください。標準のバッテリパックを装着した本体をクレードルに差し込む場合は、バックプレートをP1と書かれたくぼみに、大容量バッテリパック（別売品）を装着した本体をクレードルに差し込む場合は、バックプレートをP2と書かれたくぼみに挿入してください。

● 奥までしっかり差し込んでください。

各部の名前

■USB クレードル

■クレードル（別売品）

本体とクレードルの接続

- ガイドに沿って、奥までしっかり差し込んでください。
- 本体をクレードルから外すときは､片手でクレードルを軽く押さえた状態で、ガイドに沿って引き抜いてください。

バッテリスイッチ

バッテリスイッチで、バッテリパックからの電源を供給／停止します。
工場出荷時は「停止」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、スタイラスのペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。

- バッテリスイッチは、スイッチカバーを開けたところにあります。スタイラスのペン先などでスイッチカバーを開けてください。

お願い

- バッテリスイッチを「停止」にすると、本体が初期化され、お客様が登録したデータなどが消え、工場出荷時状態に戻ります（参照 309ページ）。
- Flash ROM Diskに残ったファイルやフォルダの消去は、ファイルエクスプローラなどで行ってください。

電源／スクリーンライトスイッチ

電源のON／OFFとスクリーンライトのON／OFFを行います。

電源／スクリーンライトスイッチ	電源OFFのとき	電源ONのとき
長く押す	電源がONする	スクリーンライトがON／OFFする
短く押す	電源がONする	電源がOFFする

- スクリーンライトをONにすると、画面を明るくすることができます。また画面の明るさを調整することもできます（参照 77ページ）。

バッテリ／アラームLED

本体の状態をお知らせします。

- オレンジ色の点滅････「予定表」で設定したアラーム時刻や「仕事」で設定した期日の午前8時になると点滅します。
- オレンジ色の点灯････バッテリパックの充電中です。

- 黄色の点滅 ･････････････ 周囲温度が低すぎる、または高すぎるため、バッテリパックの充電を一時停止している状態です。周囲温度が約 5 ～ 35℃の環境で充電を行ってください。
- 緑色の点灯 ･････････････ バッテリパックの充電が完了しました。

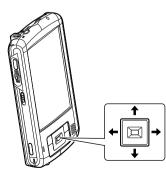
プログラムボタン

電源がOFFのときでも、プログラムボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているプログラムが起動します。
初期状態では、次のプログラムに設定されています。

お知らせ

- プログラムボタンの割り当て設定を変更できます（参照 71 ページ）。
- Windows Media™ Player を起動している場合のみ、オーディオ／ビデオファイルの再生や停止などの操作を行えます（参照 192 ページ）。

カーソルボタン

カーソルボタンの各方向部を押すことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。

カーソルボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。方向によってはカーソルが移動しない場合があります。
- カーソルの移動方向を、「4方向」と「8方向」のどちらかに設定し直すことができます（参照 72ページ）。

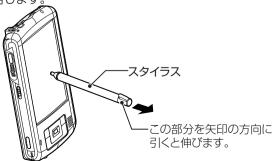
スクロールボタン

スクロールボタンを2方向に動かすことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
また、スクロールボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。

スタイラスの使いかた

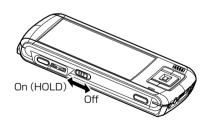
スタイラスは本体のタッチスクリーン上で、メニューの選択やデータを入力するときに使用します。

スタイラスは次のような使いかたをします。

- タップ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ タッチスクリーンを軽く 1 回タッチする操作です。画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- タップアンドホールド‥‥ タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると青の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- ドラッグ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

お願い

- 本体のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラスをご使用ください。
- スタイラスの先が破損した場合は、ご使用にならないでください。先が破損したスタイラスや、ボールペンの先でタッチスクリーンの操作をすると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- スタイラスは消耗品です。破損したら新しいスタイラスをお買い求めください。

ホールドスイッチ

ホールドスイッチを「On」（HOLD）側に移動すると、ナビゲーションバー（参照 34、39 ページ）に 🔑 が表示され、プログラムボタン、カーソルボタン、スクロールボタンの操作を無効にすることがきます。
ホールドボタンを「Off」側に移動すると、通常どおり各ボタンを使用できます。

Flash ROM Disk

本体には、Flash ROM Disk が内蔵されています。Flash ROM Disk は、本体メモリとは別に用意されている、本体内蔵の記憶装置です。CF メモリカードやSDメモリカードと同じように、データやアプリケーションプログラムを保存できます。また、「データバックアップ」で、バックアップファイルの保存先に指定することができます（参照 105 ページ）。

Flash ROM Diskのデータは、「ファイルエクスプローラ」で管理ができます。初期化を行ったあと、Flash ROM Disk に残ったファイルやフォルダの消去は、「ファイルエクスプローラ」 などで行ってください。

1 「スタート」 の 「プログラム」 から 「ファイルエクスプローラ」 をタップする

「ファイルエクスプローラ」 の画面が表示され、購入時の状態では、My Documents のファイルとフォルダの一覧が表示されます。

2 「My Documents▼」 をタップし、「マイデバイス」 をタップする

「マイデバイス」 のファイルやフォルダの一覧が表示されます。

3 「Flash ROM Disk」 をタップする

Flash ROM Disk のファイルやフォルダの一覧が表示されます。
「ファイルエクスプローラ」 について詳しくは、（参照 60 ページ）をご覧ください。

Flash ROM Disk の使用容量や空き容量は、設定機能の 「メモリ」 で確認できます（参照 80 ページ）。

お願い

- Flash ROM Diskへ書き込み・読み出し中は、電源を切ったり、リセットや初期化を行わないでください。本体やFlash ROM Disk、記憶データが、消失するおそれがあります。
- Flash ROM Disk に保存されたデータは、「データバックアップ」 でバックアップすることはできません。「ファイルエクスプローラ」でメモリカードにデータをコピーして、バックアップをとってください。

3. バッテリパックの充電

初めて使うときは、バッテリスイッチを「供給」にしてから（参照 7ページ）、AC アダプタを使って、必ず４時間以上充電を行ってください。

充電のしかた

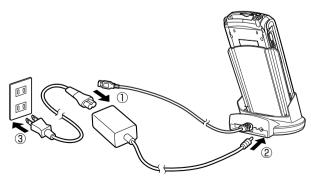
接続には次の方法があります。

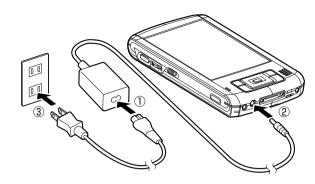
お願い

- 本体とACアダプタを接続するときは、本体の電源をOFFにしてから行ってください。
- 初めて使うときは、メモリ保持用の充電可能な内蔵電池を満充電にするために必ず４時間以上充電を行ってください。

お知らせ

- 充電は、周囲温度が約５～35℃の環境で行ってください。周囲温度が低すぎても、高すぎても充電を一時停止します。動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。バッテリ／アラームLEDの黄色の点滅は、充電の一時停止を示します。電源を切ってしばらく待ってから充電してください。
- 充電中は、バッテリ／アラーム LED がオレンジ色に点灯します。
- 満充電になると、バッテリ／アラーム LED が緑色に点灯します。
- 本体電源がOFFの状態で充電を行った場合、電池残量0から満充電になるまでに、標準のバッテリパックで約４時間、大容量バッテリパック（別売品）で約8時間かかります。充電時間は周囲温度などによって変わります。

■付属の AC アダプタと USB クレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込む

- クレードル（別売品）も同様の手順で接続します。

■付属の AC アダプタと本体を図のように接続する

お知らせ

- 別売りのバッテリパックまたは大容量バッテリパックをお求めの場合は、バッテリチャージャ（別売品）を使用してバッテリパック単体で充電することもできます。詳しくは、『バッテリチャージャ取扱説明書』をご覧ください。

バッテリパックの使用時間を長持ちさせるには

- AC アダプタを接続して、本体を使用する。
  特に次のような動作をするときは電力の消費が大きいので、ACアダプタを使用してください。
  ・本体とパソコンを接続して動作するとき
  ・本体にメモリカードや、その他のオプション機器を接続して動作するとき
- 「パワーマネージメント」で自動的に電源 OFF にする時間を短く設定する。
  本体の操作を一定時間行わないとき、自動的に電源をOFFにすることができます。設定時間を短くしてください（参照 76 ページ）。
- スクリーンライトを OFF にする（参照 7 ページ）。
- スクリーンライトの明るさレベルを「やや暗い」側にする。また使用していない時間に応じて消灯するまでの時間を短くする（参照 77 ページ）。
- Windows Media Player 再生中は、画面表示を消す(参照 197 ページ)。
- バッテリパックの性能が最も発揮できる、周囲温度 15 ～ 25℃の環境で使用する。
  ・高温／低温の場所では、バッテリパックの充電容量が低下して、使用できる時間が短くなります。

バッテリパックの寿命

バッテリパックには寿命があります。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。極端に使用時間が短くなってきたら交換時期です。新しいバッテリパックに交換してください。なおバッテリパックの寿命は使用状態などによっても変わります。

● 本体を、炎天下の閉め切った車の中や冬の屋外など、高温・低温の場所に放置しないでください。バッテリパックの寿命が短くなります。

お知らせ

● GENIO eを数日間使用しなかった場合、バッテリ充電レベル表示が正しく表示されなくなることがあります。ご使用前に2～3時間充電を行ってください。

充電残量と記憶データの保護

バッテリパックの充電残量がなくなる（放電しきる）と本体の電源が入らなくなります。そしてそのまま放置すると本体内に記憶したデータが消えてしまいます。

本体内の記憶データは、定期的にメモリカードやパソコンに保存しておいてください（参照 58、104 ページ）。

バッテリパックの充電残量が少なくなったことを示す、警告メッセージ（参照 299 ページ）やステータスアイコン（参照 35 ページ）が表示されたら、ただちに充電を行ってください

● ステータスアイコン

…………バッテリパックの充電残量が約 10%以下になっています。

お知らせ

● バッテリパックは、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、バッテリパックが放電しきることがあります。
● バッテリパックが放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
● バッテリパックまたは大容量バッテリパック装着時、電源が入らなくなってから、記憶したデータを最大72時間保持します。保持時間はバッテリパックの消耗状態や使用状況により異なります。

バッテリパックの交換

お願い

- 交換用のバッテリパックまたは大容量バッテリパック(別売品)は、十分に充電されたものをご用意ください。
- バッテリパックの交換はすみやかに行ってください。
  本体内にデータ保持用の充電可能な内蔵電池があり、内蔵電池が満充電かつバッテリパック未装着時に、記憶したデータを３分間保持します。
- バッテリパックを交換した直後は、内蔵電池の充電残量が減っています。
  内蔵電池を満充電にするためには、バッテリパックを４時間以上装着したままにするか、ACアダプタを接続して４時間以上充電を行ってください。
- バッテリパックを交換するときにバッテリスイッチを「停止」にしないでください。バッテリスイッチを「停止」にすると本体が初期化されます。
- バッテリパックが装着されていないと、本体の電源がＯＮできません。
  バッテリパックロックが通常の位置に戻り、バッテリパックが本製品に正しく装着されていることを確認してください。
- 通常は上記を守れば初期化は起こりませんが、内蔵電池が満充電かつバッテリパックを３分以内に交換しても、万が一本体が初期化された場合は、使用年数が経過し、内蔵電池が著しく消耗していますので修理をご依頼ください。
  内蔵電池はお客様が交換することはできません。内蔵電池は消耗品です。保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

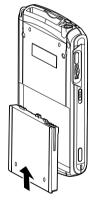
1 **AC アダプタをはずし、電源スイッチで電源を OFF にする**
（参照 ７ページ）

2 **数秒待つ**

3 **バッテリパックロックを指先で左へスライドする**
バッテリパックが斜めに持ち上がります。

4 バッテリパックを取りはずす

5 新しいバッテリパックを斜めに挿入し、奥までしっかり押し込む

バッテリパックロックが自動的にスライドして「カチッ」という音がします。

大容量バッテリパック（別売品）への交換

お願い

- 交換用のバッテリパックまたは大容量バッテリパック(別売品)は、十分に充電されたものをご用意ください。
- バッテリパックの交換はすみやかに行ってください。
  本体内にデータ保持用の充電可能な内蔵電池があり、内蔵電池が満充電かつバッテリパック未装着時に、記憶したデータを３分間保持します。
- バッテリパックを交換した直後は、内蔵電池の充電残量が減っています。
  内蔵電池を満充電にするためには、バッテリパックを４時間以上装着したままにするか、ACアダプタを接続して４時間以上充電を行ってください。
- バッテリパックを交換するときにバッテリスイッチを「停止」にしないでください。バッテリスイッチを「停止」にすると本体が初期化されます。
- バッテリパックが装着されていないと、本体の電源がＯＮできません。
  バッテリパックロックが通常の位置に戻り、バッテリパックが本製品に正しく装着されていることを確認してください。
- 通常は上記を守れば初期化は起こりませんが、内蔵電池が満充電かつバッテリパックを３分以内に交換しても、万が一本体が初期化された場合は、使用年数が経過し、内蔵電池が著しく消耗していますので修理をご依頼ください。
  内蔵電池はお客様が交換することはできません。内蔵電池は消耗品です。保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

1 **AC アダプタをはずし、電源スイッチで電源を OFF にする**
（参照 ７ページ）

2 **数秒待つ**

3 **バッテリパックをはずす**
（参照 15 ページ）

4 オプションの大容量バッテリパックの上部のストッパーをGENIO e裏面のスロットに入れ、下部はガイドに合わせて上方に押して挿入する

奥までしっかり押し込んでください。バッテリパックロックが自動的にスライドして「カチッ」という音がします。

お知らせ

- オプションの大容量バッテリパックはバッテリパックと同じようにロックをスライドすることで GENIO e よりはずせます。

4. 初期セットアップ

初めて電源を入れたときや、本体を初期化したときは、「Pocket PC」の画面が表示されます。画面の説明に従って初期セットアップを行ってください。

1 「Pocket PC」の画面をタップする

2 「タッチスクリーンの補正」を行う

- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5 回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。

3 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、「次へ」をタップしてください。

4 ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明に従って、「ポップアップメニュー」を開く操作と「切り取り」、「貼り付け」を行ってください。
- 「貼り付け」をしたら「次へ」をタップしてください。

5 場所を設定する

- 通常はそのまま「次へ」をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。必要に応じて本製品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。

6 初期セットアップ画面を閉じる

- 「完了」の画面をタップすると「Today」画面が表示され、本体を使用開始できます。
- ご使用になる前に、現在地の日時を設定してください（参照 75 ページ）。

お知らせ

- 「Today」画面については（参照 34 ページ）をご覧ください。

5. 外部機器の接続

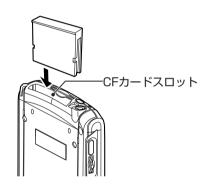
CF カードスロットにカードをセットする

■カードのセット

1 本体の電源を OFF にする

2 ダミーカードがある場合は取り出す

3 CFカードスロットの向きと、カードの向きが合うように確認して差し込む

カードは、ゆっくり奥まで確実に差し込んでください。

■カードの取り出し

1 本体の電源を OFF にする

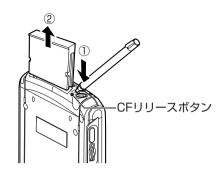
2 スタイラスで CF リリースボタンを押す①

CF リリースボタンが出てきます。

3 出てきた CF リリースボタンを押す

カードが少し出てきます。

4 カードを抜く②

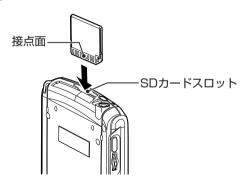
お願い

- 本体へのホコリやゴミの侵入を防止するため、長時間使用しないときは、ダミーカードをスロットに挿入することをおすすめします。

SD カードスロットにカードをセットする

■カードのセット

1 本体の電源を OFF にする

2 ダミーカードがある場合は取り出す

3 カードの接点面（金属の部分）を本体背面側に向けて、カチッと音がするまで差し込む

■カードの取り出し

1 本体の電源を OFF にする

2 カードを指で軽く、カチッと音がするまで押し込み、指を離す①

3 カードが少し飛び出してきたら、ゆっくり引き抜く②

お願い

● 本体へのホコリやゴミの侵入を防止するため、長時間使用しないときは、ダミーカードをスロットに挿入することをおすすめします。

パソコンとの接続

次の機器を使って、本体とパソコンを接続できます。

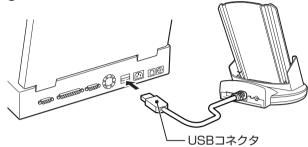
● USB クレードル（付属品）
● クレードル（別売品）
● USB シンクケーブル（別売品）
● シリアルシンクケーブル（別売品）

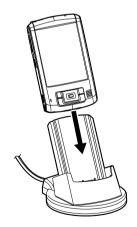
初めてパソコンと接続するときは、先にパソコンに ActiveSync® 3.7.1 をインストールしてください（参照 57 ページ）。
本体とパソコンを接続して、データの同期や受け渡しを行うには、「パソコンと接続して同期をとる」（参照 55 ページ）をご覧ください。

● 本体の電源が ON の状態で接続してください。
● パソコン側の接続ポートの位置などが、パソコンによって異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

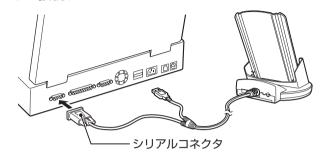
USB クレードルやクレードルを使って接続する

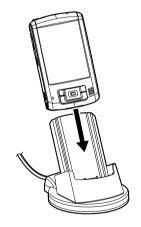
■ USB ポートに接続する

1 USB クレードルの USB コネクタを、パソコンの USB ポートに接続する

- このときはクレードルに本体を接続しないでください。
- イラストは USB クレードルの場合です。クレードル（別売品）も同様の手順で接続します。

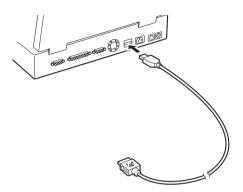
2 クレードルに本体を接続する

- ガイドに沿って奥までしっかり差し込んでください。

■シリアルポートに接続する

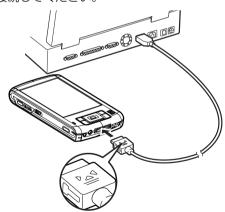
1 クレードル（別売品）のシリアルコネクタを、パソコンのシリアルポートに接続する

- このとき USB コネクタはパソコンに接続しないでください。
- このときはクレードルに本体を接続しないでください。

2 クレードルに本体を接続する

- ガイドに沿って奥までしっかり差し込んでください。

USB シンクケーブル（別売品）を使って接続する

1 パソコンのUSBポートに直接、USBシンクケーブルのみを接続する

- このときはUSBシンクケーブルに本体を接続しないでください。

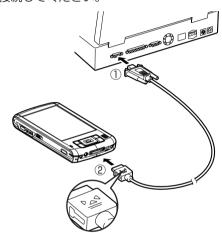
2 USBシンクケーブルに、電源をONにした本体をしっかり接続する

- ケーブルコネクタに刻印されている△マークが表面になっていることを確認して接続してください。

シリアルシンクケーブル（別売品）を使って接続する

1 **パソコンのシリアルポートに直接、シリアルシンクケーブルのみを接続する①**

● このときはシリアルシンクケーブルに本体を接続しないでください。

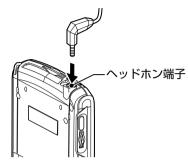
2 **シリアルシンクケーブルに、電源を ON にした本体をしっかり接続する②**

● ケーブルコネクタに刻印されている△マークが表面になっていることを確認して接続してください。

お願い

● 静電気が発生しやすい場所や、電気的ノイズが大きい場所での使用時には、ご注意ください。
ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障や、静電気・電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

ヘッドセットの接続

ヘッドセット（別売品）やヘッドホン（市販品）を本体に接続して、本体の出力音声を聞くことができます。このとき、スピーカからの音声出力は止まります。図のようにヘッドホン端子に接続してください。

お願い

- 接続できるヘッドホンは、φ 3.5mm ステレオミニプラグのタイプです。
- 次のような場合にはヘッドホンを着用しないでください。大きな雑音が発生する場合があります。
  ・本体の電源を入れる / 切るとき
  ・ヘッドホンを本体に取り付け / 取りはずしするとき
- 音量を小さくしておいてからヘッドホンを着用してください。着用後、適切な音量に調整してください。

■ヘッドセット（別売品）

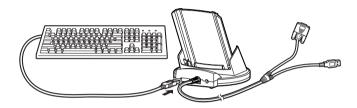
ステレオヘッドホンL（左）側
ステレオヘッドホンR（右）側
マイクロホン
ボリュームコントロール
矢印の方向（ステレオヘッドホン側）に回すと、音量が大きくなります。
再生／一時停止ボタン
クリップ
ステレオヘッドホン／マイクロホンプラグ

- 詳しくは、『ヘッドセット 取扱説明書』をご覧ください。

USB キーボードとの接続

クレードル（別売品）、USB ホストケーブル（別売品）を使って、本体とUSB キーボードを接続することができます。

クレードル（別売品）を使って接続する

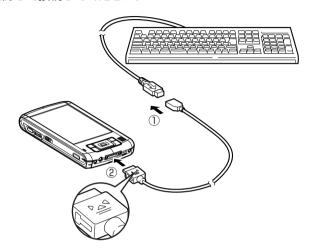
1 クレードル（別売品）のUSB ポートにUSB キーボードを接続する

2 クレードル（別売品）に本体を接続する

本体とクレードル（別売品）の接続方法については、（参照 6ページ）をご覧ください。

USB ホストケーブルを使って接続する

1 本体に USB ホストケーブルのみを接続する①

2 USB ホストケーブルのポートに USB キーボードを接続する②

● ケーブルコネクタに刻印されている△マークが表面になっていることを確認して接続してください。

お願い

● すべてのUSBキーボードとの動作を保証することはできません。あらかじめご了承ください。
● 本体をUSBキーボードから取りはずした直後に、再度接続を行うと、OSがUSBキーボードを認識しないことがあります。このような場合は、いったん本体をUSBキーボードから取りはずし、しばらく待ってから、再度接続を行ってください。
● バッテリパックの充電残量が約15%以下になると、USBキーボードは使用できませんので、AC アダプタを接続して使用することをおすすめします。

お知らせ

● アプリケーションによっては、機能しないキーがあります。

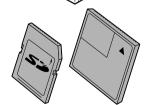
第2章

基本操作と環境設定

使用環境設定をお好みに設定したり、パソコンやメモリカードを利用して、本体をより便利に使うことができます。

「Today」画面、「ホーム」画面、プログラムボタンなどをお好みに設定できます。

パソコンと接続して、作成したデータの同期ができます。

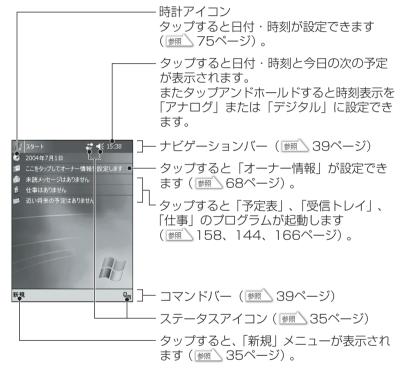
CFメモリカード、SDメモリカードなどを使って、データのバックアップができます。
（CFメモリカード、SDメモリカードは別売りです。）

お願い

- 重要な本体内の記憶データは、消失してしまったときの損害を最小限にするために、定期的にバックアップしておいてください。

1. 基本的な使いかた

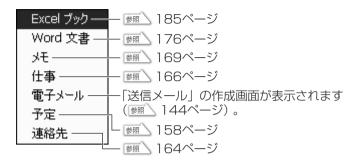
「Today」画面の見かた

「Today」画面について

本体の電源を入れると、「Today」画面が表示されます。また、「スタート」メニューから「Today」をタップしても表示されます。「Today」画面には、その日の予定、未読メッセージ、仕事が表示されます。

お知らせ

- 背景画像など、「Today」画面の表示内容を設定できます。設定については（参照 67 ページ）をご覧ください。
- 「ホーム」画面からでも、その日の予定、未読メッセージ、仕事を見たり、いろいろなプログラムを起動できます。「ホーム」画面については、（参照 88 ページ）をご覧ください。

「新規」メニューについて

「Today」画面左下の「新規」をタップすると「新規」メニューが表示されます。
メニューに表示するプログラムは変えられます（参照 74ページ）。
各メニューをタップすると、それぞれの新規入力画面が表示されます。

ステータスアイコンについて

本体の動作状況によって、画面上のナビゲーションバーや画面下のコマンドバーに次のステータスアイコンが表示されます。「Today」画面以外でも表示されます。

……………スピーカの出力(画面のタップ音やアラーム音など)が、オンになっています。アイコンをタップすると音量調整とスピーカ出力のオン、オフが設定できます。

……………スピーカの出力がオフになっています。

……………バッテリを充電しています（付属のACアダプタを接続しているときナビゲーションバーの時刻をタップするとポップアップ画面に表示されます）。

……………バッテリがフルに充電されています（付属のACアダプタを接続していないときナビゲーションバーの時刻をタップするとポップアップ画面に表示されます）。

……………バッテリの充電残量が少なくなってきました。

……………バッテリの充電残量が約10%以下になっています。

……………無線LANインジケータアイコン
＊ e830Wのみ
無線LANデバイスの動作状態を示します。動作状態によってアイコンが変わります（参照 228ページ）。

……………通信接続アイコン
インターネットまたはパソコンに接続されていません。アイコンをタップすると、インターネットの接続設定ができます。

.... 通信接続アイコン
インターネットまたはパソコンに接続中です。アイコンをタップすると、インターネットの接続設定ができます。

.... ActiveSync でパソコンと同期中です。

.... パソコンに接続中です。

.... 新着の MSN インスタントメッセージがあります。

.... 新着メールがあります。

.... ホールドスイッチが、「On」（HOLD）側に設定されています。プログラムボタン、カーソルボタン、スクロールボタンの操作が無効になります。

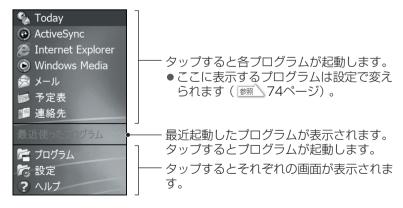
お願い

- 通知アイコン が表示された場合は、このアイコンをタップして、通知内容を確認してください。
- 「メインバッテリ残量警告」のメッセージ（参照 299ページ）が表示されたら、すみやかにバッテリパックを充電してください。

プログラムの起動と切り替え

「スタート」メニューから起動する

1 画面左上の「スタート」をタップする

- 「スタート」メニューが表示され、その中から各プログラムを選択して起動します。すでにそのプログラムが起動しているときは、そのプログラムに切り替わります。

お知らせ

- 「ホーム」を使ってプログラムを起動させることもできます（参照 88ページ）。
- プログラムボタンを押しても、それに割り当てられているプログラムを起動させることができます（参照 8ページ）。

「スタート」メニューに表示されていないプログラムを起動する

1　「スタート」の「プログラム」をタップする

- 「プログラム」の画面が表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。

タップすると、この画面が消えます。

プログラムの追加と削除

本体に、Pocket PC用のプログラムを追加インストールして、利用することができます。

プログラムのインストール

プログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンにMicrosoft® ActiveSync® 3.7.1（ビルド4034）（参照 55ページ）をインストールし、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。また、インストールに必要な空きディスク容量とメモリが確保されているか確認してください（参照 80ページ）。
インストールの方法は、プログラム（CD-ROMやインターネット等のダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■インストールの操作例

1　**プログラムの入ったCD-ROMやFDをパソコンのドライブに挿入する（または、インストールしたいプログラムをインターネット等からダウンロードする）**

2 **本体をパソコンに接続する**

3 **パソコンでCD-ROMやFD内またはダウンロードしたファイル内の（＊.exe）ファイルをダブルクリックする**

4 **画面の指示に従って操作をする**

- プログラムがパソコンにインストールされ、インストーラによって自動的にプログラムが本体に転送されます。
- ファイルがインストーラを備えていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合はファイルを本体に移動する操作が必要です。パソコンのエクスプローラを使って、ファイルを本体の「Program Files」フォルダにコピーしてください。エクスプローラで本体のフォルダ一覧が表示できます。「本体とパソコンの間で、ファイルを移動する」（参照 58ページ）をご覧ください。
- Windows Mobile™ 2003 Second Edition software for Pocket PC 日本語版に対応していないプログラムをインストールすると、旧バージョンのシステム向けのプログラムである旨のメッセージが表示されます。この場合、インストールされたプログラムが正しく表示されないことがあります。

プログラムを削除する

削除の方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■削除の操作例

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プログラムの削除」をタップする**

2 **プログラムリストから削除するプログラムを選択し、「削除」をタップする**

「削除してもよろしいですか？」という画面が表示されます。

- プログラムリストに削除するプログラムが表示されないときは、ファイルエクスプローラ（参照 60ページ）を使用して探してください。見つかったらプログラムをタップアンドホールドし、ポップアップメニューを表示させ、「削除」をタップしてください。

3 **「はい」をタップする**

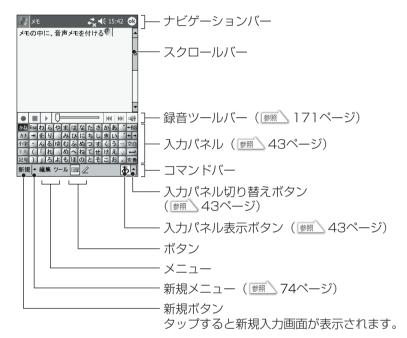
プログラムが削除されます。

…お知らせ

● 本体にあらかじめインストールされていたプログラムは、削除できません。

プログラムの基本操作

プログラムの画面構成について

「メモ」の入力画面（参照 169ページ）を使って、主な画面構成の説明をします。

■ナビゲーションバーについて

画面の最上段にあり、プログラムの切り替え（「スタート」メニュー）、現在使用中のプログラム名の表示、インターネットへの接続設定、スピーカの音量調整、時刻の表示、画面の終了（ok ボタン）ができます。

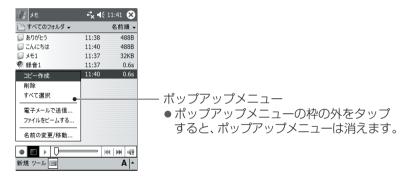
■コマンドバーについて

画面の最下段にあり、現在使用中のプログラムのメニューとボタン、および入力パネルボタン（表示／切り替え）などが表示されます。

…お知らせ

- ナビゲーションバーの⊗ボタンをタップすると、そのプログラム画面が消えますが、このとき、プログラムは終了していません。
- プログラムを終了するには、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップし、「実行中のプログラム」タブで、終了したいプログラム名を選び、「終了」をタップしてください（参照 82ページ）。「ホーム」を使って、プログラムを終了させることもできます（参照 93ページ）。
- 電源をOFFにしてもプログラムは終了しません。

ポップアップメニューについて

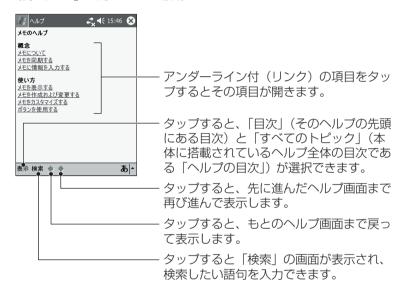
画面上に表示されている項目などをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されます。

オンラインヘルプの使いかた

1 「スタート」の「ヘルプ」をタップする

そのとき表示していた画面に応じた「ヘルプ」の画面が表示されます。

- 「Today」画面を表示していたときは、「ヘルプの目次」の画面が表示されます。
- プログラムを開いていたときは、そのプログラムのヘルプが表示されます。

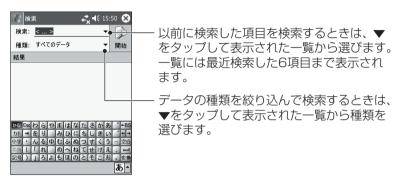
2 見たい項目をタップする

（例：「メモ」を開いていた場合）

検索のしかた

1 「スタート」の「プログラム」から「検索」をタップする

「検索」の画面が表示されます。

2 「検索」欄に検索したい語句を入力する

文字の入力のしかたは、「文字入力のしかた」（参照 43ページ）をご覧ください。

3 「開始」をタップする

検索データの種類に応じて、My Documentsフォルダ（サブフォルダを含む）などが検索され、検索結果が「結果」欄に表示されます。

● 再度検索する場合は、「検索」欄をタップして、検索語句を入力します。

2. 文字入力のしかた

文字入力の概要について

「文字入力モード」は、入力パネルを使って文字を入力します。入力パネルは、以下の４つのタイプがあります。

● キーボードタイプ入力パネル

「ひらがな／カタカナ」

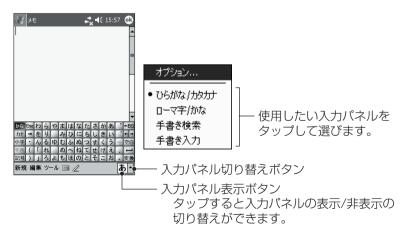
「ローマ字／かな」

● 手書きタイプ入力パネル

「手書き検索」

「手書き入力」

入力パネルの切り替えについて

画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、使用したい入力パネルを選択すると、画面下部に入力パネルが表示されます。

キーボードタイプの入力パネル

「ひらがな／カタカナ」入力パネル

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。

① ゜ ....「ぱ」行を入力するときには、「は」行のキーをタップしてから゜をタップします。

② ゛ ....「が」、「ざ」、「だ」、「ば」行を入力するときには、「か」、「さ」、「た」、「は」行のキーをタップしてから ゛ をタップします。

③ ←BS ....カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

④ ←→ ....カーソルを前後に移動します。

⑤ 空白 ....空白を入力します。

⑥ ↵ ....「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑦ 変換 ....ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑧ 記号 ....「記号」キーボードに切り替わります（参照 46 ページ）。

⑨ 半角 ....タップして反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう１度タップすると解除します。

⑩ 小字 ....タップして反転させると、「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などの文字が小文字入力になります。小文字入力は、1文字入力すると解除されます。

⑪ カナ ....「カタカナ」キーボードに切り替わります。

⑫ かな ....「ひらがな」キーボードに切り替わります。

「ローマ字／かな」入力パネル

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。

① ←BS .... カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

② ←→ .... カーソルを前後に移動します。

③ ↵ .... 「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

④ 変換 .... ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑤ ［スペースキー］.. 「スペース」キーです。空白を入力します。

⑥ 記号 .... 「記号」キーボードに切り替わります（参照 46 ページ）。

⑦ 半角 .... タップして反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう１度タップすると解除します。

⑧ 英数 .... 英数字入力します。

⑨ カナ .... ローマ字入力で、カタカナを入力します。

⑩ かな .... ローマ字入力で、ひらがなを入力します。

⑪ Esc .... 「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。

⑫ ⇥ .... 「タブ」キーです。タブを入力します。

⑬ Cap .... 「キャプスロック」キーです。英数字入力のときに、タップして反転させると大文字入力ができます。もう１度タップすると解除します。

⑭ ⇧ .... 「シフト」キーです。タップして反転させると、大文字および記号（！“＃＄％＆‘（　）＿＝…など）の入力ができます。1文字入力すると、シフトキーが解除されて元に戻ります。

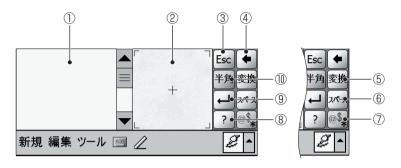
⑮ Ctl .... 「コントロール」キーです。英数字と組み合わせて機能を実行します。

■「記号」キーボード

「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」入力パネル左下の「記号」をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。

①〜⑤ .... 各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」入力パネルの③④⑤⑥⑦キーと同じです。
⑥ 半角 .... 反転した状態のとき、半角入力ができます。タップすると解除します。
⑦ 英数 ....「ローマ字／かな」入力パネルに切り替わります。
⑧ カナ ....「カタカナ」入力モードに戻ります。
⑨ かな ....「ひらがな」入力モードに戻ります。

手書きタイプの入力パネル

「手書き検索」入力パネル

① （認識候補一覧）...... ②で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。

② （手書き入力欄）...... 手書き入力します。

③ Esc .... 「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。

④ ← .... ②で手書き中に ← をタップすると、最後の１画が消去されます。文字列では、カーソルの前にある文字を１文字ずつ削除します。また、変換中にタップすると、変換を解除します。

⑤ 変換 .... ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑥ スペース .... 文字列にスペースを挿入します。

⑦ @$* .... 「記号」キーボードに切り替わります（参照 46ページ）。

⑧ ? .... タップすると、キーのヘルプ画面が表示されます。

⑨ ↵ .... 「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑩ 半角 .... タップして反転させると、カタカナ、英数字などの半角入力ができます。もう１度タップすると解除します。

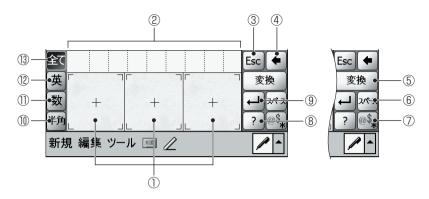
お知らせ

● 入力手順は、（参照 51 ページ）をご覧ください。

「手書き入力」入力パネル

①（手書き入力欄）............. ３つの欄に手書きした文字が、順に認識され、連続的に入力できます。
②（認識候補一覧）............. ①で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。
③～⑩ .... 各キーのはたらきは、「手書き検索」入力パネルと同じです。
⑪ 数 .... 認識候補を、数字および記号とします。
⑫ 英 .... 認識候補を、英字および記号とします。
⑬ 全て .... 認識候補を、すべての文字とします。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 52 ページ）をご覧ください。

■「記号」キーボード

「手書き検索」入力パネルまたは「手書き入力」入力パネル右下の [@$*] をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。どれか記号をタップして選択すると、元の入力パネルに戻ります。

① [半] ………………………… タップして反転させると、半角入力ができます。もう1度タップすると解除します。記号によっては、全角でしか入力できないものがあります。

② [@$*] ………………………… 「手書き検索」入力パネルまたは「手書き入力」入力パネルに切り替わります。

文字を入力する

ここでは、Pocket Word を使って文字入力のしかたを説明します。
Pocket Word の新規文書を開くには、「Today」画面のコマンドバーの「新規」から、「Word 文書」をタップします。

- 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップしても開けます。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルを使って入力する

（例）「かんじ」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ひらがな／カタカナ」入力パネルを選択する

「ひらがな／カタカナ」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「かんじ」と入力する

画面に「かんじ」と入力されます。

3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう１度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵ をタップする

反転が解除されて、確定します。

「ローマ字／かな」入力パネルを使って入力する

（例）「kanji」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 **入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ローマ字／かな」入力パネルを選択する**

「ローマ字／かな」入力パネルが表示されます。

2 **キーボードから「kanji」と入力する**

画面に「かんじ」と表示されます。

3 **「変換」をタップする**

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう１度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 **↵ をタップする**

反転が解除されて、確定します。

「手書き検索」入力パネルを使って入力する

（例）「書」と手書きして変換してみます。

1 **入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き検索」入力パネルを選択する**

「手書き検索」入力パネルが表示されます。

2 **手書き入力欄に「書」と手書き入力する**

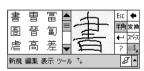
左側に認識候補一覧が表示されます。

- 一覧から「書」を選択すると、画面上部に「書」が表示されます。

3 **↵ をタップする**

「書」が確定されます。

第2章

2・文字入力のしかた

「手書き入力」入力パネルを使って入力する

（例）「書き方」と手書き入力して変換してみます。

1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き入力」入力パネルを選択する

「手書き入力」入力パネルが表示されます。

2 ３つの手書き入力欄に「書」、「き」、「方」と手書き入力する

文字が認識されます。
さらに認識候補の中から自動的にテキスト選択され、「書き方」と表示されます。

文字を入力した直後に、ここに表示された候補の中から入力したい文字を選択できます。文字を選択しないで入力を続けていくと、一番左側の文字候補が自動的に選択されます。

入力順序はどこからでもかまいません。先に入力した文字から変換します。

3 ↵ をタップする

「書き方」が確定されます。

■テキスト選択されるまでの時間を変更する

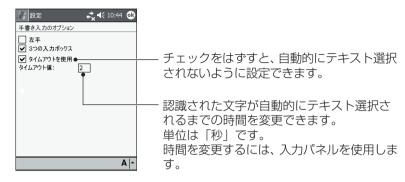
認識された文字が、認識候補の中から自動的にテキスト選択されるまでの時間を変更できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「入力」をタップする

「入力」の設定画面が表示されます。

2 「入力方法」の右端にある▼をタップして「手書き入力」を選択し、「オプション」をタップする

「手書き入力のオプション」画面が表示されます。

3 時間を設定する

お知らせ

- 自動的にテキスト選択されないように設定した場合は、認識候補一覧で入力したい文字をタップします。

4 設定を終えたら ok をタップし、もう１度 ok をタップする

「入力」画面が閉じます。

文字の編集について（追加、削除、変更、コピー、移動）

文字を追加するには

1 文字を追加したい位置をタップする

カーソルが点滅表示されます。

2 追加したい文字を入力する

カーソル位置に入力文字が追加されます。

お知らせ

- 「ひらがな/カタカナ」または「ローマ字/かな」入力パネルの ←→ キーをタップしてもカーソルの位置を移動できます。
- カーソルボタンでもカーソルの位置を移動できます。
- 改行するには、改行したい位置にカーソルを合わせ、↵ キーをタップします。

文字を削除するには

1 削除したい文字の直後をタップする

カーソルが点滅表示されます。

2 カーソルの位置を確認して ←BS をタップする

「手書き検索」または「手書き入力」入力パネルのときは ◆ をタップします。カーソルの位置から前へ順に削除されます。

- 削除したい範囲をドラッグして、←BS(◆)または「編集」→「クリア」をタップすると、複数の文字を一度に削除できます。

文字を変更するには

1 変更したい範囲をドラッグして、新しい文字を入力する

文字をコピーするには

1 コピーしたい範囲をドラッグして、「編集」→「コピー」をタップする

2 貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる

3 「編集」→「貼り付け」をタップする

文字を移動するには

1 移動したい範囲をドラッグして、「編集」→「切り取り」をタップする

2 貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる

3 「編集」→「貼り付け」をタップする

文字を編集前に戻すには

直前の編集操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

1 「編集」→「元に戻す」をタップする

お知らせ

- 「元に戻す」の操作をした直後、「編集」→「やり直し」をタップすると、元に戻した操作をやり直すことができます。

3. パソコンと接続して同期をとる

本体とパソコンを接続すると、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行えます。
本体をパソコンに接続するためには、パソコンに ActiveSync® 3.7.1（ビルド4034以降）をインストールする必要があります。また、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期には、Outlook®（Outlook® 2002以降のバージョンを推奨）をインストールする必要があります。
Microsoft® ActiveSync® 3.7.1 と Microsoft® Outlook® 2002は、付属のコンパニオン CD に収められています。

パソコンの必要条件について

ActiveSync® 3.7.1 は、Outlook® 98、Outlook® 2000、Outlook® 2002、Outlook® 2003に対応しています。

- 本体の OS の Windows Mobile™ 2003 Second Edition software for Pocket PC 日本語版では、ActiveSync® 3.1、3.5、3.7 日本語版は、サポート対象外になります。

ActiveSync® 3.7.1 の動作環境は、次のとおりです。

■オペレーティングシステム、接続ポート

オペレーティングシステム（下記の日本語版）	接続ポート	
Windows® 98	USB ポート	赤外線通信ポート
Windows® 2000		
Windows® Me		
Windows® XP		
Windows NT® Workstation4.0 (Service Pack6 以降)	9 または 25 ピンのシリアル接続ポート	

- Windows® 95 は、ActiveSync® 3.7.1 の対象 OS ではありません。
- シリアル通信ポートで接続する場合は、シリアルシンクケーブル（別売品）またはクレードル（別売品）が必要です。また 25 ピンのシリアル接続ポートの場合は、市販の変換アダプタが必要です。

■各オプション、その他

インストールソフト	Microsoft® Internet Explorer 5.01 以降のバージョン
必要な空きハードディスク容量とメモリ	ActiveSync® 3.7.1 の場合 12 ～ 65MB
	Outlook® 2002 標準インストールの場合　230MB 以上 （メモリは 64MB 以上を推奨）
各オプション	オーディオカード／スピーカ
	Microsoft® Office 97、Microsoft® Office 2000、 Microsoft® Office XP、Microsoft® Office 2003
	リモート同期用モデム
	リモート同期用イーサネット LAN 接続
その他	CD-ROM ドライブ
	256 色以上の VGA グラフィックスカード、または 互換のあるビデオグラフィックスアダプタ
	キーボード
	Microsoft マウス、または互換性のあるポインティングデバイス

ActiveSync3.7.1 について

本体（Pocket PC）とパソコンの間で、データ交換をするためのパソコン用のプログラムです。本体には、Pocket PC 用の ActiveSync がすでにインストールされています。
ActiveSync3.7.1 を使用して本体とパソコンの間で、以下のようなことが行えます。

- 「連絡先」、「予定表」、「仕事」の同期
- 「受信トレイ」内のメールの同期
- ファイルのコピーまたは移動
- 選択したファイルの同期
- 本体へのアプリケーションの追加と削除
- 本体のデータのバックアップと復元

お知らせ

- ActiveSync3.7.1の詳細については、ActiveSync3.7.1をパソコンにインストールしてから、ActiveSync3.7.1 のヘルプをご覧ください。
- クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧になり、その順番で ActiveSync3.7.1 をインストールしてください。

初めてパソコンと接続して同期をとる

初めてパソコンと接続して同期をとるときは、次の手順で接続します。
詳しくは、クイックスタートガイドをご覧になり、接続してください。

1 コンパニオン CD をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

- コンパニオン CD については（参照 213 ページ）をご覧ください。

2 パソコンに Microsoft® Outlook® 2002 をインストールする

Microsoft® Office Outlook® 2003、Microsoft Outlook 2002 がインストールされている場合、操作 2 は不要です。操作 3 へ進んでください。

3 パソコンに ActiveSync3.7.1 をインストールする

- インストールの途中で本体とパソコンを接続します。接続方法は、「パソコンとの接続」（参照 23 ページ）をご覧ください。
- 接続すると、本体とパソコンの接続が確立されます。
- 本体はパソコンから「モバイルデバイス」として認識されます。

4 同期の設定をする

パートナーシップの設定や同期する項目を選択します。

5 「セットアップ完了」の画面で「完了」をクリックする

本体とパソコンの同期を開始します。

■本体をパソコンから取りはずす

本体の電源を OFF にして、本体をクレードルまたはケーブルから取りはずします。

再びパソコンと接続して同期をとる

本体をクレードルまたはケーブルに接続します。本体とパソコンが接続し、同期を開始します。

- 本体が動作しているとき、クレードルまたはケーブルから本体の取りはずしを行わないでください。故障、誤動作、データ消失の原因となります。

同期の設定を変更する

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」→「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで同期したい情報の種類にチェックを付けます。

…お知らせ

- 「設定」をクリックすると、その情報の同期の条件などについて詳しく設定できます。
- 「ファイル」にチェックを付けると選択したファイルを同期できます。
- 詳しくはパソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

本体とパソコンの間で、ファイルを移動する

パソコンのエクスプローラで「モバイル デバイス」の「My Pocket PC」をクリックします。
本体のフォルダ一覧が表示されるので、ファイルの移動などができます。

本体のデータをパソコンへバックアップする

パソコンのActiveSync を開き、「ツール」→「バックアップ/復元」をクリックし、「バックアップ」をクリックします。
- 詳しくは、パソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

赤外線を使ってパソコンと接続して同期をとる

クレードルやケーブルを使わずに、赤外線を使ってパソコンに接続できます。

1 パソコンの赤外線接続を設定する

- お使いのパソコンの赤外線ポートを設定します。お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

2 本体を接続しない状態で、パソコンの ActiveSync を起動する

3 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする

4 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける

5 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート（IR）」を選択する

- 「赤外線ポート（IR）」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。再度パソコンの赤外線設定をご確認ください。

6 「OK」ボタンをクリックする

7 本体とパソコンの赤外線ポートの位置を合わせる

- ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

8 本体の「スタート」の「ActiveSync」をタップし、「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

- 本体からパソコンに赤外線接続を開始します。

…お知らせ

- 赤外線を使用したActiveSyncの接続の詳細については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

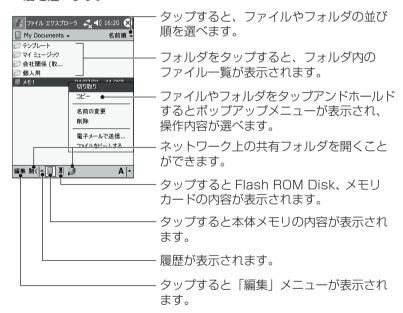
4. ファイルの管理

ファイルエクスプローラを使うと、本体メモリやFlash ROM Disk、挿入したメモリカードのファイルやフォルダの一覧が表示でき、新規フォルダを作成したり、ファイルやフォルダを移動するなど、ファイルの操作ができます。

ファイルエクスプローラの使いかた

1　**「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする**

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、My Documentsのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

- 「My Documents ▼」をタップすると、現在表示中の階層より上の階層を選べます。

- ファイルをタップすると、そのアプリケーションが起動してファイルを開きます。

お知らせ

- ファイルの拡張子は表示されません。
- ファイルによっては表示されない場合があります。

新規フォルダを作成する

1 フォルダを作成したい階層を表示する

● 別の階層にフォルダを作成するには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

2 「編集」→「新しいフォルダ」をタップする

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

3 フォルダ名を入力して [↵] をタップする

ファイルやフォルダをコピーする

1 コピーしたいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「コピー」をタップする

3 コピー先にしたい階層を表示する

● 別の階層にコピーするには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

4 「編集」→「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層にコピーされます。

● ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

● 「コピー」元と同じ階層に「貼り付け」をすると、ファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されて、同じ階層にコピーされます。

ファイルやフォルダを移動する

1 移動したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする

3 移動先にしたい階層を表示する

4 「編集」→「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層に移動されます。

● ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

● フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて移動されます。
● 「切り取り」したファイルやフォルダを貼り付けず、他のファイルやフォルダを「切り取り」すると、前の「切り取り」は、解除されます。

ファイルやフォルダを削除する

1 削除したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

削除を確認する画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

お願い

● フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて削除されます。
● ファイルやフォルダの削除を実行すると、削除の取り消しはできませんので、ご注意ください。

ファイル名やフォルダ名を変更する

1 **名前を変更したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする**

名前の入力状態になります。

3 **新しい名前を入力して ↵ をタップする**

ファイルを電子メールで送信する

1 **電子メールで送信したいファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「電子メールで送信」をタップする**

受信トレイが起動し、選んだファイルが添付された送信メッセージの新規作成画面が表示されます。

● 受信トレイを使って送信するには、第３章の「メールを送受信する」（参照 144 ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 電子メールを利用するときは、あらかじめメールの設定が必要です。詳しくは（参照 132 ページ）をご覧ください。

ファイルをビームする

本体と赤外線ポートを備えたPocket PCとの間で、赤外線通信によるデータ転送が行えます。

データを送受信する

1 **本体と他のPocket PCの赤外線ポートの位置を合わせる**

- ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

2 **送信側の本体のファイルエクスプローラで、送信したいファイルまたは項目をタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

3 **ポップアップメニューから「ファイルをビームする」をタップする**

受信側のPocket PCに、「データを受信中」が表示されます。

4 **受信側のPocket PCで、「はい」をタップする**

データの送信 / 受信が行われます。

「いいえ」をタップするとデータの受信を中止します。

- 上記画面が表示されないときは、以下の操作を行ってください。
受信側のPocket PCで、「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ビーム」をタップし、「赤外線を受信します。」をタップします。

お知らせ

- ファイルエクスプローラからだけでなく、各プログラムの一覧画面で、ポップアップメニューから「ファイルをビームする」の操作は行えます。

5. 使用環境設定

設定項目について

「スタート」の「設定」をタップし、「個人用」、「システム」または「接続」タブをタップすると次の項目が設定できます。

タブ	項目	説明	参照ページ
個人用	Today	「Today」画面に表示したい情報を設定します。	67
	オーナー情報	自分の連絡先個人情報を入力します。	68
	パスワード	電源をONにしたときにパスワードを入力しないと本体のデータにアクセスできないように設定します。	69
	ボタン	プログラムボタンを押したときの起動プログラムや、カーソルボタンまたはスクロールボタンのオプションを設定します。	71
	メニュー	「スタート」メニューに表示するプログラム、および「Today」画面上の「新規」メニューを設定します。	74
	入力	手書き入力または録音時のオプション設定をします。	―
	音と通知	音量、音を鳴らす場面、アラームなどを設定します。	―
システム	東芝エンローラー	＊ e830Wのみ 802.1X認証、SSL認証、VPN認証などに使用される証明書の取得と管理を行います。	232
	ワイヤレスコントロール	＊ e830Wのみ 無線LAN／Bluetoothデバイスのオン／オフを設定します。	83
	アドバンスドサウンド	スピーカ、ヘッドホンの出力音声の音量や音質を設定します。	84
	システム情報	本体のシステム情報、ユーザー情報、ドライバ情報などを表示します。	―
	スクリーンライト	画面の明るさ、およびスクリーンライトを消灯するまでの時間を設定します。	77
	バージョン情報	システムのバージョン情報などを表示します。また、デバイスIDを設定できます。	―

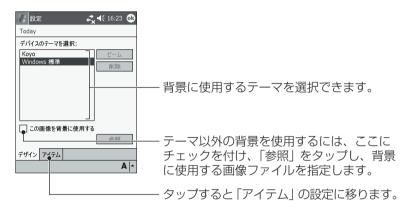
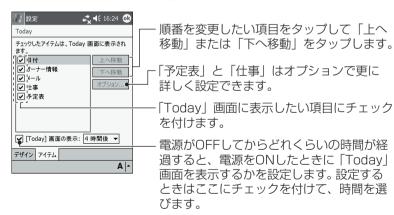
タブ	項目	説明	参照ページ
システム	パワー マネージメント	充電残量を表示します。 電源OFFまでの時間、警告メッセージ、CPUの動作速度などの設定をします。	76
	プログラムの削除	追加したプログラムを削除します。	38
	マイクロフォン	マイクロホンの音声録音レベルを設定します。	85
	メモリ	データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの割り当てを変更できます。また、メモリカードの使用状況も確認できます。	80
	地域	数値、通貨、時刻および日付の表示方法を設定します。	−
	時計とアラーム	時刻を変更またはアラームを設定します。訪問先を指定すると訪問先の時刻も表示できます。	75
	画面	画面の向きを変更したり、画面のタップ表示位置と実際のタップ位置がずれているときに画面を調整します。	79
	証明書	個人証書、ルート証明書を管理できます。	87
	ワイヤレス ネットワーク	＊ e830Wのみ 無線LANの設定をします。	225
	ワイヤレス LANマネージャー	＊ e830Wのみ 無線LANの設定をします。	229
接続	ネットワーク カード	ネットワークアダプタの設定をします。	258
	ビーム	ビームの設定をします。	−
	接続	インターネットの接続を設定します。	−

「Today」画面を設定する

「Today」画面の背景や「Today」画面に表示される項目を設定や変更できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「Today」をタップする

「Today」の設定画面が表示されます。

2 「Today」を設定する

「アイテム」タブでは、「Today」画面に表示される項目を設定できます。

3 設定を終えたらⓚをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

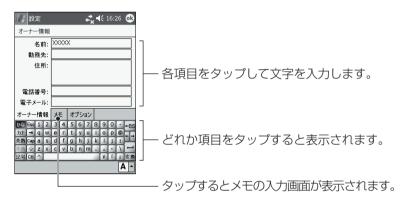
- 「日付」は移動できません。
- 「Today」画面の説明は（参照 34ページ）をご覧ください。

「オーナー情報」を設定する

住所、名前、電話番号、電子メールアドレスなど、持ち主の情報を設定できます。

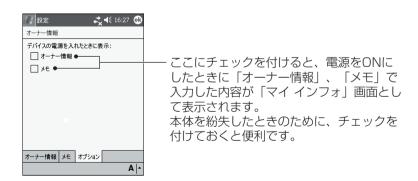
1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「オーナー情報」をタップする

「オーナー情報」の設定画面が表示されます。

2 「オーナー情報」を入力する

■オプションタブ

電源をONにしたときに画面に表示する情報を設定します

3 設定を終えたらokをタップする

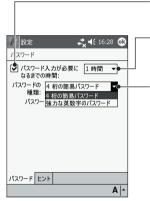
「個人用」タブの画面に戻ります。

「パスワード」を設定する

電源をONにしたときにパスワードを要求して、第三者からデータや設定を守ることができます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「パスワード」をタップする

「パスワード」の設定画面が表示されます。

2 「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、時間を設定する

3 「4 桁の簡易パスワード」または「強力な英数字のパスワード」を選択する

4 「パスワード」を設定する

「パスワード」にカーソルが表示されていない場合は、「パスワード」をタップしてください。

● 下の画面は「４桁の簡易パスワード」を選択しています。

「強力な英数字のパスワード」を選んだときは、パスワードは７文字以上で、半角英数字（大文字と小文字）と区切り記号の組み合わせが必要です。パスワード欄と確認入力欄に同じパスワードを入力してください。

「ヒント」タブでは、パスワードを忘れたときにパスワードのヒントになる語句を設定できます。
パスワードのヒントは、パスワードの入力を連続して4回間違えた場合に表示されます。

5 設定を終えたらokをタップする

「パスワードの設定の変更を保存しますか？」が表示されます。

6 「はい」をタップする

パスワードが保存され、「個人用」タブの画面に戻ります。

お願い

- パスワードを保存すると、「パスワード」設定画面を表示するのにもパスワードの入力が必要になります。
- パスワードは忘れないように控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、本体の初期化を行わなければなりません。初期化を実行すると、本体に保存していたデータや設定がすべて失われてしまいますのでご注意ください。初期化の方法は（参照 309ページ）をご覧ください。
  定期的にデータのバックアップをしておけば、初期化した後、バックアップしたデータを本体にリストア（復元）できます。このときパスワードは解除されています。

「ボタン」を設定する

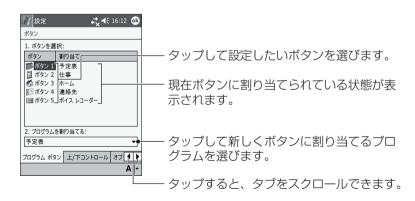
プログラムボタン、カーソルボタン、スクロールボタンの設定をします。

プログラムボタンを設定する

本体のプログラムボタン１、２、３、４、５によく使うプログラムをお好みで割り当てられます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「ボタン」をタップする

「ボタン」の設定画面が表示されます。

2 設定したいボタンを指定してプログラムを選択する

プログラムボタンの初期設定は次のとおりです。

- プログラムボタン１…「予定表」
- プログラムボタン２…「仕事」
- プログラムボタン３…「ホーム」
- プログラムボタン４…「連絡先」
- プログラムボタン５…「ボイスレコーダー」

3 設定を終えたらokをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

カーソルボタンを設定する

カーソルボタンの移動方向を「４方向」と「８方向」のどちらかに設定することができます。

1 「ボタン」の設定画面で、「オプション」タブをタップする

「オプション設定」画面が表示されます。

2 カーソルの移動方向を選択する

3 設定を終えたらokをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

スクロールボタンを設定する

スクロールボタンの中央部を数秒間押すことによって、表示している画面を閉じるように設定することができます。
閉じることのできる画面は、ナビゲーションバーに ⊗ が表示されている画面のみです。

1 「ボタン」の設定画面で、「スクロールボタン」タブをタップする

「スクロールボタン」タブが隠れている場合は、▶ をタップしてください。
「スクロールボタン設定」の画面が表示されます。

2 「有効」または「無効」をタップする

「有効」をタップすると、スクロールボタンの中央部を押したとき、画面を閉じるように設定されます。

3 設定を終えたら ok をタップする

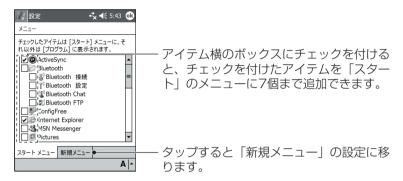
「個人用」タブの画面に戻ります。

「メニュー」を設定する

「スタート」メニューと「新規」メニューを設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「メニュー」をタップする

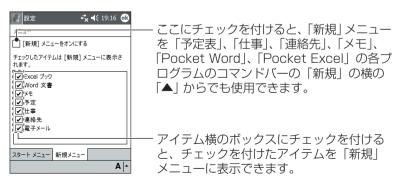
「メニュー」の設定画面が表示されます。

2 「メニュー」を設定する

お知らせ

- チェックされたプログラム以外は、「スタート」の「プログラム」をタップすると表示されます。
- 「Today」、「プログラム」、「設定」、「検索」、「ヘルプ」は、「スタート」メニューからはずせません。

「新規メニュー」タブでは、「Today」画面左下の「新規」をタップしたときに表示される項目を設定できます。

3 設定を終えたら ok をタップする

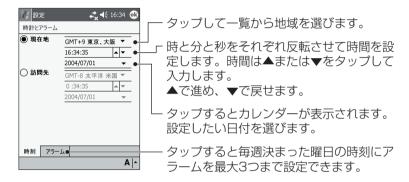
「個人用」タブの画面に戻ります。

「時計とアラーム」を設定する

現在地や時刻の設定だけでなく、出かける先の場所と時刻も同時に表示できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「時計とアラーム」をタップする

「時計とアラーム」の設定画面が表示されます。

● 「Today」画面で時計アイコンをタップしても「時計とアラーム」の設定画面が表示されます。

2 「時計」を設定する

3 設定を終えたらokをタップする

「時刻」タブの設定を変更した場合、「設定は変更されています。更新しますか？」という画面が表示されます。「はい」をタップしてください。

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

● 時刻設定は、時計の針をドラッグすることでも設定できます。

● パソコンと同期させたとき、時刻をパソコン側と同じに設定することができます（参照 58ページ）。

第２章

5・使用環境設定

「パワーマネージメント」を設定する

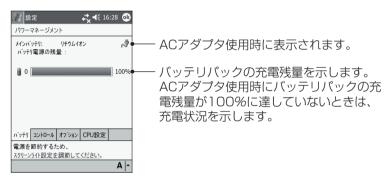
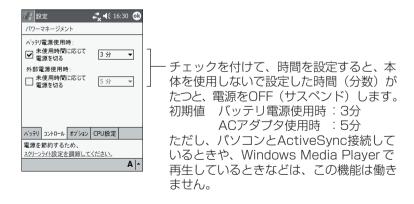
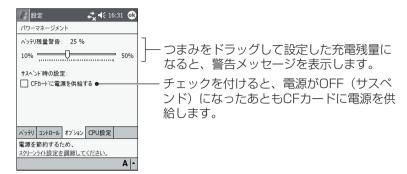
バッテリパックの充電残量が確認できます。また、本体を使用していない時間に応じて電源をOFF（サスペンド）にする時間設定、充電残量による警告メッセージの設定などができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「パワーマネージメント」をタップする

「パワーマネージメント」の設定画面が表示されます。

2 「パワーマネージメント」を設定する

● 設定項目は、４つのタブに分類されています。

■バッテリタブ

■コントロールタブ

■オプションタブ

■CPU設定タブ

3 **設定を終えたら ok をタップする**

設定した内容が有効になり、「システム」タブの画面に戻ります。

「スクリーンライト」を設定する

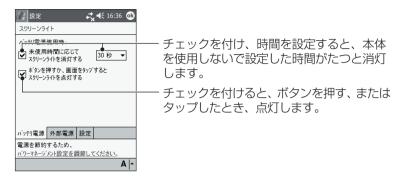
スクリーンライトの明るさのレベルは、「9段階＋省電力（消灯）」の中から選べます。見やすい明るさに設定してください。また、本体の未使用時間に応じてスクリーンライトを消灯する時間を設定できます。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「スクリーンライト」をタップする**

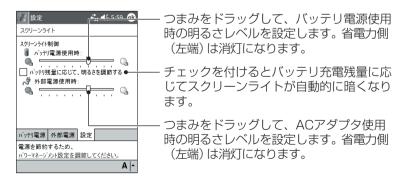
「スクリーンライト」の設定画面が表示されます。

2 **「スクリーンライト」を設定する**

■バッテリ電源タブ

バッテリ電源使用時について設定します。

■外部電源タブ

AC アダプタ使用時について設定します。

■設定タブ

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

表示画面の設定を変える

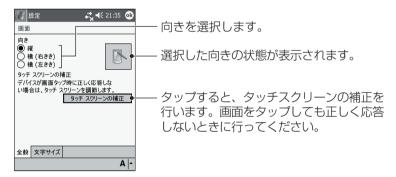
タッチスクリーンに表示される画面の設定を変更します。

表示の向きを変える

購入時は画面が縦表示に設定されています。この設定を横表示に変更することができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「画面」をタップする

「画面」の設定画面が表示されます。

2 「全般」タブをタップし、「向き」を設定する

3 設定を終えたらokをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

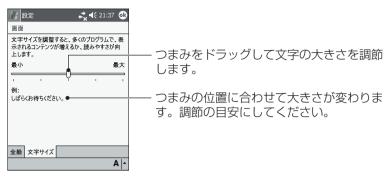
● この設定をプログラムボタンなどに割り当てると、ボタンを押すことで表示の向きを変えることができます。ボタンの設定画面の「プログラムを割り当てる：」で「画面を回転」を選択してください。ボタンの設定については（参照 71ページ）をご覧ください。

文字の大きさを変える

画面に表示する文字の大きさを変更することができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「画面」をタップする

「画面」の設定画面が表示されます。

2 「文字サイズ」タブをタップし、文字の大きさを設定する

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

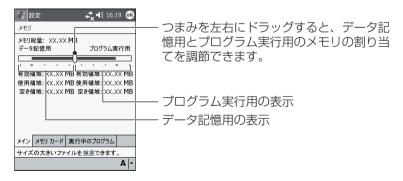
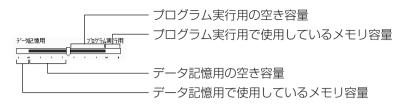
「メモリ」を設定する

データ記憶用メモリとプログラム実行用のメモリを調節したり、メモリカード等の空き容量を確認できます。また、実行中のプログラムを終了できます。

メモリの割り当てを変更する

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップする

「メモリ」の設定画面が表示されます。

2 メモリの割り当てを変更する

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

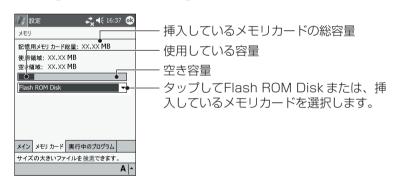
「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- メモリは自動的に管理されていますので、データ記憶用とプログラム実行用の割り当ては、自動的に調節されることがあります。

Flash ROM Disk、メモリカードの使用状況を確認する

1 「メモリ」の設定画面で「メモリカード」タブをタップする

「メモリ」設定の「メモリカード」タブ画面が表示されます。

2 確認を終えたらⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

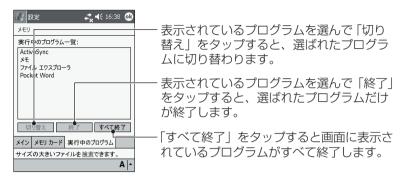
お知らせ

- Flash ROM Diskは本体内蔵の記憶装置です。SDメモリカードなどと同じように、データやバックアップの保存先として指定することができます。

実行中のプログラムを終了する

1 「メモリ」の設定画面で「実行中のプログラム」タブをタップする

「メモリ」設定の「実行中のプログラム」タブ画面が表示されます。

2 実行中のプログラムを終了する

3 okをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「終了」を実行したときに、プログラムが入力待ち状態などの場合には、プログラムから応答がないことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面に従って操作してください。

メモリを解放する

メモリが不足してエラーメッセージが表示された場合や、メモリの空き容量を増やしたい場合は、メモリの解放を行ってください。メモリを解放する方法として、以下の方法があげられます。

- メモリカード等にデータを移して、本体からデータを削除する。
- 不要なファイルを削除する。
- 実行中のプログラムを終了する。
- 使用しないプログラムを削除する。
- インターネット一時ファイルを削除する。
  削除の方法は、（参照 141 ページ）をご覧ください。
- 本体をリセットする。
  リセットの方法は、（参照 308 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- メモリを解放する方法は、「メモリ」のオンラインヘルプもご覧ください。

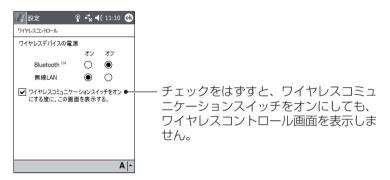
ワイヤレスデバイスの電源を制御する

e830W を対象とした説明です。

e830W は、無線 LAN、Bluetooth 通信の両方をサポートしています。
e830Wで無線LANやBluetooth通信を使用する際には、ワイヤレスコミュニケーションスイッチと、ワイヤレスデバイスの電源を両方オンにする必要があります。ワイヤレスデバイスの電源オン／オフの確認や変更は、「ワイヤレスコントロール」で行います。あらかじめワイヤレスコミュニケーションスイッチをオンにしてください（参照 219、245 ページ）。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスコントロール」をタップする**

設定画面が表示されます。
ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオンにしても、同じ画面が表示されます。

2 **設定画面で使用したいワイヤレスデバイスのオンをチェックする**

ワイヤレスコミュニケーション LED が点灯します。

お知らせ

- 無線LANデバイス、Bluetoothデバイスの両方をオンに設定した場合、電力をより多く消耗します。バッテリパックの充電容量を節約するには、利用しないワイヤレスデバイスをオフに設定してください。

ワイヤレスコミュニケーションLEDについて

ワイヤレスコミュニケーションLEDの点灯状態でワイヤレスデバイスのオン／オフ状態がわかります。

ワイヤレスコミュニケーションLED
●オレンジ色の点灯
　…無線LANデバイスがオンの状態
●青色の点灯
　…Bluetoothデバイスがオンの状態
●オレンジ色と青色が交互に点灯
　…両方のデバイスがオンの状態

無線LAN接続の詳細については第６章を、Bluetooth接続の詳細については第７章をご覧ください。

「アドバンスドサウンド」を設定する

内蔵スピーカ、ヘッドホンから出力される音声の音量や音質を設定できます。

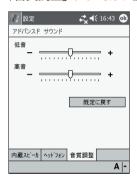
1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「アドバンスドサウンド」をタップする**

「アドバンスドサウンド」の設定画面が表示されます。

2 **つまみをドラッグして、音量を設定する**

「内蔵スピーカ」タブでは、システム音量を調整できます。

「ヘッドフォン」タブでは、左右のヘッドホン音量を調整できます。

「音質調整」タブでは、低音と高音の音質を調整できます。

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

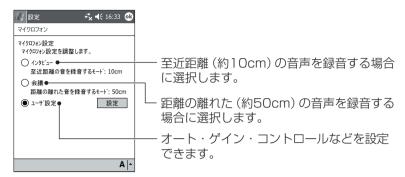
「マイクロフォン」を設定する

音声の録音レベルを設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「マイクロフォン」をタップする

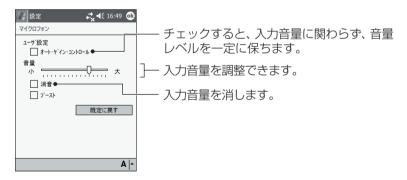
「マイクロフォン」の設定画面が表示されます。

2 録音レベルを選択する

「インタビュー」、「会議」を選択した場合は、操作５へ進んでください。
「ユーザ設定」を選択した場合は、操作３へ進んでください。

3 「設定」をタップする

入力音量を設定する画面が表示されます。

4 入力音量を設定する

- 「音量」の各項目を設定したい場合は、「オート・ゲイン・コントロール」のチェックをはずしてください。

5 設定を終えたら ok をタップする

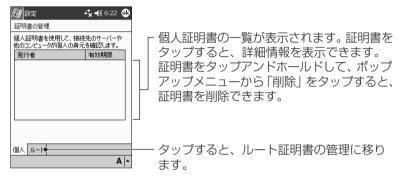
「システム」タブの画面に戻ります。

証明書を管理する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続元のサーバーを識別するルート証明書の確認ができます。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「証明書」をタップする**

「証明書の管理」画面が表示されます。

2 **証明書を管理する**

「ルート」タブでは、ルート証明書の管理ができます。

3 **設定を終えたらokをタップする**

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- e830Wでは、「東芝エンローラー」で個人証明書の追加をすることができます（参照 232ページ）。

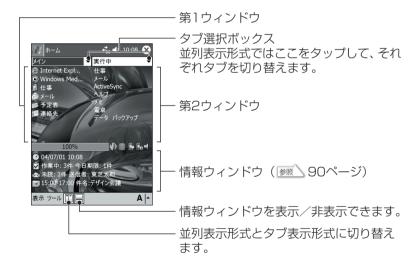
6. ホームを使う

「ホーム」を使うと、「ホーム」画面に配置されたアイコンをタップして、内蔵またはインストールされているアプリケーション(プログラム)を簡単に起動できます。また、実行中のプログラムを一覧表示し、そのプログラムへの切り替えと終了を簡単に行えます。「ホーム」画面には、電池残量、Today情報、よく使う設定アイコンも表示されます。「ホーム」画面は、アイコンやタブの追加、背景の変更など、いろいろアレンジできます。

「ホーム」画面からアプリケーションを起動する

1 「スタート」の「プログラム」から「ホーム」をタップする

「ホーム」画面が表示されます。

- 本体のホームボタンを押しても起動します。
- 初期状態は、並列表示形式で情報ウィンドウ表示ありの画面です。

2 タブを切り替えて、起動したいアプリケーションのアイコンをタップする

タップしたアプリケーションが起動します。

お知らせ

- アプリケーションは、カーソルボタンで選んでカーソルボタンの中央を押しても起動します（参照 92 ページ）。

「ホーム」画面の表示形式の切り替え

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

をタップ

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

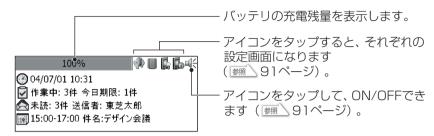
をタップ

をタップ

タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

「ホーム」画面の情報ウィンドウについて

情報ウィンドウは、今日の仕事や今日の予定などのToday情報、バッテリの充電残量やハードウェアなどの情報を表示します。

：日付と時刻を表示します。アイコンをタップすると、「時計」の設定画面になります。

：今日の時点で作業中の仕事の件数と、今日の時点で期限切れになる、またはすでに期限切れになっている仕事の件数を表示します。アイコンをタップすると、仕事が起動します。

：未読メールの件数と最新未読メールの送信者を表示します。アイコンをタップすると、受信トレイが起動します。

：今日の予定が表示されます。アイコンをタップすると、予定表が起動します。

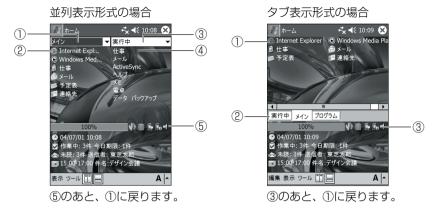
お知らせ

● GENIO-SPEECHがONのとき、、、のアイコンをタップすると、それぞれ仕事、未読メール、予定が読み上げられます。

表示項目	項目名	説　明
	パワーマネージメント	アイコンをタップすると、「パワーマネージメント」の設定画面になります。
	メモリ設定	アイコンをタップすると、「メモリ」の設定画面になります。
	スクリーンライト設定	アイコンをタップすると、「スクリーンライト」の設定画面になります。
	システム情報	アイコンをタップすると、「システム情報」の画面になります。
ON　OFF	スピーカ出力ON/OFF	アイコンをタップすると、スピーカ出力のON/OFFが切り替わります。 ナビゲーションバーのアイコンを使って切り替えたものと連動しています。ただし当アイコンでON→OFFに切り替えても、ナビゲーションバーの表示は変更されません。
ON　OFF	GENIO-SPEECH ON/OFF	付属のGENIO-SPEECHがインストールされている時に表示されます。アイコンをタップすると、GENIO-SPEECHのON/OFFが切り替わります。 アイコンをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、GENIO-SPEECHの設定の画面が表示されます。

ホームボタンを使って選択先(カーソル)を切り替える

ホームボタンを押すたびに、①、②、. . . の順に選択先(カーソル)が移動します。

⑤のあと、①に戻ります。　③のあと、①に戻ります。

カーソルボタンを使って選択する

カーソルボタンで次の操作ができます。

■タブ名にカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、１つ後ろのタブに切り替わります。

● 最終のタブを表示していた場合は、先頭のタブに切り替わります。

カーソルボタンを上または左に押すと、１つ前のタブに切り替わります。

● 先頭のタブを表示していた場合は、最終のタブに切り替わります。

■第 1/ 第２ウィンドウのアイコンにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが１つ下に移動します。

● カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが１つ上に移動します。

● カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。

お知らせ

● タブ表示形式で大きいアイコン表示に設定している場合、カーソルボタンを左に押すとカーソルが左に移動し、右に押すと右に移動します。

■情報ウィンドウにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが１つ後ろに移動します。

● カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが１つ前に移動します。

● カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。

アイコンの順番は、図のようになります。

「実行中」タブについて

「実行中」タブには、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。アイコンは表示されません。下記画面は、タブ表示形式の場合の画面ですが、並列表示形式の場合でも、内容は同じです。

実行中のアプリケーション

表示メニューからは「文字色」と「背景色」が、ツールメニューからは「タブの設定」と「バージョン情報」がそれぞれ選べます。文字色と背景色の設定は（参照 102ページ）、タブの設定については（参照 99ページ）をご覧ください。

アプリケーションの切り替え／終了

切り替えたいアプリケーション名をタップします。

● 切り替えたいアプリケーション名をタップアンドホールドして、表示されたポップアップメニューからも切り替えられます。

タップすると選んだアプリケーションに切り替わります。

タップするとアプリケーションは終了し、画面上からアプリケーション名が消えます。

タップすると画面上に表示されているすべてのアプリケーションが終了します。

お知らせ

● 「実行中」タブ内のアプリケーション名以外のところをタップアンドホールドしてもポップアップメニューが表示されます。このときは「すべて終了」だけが選べます。

アイコンの移動

タブ内やタブ間でアイコンを移動できます。新しいタブを作成するには、（参照 99ページ）をご覧ください。

タブ内のアイコンを移動する

タブ内のアイコンの順番を変更できます。

1 移動したいアイコンをタップしたまま、移動したい位置までドラッグし、ドロップする

移動していくと、タップ先付近にあるアイコンが強調表示されます。ドロップすると、強調表示されたアイコンの位置にアイコンが移動します。

- ドロップするとき、どのアイコンも強調表示されていなかった場合、アイコンは最後尾に移動します。

お知らせ

- 「タブの設定」の画面で、「起動された順にアイコンをソートする」にチェックを付けると、タブ内のアイコンを最近起動した順にソートできます（参照 99ページ）。この設定の場合は、タブ内のアイコンの移動はできません。

ポップアップメニューを使って他のタブへ移動する

1 移動したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする

3 移動先にしたいタブに切り替え、タップアンドホールドし、「貼り付け」をタップする

お知らせ

- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

ドラッグアンドドロップを使って他のタブへ移動する

1 **移動したいアイコンをタップしたまま、移動したいタブまでドラッグし、アイコンをドロップする**

移動先のタブ名が強調表示され、アイコンが移動し、元のタブからアイコンが削除されます。

お知らせ

- 移動可能なアイコンは、タップしたときに反転します。
- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

アイコンの削除

アイコンを削除できます。アイコンを削除しても、アプリケーションそのものが本体から削除されるわけではありません。

1 **削除したいアイコンをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「削除」をタップする**

アイコンが削除され、削除されたアイコンより後のものが一つずつ前に移動します。

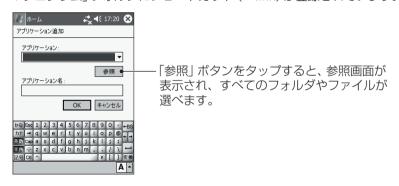
アイコンの追加

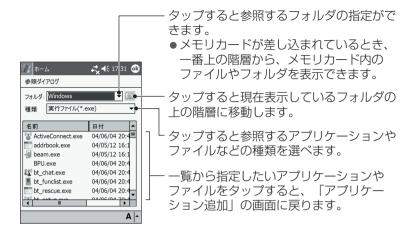
新しくインストールしたアプリケーションのアイコンを追加できます。
ホームのアイコンには、アプリケーションの他に、作成したファイルなども指定できます。

1　追加したいタブの画面上をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから、「追加」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が表示されます。
● タブ表示形式の場合は、コマンドバーの「編集」→「追加」も選べます。

2　アプリケーションを指定する

「アプリケーション」の▼をタップすると、アプリケーションの一覧が表示されます。一覧にない場合は、「参照」で探してください。
後からインストールされたアプリケーションの多くは、「Program Files」フォルダの下の階層にインストールされ、「Windows¥スタートメニュー¥プログラム」フォルダにショートカット（＊.lnk）が登録されています。

アプリケーションを選ぶと、アプリケーション名に選んだ名前が表示されます。

参照画面について

3 アイコン名を入力する

「ホーム」画面に表示するアイコン名を「アプリケーション名」に入力します。

4 「OK」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が閉じ、アイコンが追加されます。

お知らせ

- 「アプリケーション」を指定していないとアイコンを追加できません。また、アプリケーション名を入力していないときも、アイコンを追加できません。
- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

アイコン名の変更

アイコン名（アプリケーション名）を変更できます。

1 名前を変更したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする

アイコン名が変更できる状態になります。

3 入力パネルを使って名前を変更し、↵ をタップする

変更した名前が確定します。

- ナビゲーションバー、コマンドバー以外の画面をタップしても名前が確定します。
- 上記以外でも、画面の内容が変わったときなどの場合には、名前が確定します。
- 名前が確定する前に Esc をタップすると名前の変更が取り消されます。

アイコンの表示切り替え

タブ表示形式の場合、コマンドバーの「表示」から「大きいアイコン」と「小さいアイコン」を、お好みに合わせて選べます。

（例）小さいアイコン

（例）大きいアイコン

タブの設定

タブの設定では、タブの追加、削除、タブ名の変更などが設定できます。また、タブの背景にお好みのビットマップ画像や背景色を設定したり、アイコン名の文字色を設定することもできます。

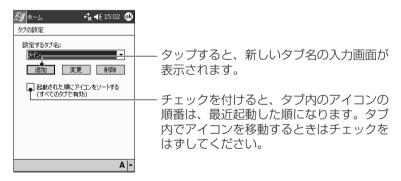
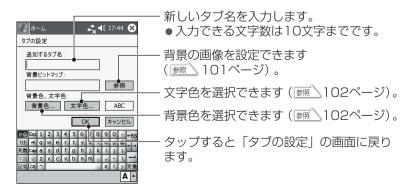
タブの切り替え

タブを切り替えるには、並列表示形式では、タブ選択ボックスをタップし、表示された一覧からタブ名をタップします。タブ表示形式では、タブをタップします。初期状態では、「実行中」を含む、「メイン」、「プログラム」の３つのタブが登録されています。

タブの追加

タブを追加することにより、お好みに合わせてアイコンを分類できます。同じアイコンもタブが違えば両方に追加できます。

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

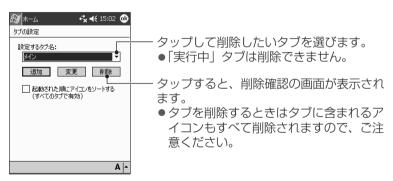
2 「タブの設定」の画面から「追加」をタップする

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする

4 「タブの設定」の画面でⓞⓚをタップする

「ホーム」画面に戻ります。
● 新しいタブは、既存のタブの右側に追加されます。

お知らせ
● タブは最大 10 個まで増やすことができます。
● タブの並び順は、変更できません。

タブの削除

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

2 「タブの設定」の画面からタブ名を選び、「削除」をタップする

3 削除確認のダイアログから「はい」をタップする

タブが削除され、「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でⓞⓚをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

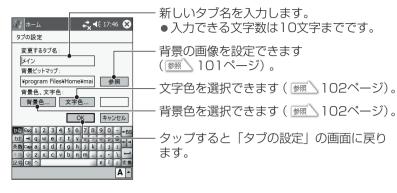
タブ名の変更

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 変更したいタブ名を選び、「変更」をタップする

●「実行中」タブのタブ名は変更できません。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする

4 「タブの設定」画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

背景の画像の設定

タブごとに背景の画像を設定できます。

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3 「参照」をタップする

参照画面が表示されます。

タップすると、参照するフォルダの指定ができます。
●このとき、メモリカードが差し込まれた状態であっても、メモリカード内のファイルは表示されません。

タップすると、現在表示しているフォルダの上の階層に移動します。

4 一覧から背景にしたいビットマップファイルをタップする

元の画面に戻ります。

5 **「OK」をタップする**

「タブの設定」の画面に戻ります。

6 **「タブの設定」の画面で ok をタップする**

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 背景に設定できるのは、ビットマップファイルのみです。
- 背景に設定したビットマップ画像が、「ホーム」画面上に表示される範囲は、横 240 ×縦 268 ドットです。

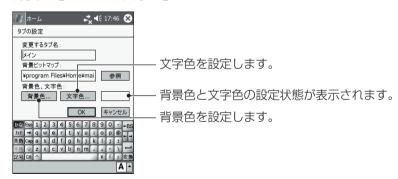
背景色、文字色の設定

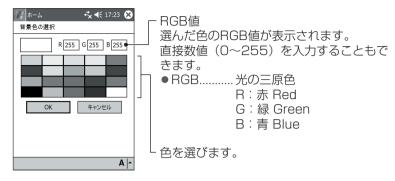
タブごとに背景色やアプリケーション名の文字色を設定できます。

1 **「ツール」→「タブの設定」をタップする**

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 **設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする**

3 **「背景色」または「文字色」をタップする**

4 色を選択し、「OK」をタップする

元の画面に戻ります。

5 「OK」をタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

6 「タブの設定」の画面で ok をタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 「表示」メニューからも、背景色、文字色の設定ができます。
- すでに背景の画像を設定している場合は、背景色を設定しても背景は画像のままで、変わりません。ただし背景の画像が小さい場合は、余白が背景色になります。設定した背景色で表示するには、操作3の「タブの設定」画面で、背景ビットマップ欄のビットマップファイルを削除してください。

7. データのバックアップ

メモリカードやFlash ROM Diskなどに、本体のデータをバックアップできます。バックアップしたデータは本体にリストア（復元）できます。また、メモリカードやFlash ROM Diskからバックアップしたデータを削除することもできます。
重要なデータは、定期的にバックアップしておいてください。
バックアップするデータは「全体」「PIMデータ」のどちらかを選びます。

「全体」では次の３種類を一括バックアップします。
- ファイル
  Pocket Word、Pocket Excel、メモなどで作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど
- レジストリ
  OS（Pocket PC）や内蔵プログラムの設定情報
- データベース
  Microsoft Pocket Outlookのデータベース情報

「PIMデータ」では、「連絡先」、「予定表」、「仕事」のデータをバックアップします。

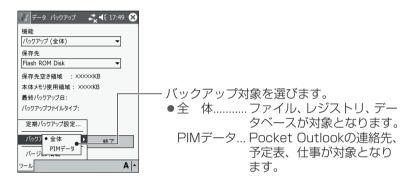
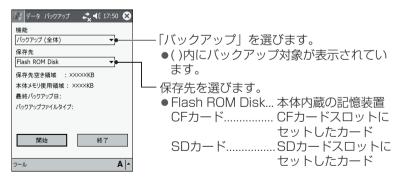
お願い
- Flash ROM Diskに保存したデータは、バックアップの対象になりません。
- バックアップ／リストア中、定期バックアップ中にメモリカード、Flash ROM Disk、本体メモリの空き容量がなくなると、バックアップ／リストアが途中で終了します。事前にメモリカード、Flash ROM Diskの空き容量の確認（参照 81ページ）や、メモリの解放（参照 82ページ）を行ってください。
- 「全体」も「PIMデータ」も同じファイル名で上書き保存されますので、同じメモリカードには保存しないでください。
- 「設定」の日付、時刻、パスワードなど、復元されないデータがあります。
- バックアップやリストアをするときは、他のアプリケーションを終了させ、本体にACアダプタを接続してから行ってください。
- バックアップ中、またはリストアやバックアップファイルを削除しているときに絶対に本体の電源を切ったり、リセットや初期化を行わないでください。データやメモリカード、Flash ROM Disk、本体が破損する場合があります。
- システムを更新（ROMのアップデート）した場合は、更新する前にバックアップしたデータを正常にリストアできない可能性があります。

バックアップをとる

メモリカードにバックアップをとる場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

1 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

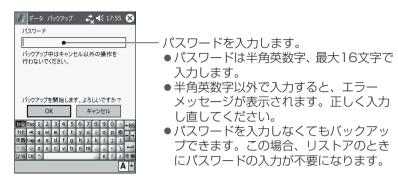
「データバックアップ」の画面が表示されます。

2 「ツール」→「バックアップ対象」をタップし、「全体」または「PIMデータ」を選択する

3 「機能」の「バックアップ」を選択し、保存先を選ぶ

4 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

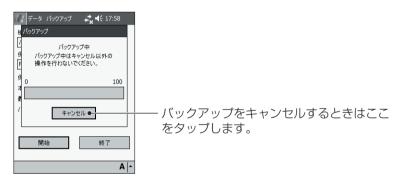
5 「OK」をタップする

「バックアップ」のパスワード入力画面が表示されます。

6 パスワードを入力する

お願い

- **パスワードを忘れると、リストアできなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**

7 「OK」をタップする

バックアップ中のメッセージが表示され、バックアップを開始します。

- バックアップが終了すると、バックアップ終了のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるバックアップ時刻は、バックアップを開始した時刻です。

8 ⓞⓚをタップする

元の画面に戻ります。

9 「終了」をタップする

「データバックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

- 指定されたメモリカードが書き込み禁止になっていると、バックアップができません。書き込み禁止を解除してください。
- 定期的にバックアップをとることもできます（参照 110ページ）。
- バックアップファイルは、常に上書きされます。

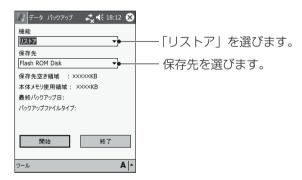
リストアをする

リストアをすると、メモリカードやFlash ROM Diskにバックアップしたデータを、本体メモリに復元（上書きコピー）します。メモリカードにバックアップしたデータがある場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

- 本体メモリに同じファイル名がある場合、バックアップファイルのデータに上書きされます。
- 本体メモリにあるファイルで、バックアップファイルにないものは、そのまま残ります。

1 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

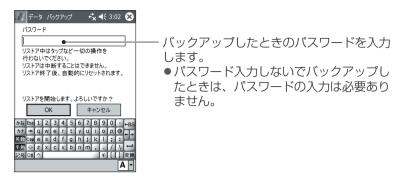
「データバックアップ」の画面が表示されます。

2 「機能」の「リストア」を選択し、保存先を選ぶ

3 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

4 「OK」をタップする

「リストア」のパスワード入力画面が表示されます。

5 バックアップしたときのパスワードを入力する

6 「OK」をタップする

リストア中のメッセージが表示され、リストアが開始されます。

● リストアが終了すると、リストア終了のメッセージが表示されます。

7 ok をタップする

自動的に本体がリセットされ、再起動します。

お願い

● 本体メモリの空き容量が少ないと、データをリストアできないことがあります。このような場合は、必要のないデータを削除したり、必要のないアプリケーションをアンインストールして、本体メモリの空き容量を増やしてください。

お知らせ

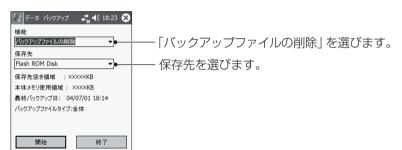
● 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下、他のPocket PCと呼びます）でバックアップしたデータは、この本体にリストアできません。他のPocket PCのデータをこの本体に取り込みたい場合は、ActiveSyncを使って他のPocket PCとパソコンの同期をとってください。次にこの本体とパソコンで同期をとり、データをこの本体に取り込んでください。

バックアップファイルを削除する

メモリカード用のバックアップデータを削除する場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

1 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

「データバックアップ」の画面が表示されます。

2 「機能」の「バックアップファイルの削除」を選択し、保存先を選ぶ

3 「開始」をタップする

バックアップファイルの削除確認画面が表示されます。

4 「OK」をタップする

バックアップファイルが削除されます。

5 「終了」をタップする

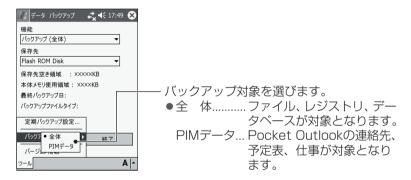
「データバックアップ」の画面が閉じます。

定期的にバックアップをとる

定期バックアップを設定すると、指定した曜日や時間ごとに自動的にデータをバックアップします。電源がOFFになっていても、定期バックアップは行われます。メモリカードにバックアップをとる場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

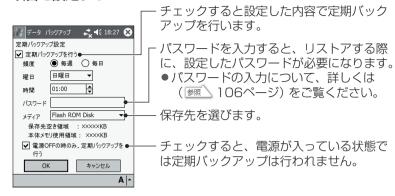
1 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

「データバックアップ」の画面が表示されます。

2 「ツール」→「バックアップ対象」をタップし、「全体」または「PIMデータ」を選択する

● 定期バックアップは、定期バックアップの開始時刻のとき選択されている「バックアップ対象」がバックアップされます。設定後に、通常のバックアップ操作で「バックアップ対象」を変更すると、定期バックアップも変更後の「バックアップ対象」がバックアップされます。

3 「ツール」→「定期バックアップ設定」をタップする

「定期バックアップ設定」の画面が表示されます。

4 項目を設定する

5 「OK」をタップする

内容が保存され、設定した時刻に定期バックアップが行われます。

6 「終了」をタップする

「データバックアップ」の画面が閉じます。

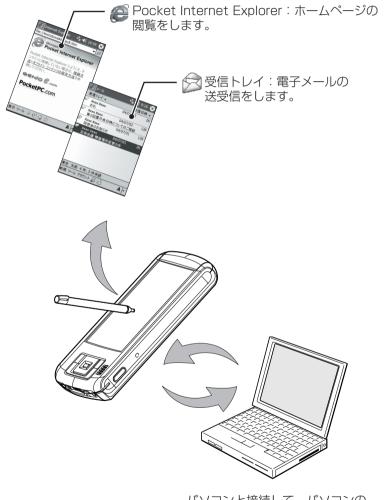
お知らせ

- 「電源OFFの時のみ、定期バックアップを行う」にチェックを付けていない場合、定期バックアップの時刻に電源がONになっていると、定期バックアップの確認画面が表示されます。「OK」をタップする、または確認画面が表示されてから約30秒以上経過すると、自動的にバックアップが開始します。「キャンセル」をタップするとバックアップを中止します。
- 「電源OFFの時のみ、定期バックアップを行う」にチェックが付いている場合、定期バックアップの時刻に電源がOFFになっていると、バックアップを開始します。
- 定期バックアップが行われたかどうかは、バックアップの最終バックアップ日で、確認してください。

お願い

- ACアダプタが接続されておらず、内蔵電池の充電残量が50%未満の場合は、定期バックアップが行われません。
- 定期バックアップの時刻に、設定したメモリカードが挿入されていない場合は、定期バックアップは行われません。
- 定期バックアップ中に電源をOFFにしないでください。データやメモリカード、本体が破損する場合があります。

第3章
インターネットの利用

PHSカードなどを接続して、移動先からでもホームページの閲覧、電子メールの送受信が可能になります。

1. インターネットの接続設定

インターネットやメールを始めるには、ご加入のプロバイダの情報を本体に設定する必要があります。
インターネットの接続設定と電子メールの接続設定（受信トレイの設定）を、それぞれ行います。

インターネットの接続設定

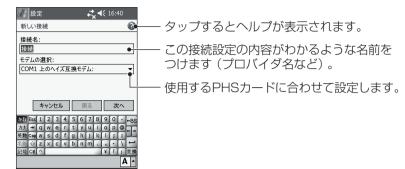
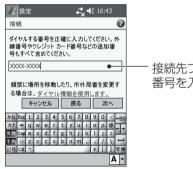
プロバイダにダイヤルアップして、インターネットに接続する設定をします。

1 本体の電源を切り、PHS カードを接続する

本体の電源を入れると、「新しいモデムが検出されました」のポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューが表示されない場合は、ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップして表示されるポップアップメニューから「設定」をタップし、「インターネット設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップしてください。

2 「インターネット」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。

3 「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する

接続先プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

4 「次へ」をタップし、「ユーザー名」、「パスワード」を入力する

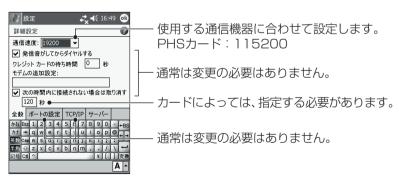
プロバイダに接続するための「ユーザー名」を入力します。

入力するとパスワードが自動的に保存されるので、接続時に「ユーザー名」と「パスワード」を入力する必要がなくなります。
接続するたびに「ユーザー名」や「パスワード」を入力したいときには、ここで「ユーザー名」や「パスワード」は入力せず、空欄にしておきます。

通常は入力の必要はありません。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザーID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアッププログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

5 「詳細設定」をタップし、各項目を設定する

6 「サーバー」タブをタップし、どちらかを選択する

プロバイダの指示により、どちらかを選択してください。

プロバイダの指示に従って、入力してください。

※「プライマリDNS」「セカンダリDNS」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server(1) ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server(2) ネームサーバー(2)　など

7 ⓞⓚをタップする

「ユーザー名」、「パスワード」の設定画面に戻ります。
画面は表示例です。

8 **「完了」をタップする**

「接続」の画面に戻ります。

9 **ok をタップする**

「接続」の画面が閉じます。

作成した接続設定を変更する

1 **ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする**

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

2 **「設定」をタップする**

「接続」の画面が表示されます。

3 「既存の接続を管理」をタップする

「インターネット設定」の画面が表示されます。

4 変更する接続名を選択し、「編集」をタップする

5 設定内容を変更する

作成したときと同様に設定します。
「パスワード」には、実際に設定したパスワードとは異なる文字数が表示されています。

お知らせ

- 作成した接続設定を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

社内ネットワークへの接続設定

ダイヤルアップで社内ネットワークに接続する場合、設定します。ネットワーク管理者から、ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワード、および TCP/IP 設定に関する情報を入手してください。
VPN を利用するとインターネット経由で社内ネットワークに接続できます。VPN を利用するときは、（参照 123 ページ）をご覧ください。

1 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

2 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

3 「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。
「インターネットの接続設定」の操作２～７（参照 117 ページ）と同じ操作をして、ダイヤルアップでの社内ネットワークへの接続方法を設定してください。

4 「完了」をタップする

「接続」の画面に戻ります。

タップすると、プロキシの設定ができます。社内のパソコンと同期すると、自動的にパソコンからプロキシの設定が行われます。パソコンからの設定を変更する場合は、ここから変更してください。

5 ok をタップする

「接続」の画面が閉じます。

VPNを利用した社内ネットワークへの接続設定

プロバイダのアクセスポイントへダイヤルアップし、VPNを利用して社内ネットワークに接続できます。

1 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

2 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

3 「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップする

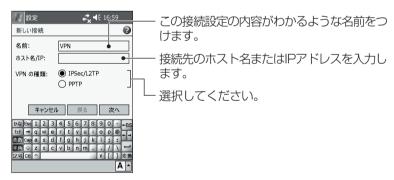
「新しい接続」の画面が表示されます。
「インターネットの接続設定」の操作２～７（参照 117ページ）と同じ操作をして、プロバイダへの接続方法を設定します。

4 「完了」をタップする

「接続」の画面に戻ります。

タップすると、プロキシの設定ができます。社内のパソコンと同期すると、自動的にパソコンからプロキシの設定が行われます。
パソコンからの設定を変更する場合は、ここから変更してください。

5 「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。

「VPNの種類」で「IPSec/L2TP」を選択した場合は、操作６に進んでください。
「PPTP」を選択した場合は、操作７に進んでください。

6 「次へ」をタップし、認証方法を選択する

7 「次へ」をタップし、「ユーザー名」、「パスワード」を入力する

特定のIPアドレスを入力するときタップします。

- 接続先や詳細設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8 「完了」をタップする

「接続」の画面に戻ります。

9 ok をタップする

「接続」の画面が閉じます。

インターネットに接続する

1 **本体の電源を切り、PHS カードを接続する**

2 **ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする**

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

タップすると「インターネット設定」で設定した接続を開始します。

タップすると「社内ネットワーク設定」で設定した接続を開始します。

タップすると「接続」の設定画面が表示されます。

3 **接続先の電話番号をタップする**

接続設定時に「パスワード」を入力した場合は、接続を開始します。
接続設定時に「パスワード」を入力していない場合は、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。操作４へ進んでください。

「インターネットの接続設定」の操作4で入力した「ユーザー名」が入力されています。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザーID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

通常、入力の必要はありません。

チェックを付けると、パスワードを保存します。

4 「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップする

接続を開始します。

接続を開始すると、「接続中」のポップアップメニューが表示されます。接続できると、ポップアップメニューが消えます。
また、ナビゲーションバーの通信接続アイコンが から に変わります。

■接続名を選んで接続するには

操作２で表示された「接続」のポップアップメニューから、「設定」をタップします。
「既定のインターネット設定」または「既定の社内ネットワーク設定」の、「既存の接続を管理」をタップします。
表示された接続名の中から接続する接続名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「接続」をタップします。

■接続を切るには

通信接続アイコンをタップし、表示されたポップアップメニューの「切断」をタップします。

LAN カードを使って接続する

本体に対応したLAN カードを使ってネットワークに接続できます。カードによっては、ドライバが必要です。
接続方法について詳しくは、LANカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

■LAN カードにネットワークケーブルを接続している場合

あらかじめLAN カードにネットワークケーブルを接続している場合は、以下の手順で設定してください。

1 本体の電源を切り、ネットワークケーブルを接続したLANカードを挿入する

本体の電源を入れて、しばらくすると、「接続を確立しています」のポップアップメニューが表示されます。

2 「このネットワークカードの接続先」で「既定の社内ネットワーク設定」を選択し、「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

3 「社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」をタップし、設定する

設定について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

■LAN カードにネットワークケーブルを接続していない場合

設定の後でLAN カードにネットワークケーブルを接続する場合は、以下の手順で設定してください。

1 本体の電源を切り、LAN カードを挿入する

2 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

3 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

4 「社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」をタップし、設定する

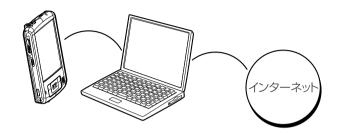
設定について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 LANカードにネットワークケーブルを接続し、ネットワークに接続する

パススルーで接続する

パソコン側のインターネット接続を利用して、ホームページの閲覧、電子メールの送受信をすることができます。

パソコン側での操作は、次のとおりです。

1 **パソコン側で ActiveSync を起動する**

2 **「ツール」→「オプション」から「規則」タブをクリックする**

3 **「パススルー」の「接続」で接続方法を選択する**

- インターネット .... 自宅などからインターネットに接続するとき
- 社内ネットワーク .... 社内からインターネットに接続するとき

■ホームページを閲覧する場合

1 **本体をクレードルに接続した状態でPocket Internet Explorerを起動する**

- 「ホームページを見る」（参照 137ページ）の操作を行ってください。

■電子メールの送受信をする場合

1　受信トレイの接続設定を行う

「受信トレイの接続設定」（参照 132 ページ）をご覧ください。

● 受信トレイの接続設定の操作6で、「オプション」をタップし、「接続：」を「社内ネットワーク設定」に設定してください。

2　本体をクレードルに接続し、「受信トレイ」のコマンドバーの「メール送受信」アイコンをタップする

● メールを送信する場合は、「送信トレイ」フォルダにメールを保存しておきます。

● メールの作成方法などは「メールを送受信する」（参照 144ページ）をご覧ください。

2. 電子メールの接続設定

電子メールの接続設定（受信トレイの接続設定）を行います。

受信トレイの接続設定

初めて設定するときは、本体からPHSカードを取りはずしてください。

1 「スタート」の「メール」をタップする

受信トレイが起動します。

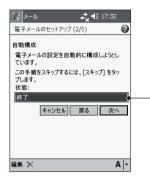
2 「アカウント」をタップし、メニューの中から「新しいアカウント」をタップする

「電子メールのセットアップ（1/5)」の画面が表示されます。

メールアドレスの入力について、カンマ（,）とドット（.）の違いにご留意ください。
一般に、メールアドレスにはドット（.）が使われています。

入力パネルのキー配列では、カンマ（,）とドット（.）は隣同士にあります。

3 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（2/5）」の画面が表示されます。
「状態：」のフィールド表示が「終了」になるのを確認してください。

- ネットワークへのログオンの画面が表示されたときは、「キャンセル」をタップします。
- モデムをつないでいるときは、「接続」のポップアップメニューが表示されますので、「キャンセル」をタップしてください。

接続中...

本体をクレードルに接続していると、「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「終了」になるまでお待ちください。

4 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（3/5）」の画面が表示されます。
「ユーザー情報」を入力してください。

差出人として相手方に表示される名前を入力します。

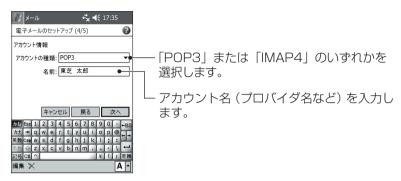
プロバイダから指定されたメールサーバーへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力します。
（ユーザー名には、操作2で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されますので必要に応じて書きかえてください。）

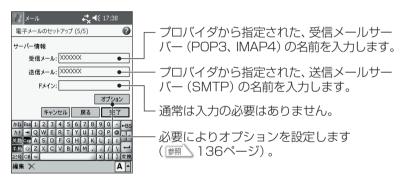
※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザーID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

チェックを付けると、パスワードを保存します。

5 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（4/5）」の画面が表示されます。
「アカウント情報」を入力してください。

6 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（5/5）」の画面が表示されます。
「サーバー情報」を入力してください。

7 「完了」をタップする

「この新しいアカウントのメールを今すぐダウンロードしますか？」が表示されます。
「OK」をタップするとインターネット接続画面が表示されます。PHSカードを接続し、「ユーザ名」を確認し、「パスワード」を入力して「OK」をタップしてください。
「いいえ」をタップすると「受信トレイ」の画面に戻ります。

受信トレイの接続設定を変更する

1 「受信トレイ」の一覧画面で「アカウント」→「アカウント」をタップする

2 「アカウント」タブをタップする

アカウントの一覧が表示されます。

3 変更したいアカウントをタップする

「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。

● 作成したアカウントを削除する場合は、アカウント名をタップアンドホールドして削除します。

4 設定したときと同じように設定する

「受信トレイの接続設定」の操作２以降（参照 132ページ）をご覧ください。

■接続設定のオプションを変更する

「電子メールのセットアップ（4/4）」の画面で、「オプション」をタップして変更します。「オプション」は、３画面用意されています。「次へ」をタップして順に表示できます。必要に応じて設定してください。

● オプション１

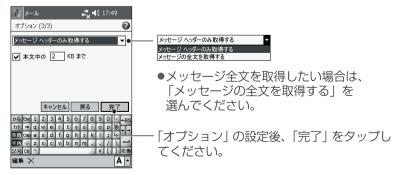
● オプション２

● オプション３

●メッセージ全文を取得したい場合は、「メッセージの全文を取得する」を選んでください。

「オプション」の設定後、「完了」をタップしてください。

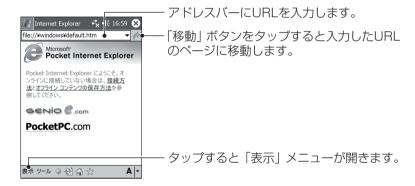
3. ホームページを見る

Pocket Internet Explorer を使ってホームページを閲覧できます。
ホームページを見るためにはインターネットの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 116 ページ）をご覧になり、設定してください。

インターネットに接続し、ホームページを見る

1 本体に PHS カードなどを接続する

● 接続のしかたは（参照 21、22 ページ）をご覧ください。

2 「スタート」の「Internet Explorer」をタップする

Pocket Internet Explorer が起動します。

3 アドレスバーに URL を入力し、「移動」ボタンを押す

接続を開始し、指定した URL のページに移動します。
接続設定時に「パスワード」を入力した場合は、接続を開始します。
接続設定時に「パスワード」を入力していない場合は、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップしてください。接続を開始します。入力後、「OK」をタップしないで、時間が経つと、前の画面に戻り入力した内容は保存されません。

■接続を切断するには

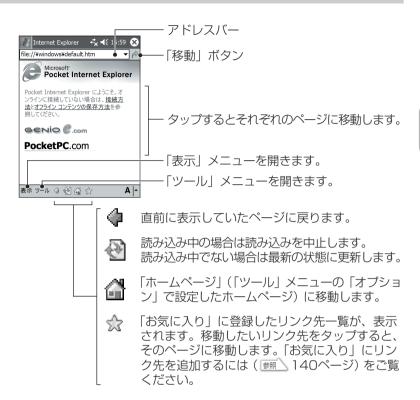
ダイヤルアップまたはVPNを使用して接続しているときは、ナビゲーションバーの をタップし、表示されたメッセージから「切断」をタップします。

ダイヤルアップまたはVPN以外の方法で接続しているときは、以下のようにして切断してください。

- ケーブルまたはクレードルで接続しているときは、本体をケーブルまたはクレードルから取りはずすか、画面下のコマンドバーの をタップして、「切断」をタップします。
- 赤外線で接続しているときは、本体をPCから離します。
- ネットワーク（Ethernet）カードで接続しているときは、カードを本体から取りはずします。
- e830Wに内蔵の無線LANで接続されているときは、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOffにします。

お知らせ

- 「お気に入り」からリンク先をタップして、そのページを見ることができます（参照 139ページ）。
- パソコンからお気に入りのリンクを本体の「お気に入り」に取り込めます。「「お気に入り」をパソコンと同期する」（参照 142ページ）をご覧ください。
- 接続先（プロバイダ）を選んで、接続したい場合は、「インターネットに接続する」（参照 126ページ）をご覧ください。

Pocket Internet Explorer について

「表示」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「次へ」………………………… 前に表示していたページに戻ります。
「レイアウト」…………… ページの表示状態を設定します。
「イメージの表示」……. ページの画像を表示／非表示に切り替えます。
「アドレスバー」……….. タップすると、アドレスバーの表示／非表示を切り替えられます。
「文字のサイズ」……….. 表示する文字の大きさを設定します。
「履歴」………………………… 過去に表示したリンク先の一覧画面を表示します。
「プロパティ」…………… 表示しているページの情報を表示します。

「ツール」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「電子メールからリンクを送る」.. 受信トレイが起動し、表示しているページの URL を載せたメッセージ作成画面が表示されます。受信トレイの使いかたは(参照 144 ページ)をご覧ください。

「すべてのテキストを選択」.......... すべてのテキスト文字を選択します。

「オプション」................................ オプション設定画面を表示します。(参照 141ページ)をご覧ください。

「お気に入り」に追加するには

1 「お気に入り」に追加したいページを表示中に、☆をタップする

2 「追加／削除」タブをタップし、「追加」をタップする

「お気に入りの追加」の画面が表示されます。

3 「追加」をタップする

「お気に入り」に追加され、「お気に入り」の「追加／削除」タブの画面に戻ります。

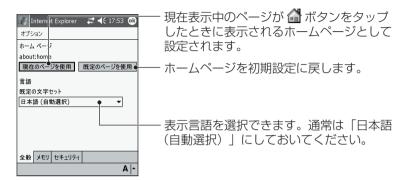
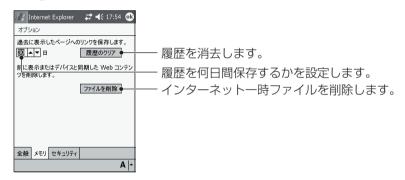
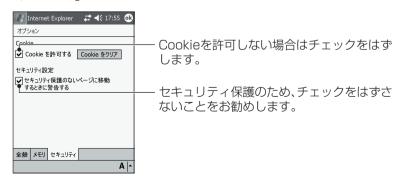
お知らせ

- 「お気に入り」から削除するには、「お気に入り」の一覧画面で「追加／削除」タブをタップして、削除したいリンク先を選んで「削除」をタップし、「はい」をタップします。

「オプション」設定について

「ツール」→「オプション」を選択すると、以下の設定ができます。
設定が終わったらⓞⓚをタップしてください。

●「全般」タブ

●「メモリ」タブ

●「セキュリティ」タブ

お知らせ

- Cookieには､ユーザーの識別情報やページにアクセスしたときの設定などの情報が含まれ、ページから本体に送られ保存されます。このファイルによって、ページの情報がユーザーの要求に合わせて調整されます。

閲覧できるホームページ

- Pocket Internet Explorer は、パソコン用のブラウザと比べると、機能が制限されています。
  ・パソコン用のブラウザで閲覧することを前提に作られたホームページで、一部のホームページは表示できない場合があります。
  ・プラグインを必要とするホームページは、利用できない場合があります。
  ・ホームトレードページは、利用できない場合があります。

「お気に入り」をパソコンと同期する

ActiveSync で「お気に入り」を同期設定していると（参照 58 ページ）、パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」の中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されています。本体とパソコンを接続して同期したときに「モバイルのお気に入り」フォルダに入れたリンク内容と本体の「お気に入り」のリンク内容が同期されます。

パソコンで取り込んだホームページを本体で見る

パソコンのInternet Explorer5.0 以上を使用している場合は、本体にお気に入りのページをダウンロードして、本体でオフライン時にそのページを見ることができます。

1 **パソコンで Internet Explorer を起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」をクリックする**

2 **「OK」をクリックする**

そのページがパソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダにダウンロードされます。

3 本体とパソコンを同期する

パソコンで取り込んだページが本体に転送されます。

4 本体の Pocket Internet Explorer を起動し、☆をタップする

パソコンで取り込んだページタイトルが追加されています。

5 そのページタイトルをタップする

取り込んだページが表示されます。

お知らせ

- そのページにリンクしているページもダウンロードしたい場合は、パソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダ内のページタイトルを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ダウンロード」タブで、ダウンロードしたいリンクの深さを変更できます。リンクを深く設定した場合、メモリをたくさん使います。

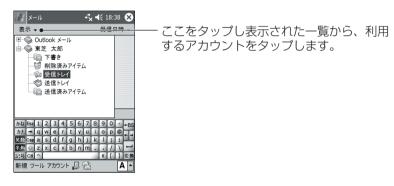
4. メールを送受信する

メールメッセージを送受信するには、Microsoft Pocket Outlookの「受信トレイ」を使います。メールの送受信には、メールの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 132 ページ）をご覧になり、設定してください。

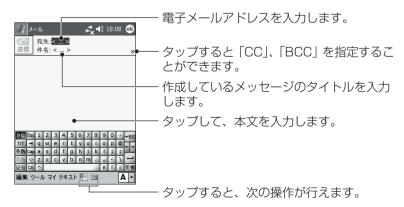
新規にメッセージを作成し、送信する

1 「スタート」の「メール」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

2 メールの送信に利用するアカウントを選ぶ

3 「新規」をタップする

メッセージの作成画面が表示されます。

4 「宛先」、「件名」を入力し、本文を入力する

……このボタンをタップすると、電子メールのアドレス一覧が表示されます。送信先にしたいアドレスをタップすると、宛先に選んだアドレスが入力されます。もう１度このボタンをタップするとアドレス一覧が消えます。「宛先」をタップしても同じようになります。
ここで表示されるアドレス一覧は、「連絡先」で登録した電子メールアドレスの一覧です。

……このボタンをタップすると、録音ツールバーが表示され音声を添付ファイルとして送信できます。

● メッセージ作成画面について
「ツール」メニューでメッセージ作成の応用操作が行えます。

タップすると、添付するファイルを選べます。

「宛先」、「CC」または「BCC」に名前を入力してこのボタンをタップすると、連絡先やオンラインアドレス帳から登録されている名前と一致する名前のアドレスを入力できます。

タップすると、マイテキストを編集できます。

タップすると、「マイテキスト」の一覧が表示されます。一覧からメッセージをタップすると、よく使うメッセージを簡単に挿入できます。

5「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

● 「送信」をタップしないでokをタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。このメッセージを送信するには、１度メッセージを表示させてから「送信」をタップしてください。

6 メールサーバーに接続する

メールサーバーへ接続すると、「送信トレイ」フォルダにあるメッセージが送信されます。
メールサーバーへの接続のしかたは次ページ「メールを送受信する」をご覧ください。
メールサーバーに受信メッセージがあると、メッセージが受信されます。

● メールの送信に使用するアカウント（参照 144ページ）が「Outlook メール」の場合は「パソコンと同期する」（参照 153ページ）に従ってください。

お知らせ

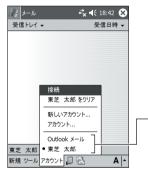
- 「CC」や「BCC」には、参考に送信したい人のアドレスを入力します。「BCC」に入れたアドレスは、BCCで受け取った人以外から見えないように配信されます。
- 電子メールアドレスを複数入力するときは、セミコロン（;）で区切って入力します。

メールを送受信する

メールサーバーに接続すると、初めに「送信トレイ」フォルダに入っているメッセージを送信し、次にメールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

1 本体にPHSカードなどを接続する

接続のしかたは（参照 21、22ページ）をご覧ください。

2 「アカウント」メニューから接続に使うアカウント名をタップする

ここに登録したアカウント名が表示されます（参照 134ページ）。
お使いになるアカウントをタップして選びます。

3 「接続」をタップする

インターネット／受信トレイの接続設定時にそれぞれ「パスワード」を入力／保存した場合は、接続を開始します。
接続設定時に「パスワード」を入力／保存していない場合は、「アカウントのパスワード」／「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップしてください。
接続が開始されます。
メールサーバーへの接続が完了すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメールが送信され、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

4 メールの送受信が完了したら、「アカウント」→「切断」をタップする

メールサーバーへの接続が切断されます。

お知らせ

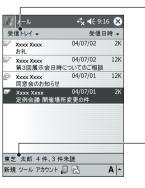
- 「アカウント」→「切断」を行わずに、PHS カードなどの接続を切断すると、メールサーバから見て切断されていない状態となり、同じアカウントでパソコンなどからメールサーバーに接続できません。
  そのような場合は、もう一度本製品でメールを送受信する操作を行った後、「アカウント」→「切断」を行ってください。
- 操作3で「接続」の代わりに「メールの送受信」をタップするとメールの送受信完了後、メールサーバーへの接続を切断し、PHSカードなどの接続を切断します。

メッセージを見る／返信する／転送する

メールサーバーに接続すると、メッセージを受信できます。受信したメッセージを見たり、返信したり、転送できます。

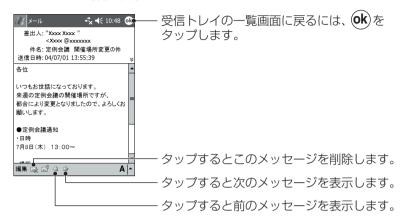
メッセージを見る

1 「スタート」から「メール」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

別のアカウントの受信メールを見る場合は、ここをタップして、見たいアカウントの「受信トレイ」フォルダを選びます。

現在選択している「受信トレイ」フォルダが属するアカウント名が表示されます。

2 見たいメッセージをタップする

メッセージの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信メッセージの初期設定は、メッセージヘッダーのみ取得する設定になっています（参照 136 ページ）。

■メッセージの全文を取得する

受信メッセージが途中で切れているときや添付ファイルを見たい場合は、指定したメッセージだけメッセージの全文を取得できます。

1 「受信トレイ」の一覧画面で、メッセージの全文を取得したいメッセージをタップアンドホールドする

2 「後でダウンロードする」をタップする

3 メールサーバーに接続する

指定したメッセージの全文を取得できます。

■添付ファイルを保存する

メールに添付されたファイルを保存することができます。

1 メッセージの全文を取得する

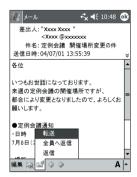
2 メッセージの内容を表示する

3 画面左下の添付ファイル名をタップアンドホールドし、「名前を付けて保存」をタップする

4 保存場所を選択し、[保存] をタップする

メッセージを返信／転送する

1 「メッセージを見る」の操作 1、2 に従って、メッセージの内容を表示する

2 をタップし、「返信」、「全員へ返信」または「転送」をタップする

- 「返信」をタップすると、差出人を宛先にしたメッセージ作成画面になります。
- 「全員へ返信」をタップすると、差出人だけでなく同じメールを受信した全員を宛先にできます（CCで受信した人はCCに指定されます）。
- 「転送」をタップしたときは、転送先（宛先）を入力してください。

3 返信または転送のメッセージを入力する

4 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
- 送信するには、メールサーバーへ接続してください。

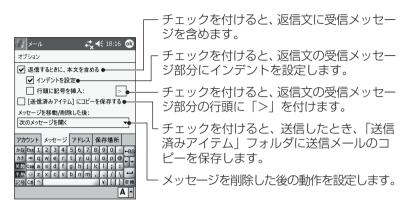
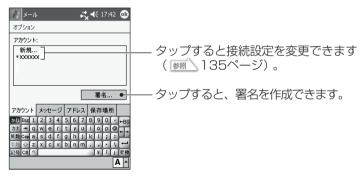
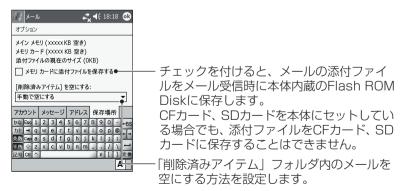
お知らせ

- 受信トレイの一覧画面で、返信または転送したいメールをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、「返信」、「全員へ返信」または「転送」が選べます。

メッセージのオプションの変更をする

1 「受信トレイ」の一覧画面で、「ツール」→「オプション」をタップする

2 設定を変更する

●「メッセージ」タブでメッセージに関する設定を変更する

●「アカウント」タブでアカウントの設定を変更する

●「保存場所」タブで添付ファイルや削除フォルダの設定を変更する

3 設定が終わったらokをタップする

メッセージを整理する

新規フォルダを作成する

メッセージを整理して保存するために、新規にフォルダを作成することができます。送信者や内容別に振り分けると便利です。

1 「ツール」→「フォルダの管理」をタップし、その下にフォルダを作成したいフォルダをタップする

● Outlookメールフォルダの下に、新規フォルダを作成することはできません。

ここをタップして、新しいフォルダを作成します。

2 「新規」をタップする

フォルダ名を入力する画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力し、ok をタップする

フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 作成したフォルダはフォルダの管理の画面で「名前の変更」をタップすると名前の変更ができます。 をタップすると、削除ができます。

メールを削除する

1 **受信トレイの一覧画面で、削除したいメッセージをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「削除」をタップする**

選んだメッセージは、「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

お知らせ

- 「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを完全に削除するには、「ツール」メニューの「[削除済みアイテム] を空にする」をタップします。または、「削除済みアイテム」フォルダ内のメールをタップアンドホールドして、「削除」をタップします。

■メールサーバー上のメールを削除する

メールサーバー上のメールの削除は次のように行います。

1 **「受信トレイ」から受信メールを削除する**

削除したメールは、本製品の「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

2 **「ツール」→「[削除済みアイテム] を空にする」をタップする**

3 **再びメールサーバーに接続する**

メールサーバーに接続すると、サーバー上のメールも削除されます。

お知らせ

- メールの接続設定の「オプション（3/3）」（参照 136ページ）で、「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合は、この操作を行ってもメールサーバー上のメールは削除されません。設定を「メッセージの全文を取得する」に変更したうえでメールを受信し、この操作を行ってください。
- 本製品内の受信メールを完全に削除していない状態でメールサーバーに接続しても、サーバー上のメールは削除されません。

メールを移動する

1 **受信トレイの一覧画面で、移動したいメールをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「移動」をタップする**

移動先のフォルダを指定する画面になります。

3 **移動先のフォルダをタップし、ok をタップする**

指定したフォルダにメールが移動されます。

お知らせ

- 別のアカウントのフォルダには移動できません。

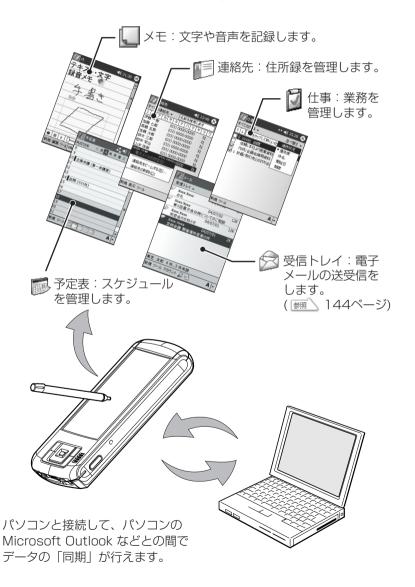
パソコンと同期する

本体が直接メールサーバーと接続してメールを送受信する方法とは別に、本体をパソコンと接続して同期すると、パソコンで受信したメッセージを本体で見たり、本体で作成したメッセージをパソコンから送ることができます。
具体的には、パソコン上のOutlookの「受信メール」のメールと本体「Outlookメール」フォルダのメールが次のように同期します。

- パソコン側に新着メッセージがある場合は、本体の「Outlookメール」フォルダの「受信トレイ」フォルダにその新着メッセージがコピーされます。初期設定では、最近５日間までのメッセージで、取得行数は最初の100行までです。
- 本体の「Outlookメール」フォルダの「送信トレイ」フォルダに入れたメッセージは、パソコン側の「送信トレイ」フォルダに転送されます。パソコン側でメールサーバーに接続すると、そのメッセージは、送信されます。
- 本体側で削除したメールは、次回同期時パソコン側でも削除されます。
- パソコン側で「受信トレイ」にサブフォルダを作成し、ActiveSyncの設定でそのサブフォルダを同期することもできます。

第4章
個人情報の管理
Microsoft Pocket Outlook

Microsoft Pocket Outlook の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」を使用して個人情報を管理します。

Pocket Outlookは本体だけでも使えますが、ActiveSyncを使ってパソコンと同期すると、より便利に使用できます。

1.「予定表」の作成と使いかた

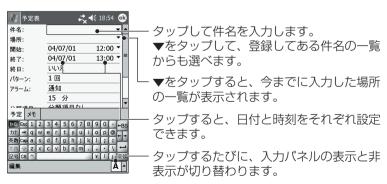
予定や会議などのスケジュールを管理します。日、週、月、年単位で表示したり、スケジュールに合わせてアラーム機能を設定したりできます。

新規に予定を入力する

1 「スタート」から「予定表」をタップする

「予定表」の一覧画面が表示されます。

2 画面左下の「新規」をタップする

予定の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 43、169 ページ）をご覧ください。
- 入力項目については、「予定表の項目について」（参照 160ページ）をご覧ください。

4 ⓞⓚをタップする

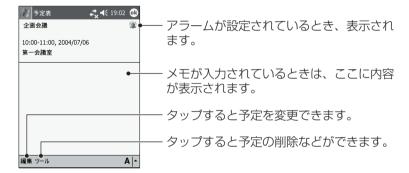
入力した予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

お知らせ

● 予定でアラームを設定してもアラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。

入力済みの予定を変更する

1 「予定表」の一覧画面で、変更したい予定をタップする

予定の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

項目を変更します。

メモを変更するときはここをタップします。メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ⓞⓚをタップする

予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

予定表の項目について

件名	仕事名や、予定の名称を設定します。自分で入力する以外に「▼」をタップして、件名の一覧からも選べます。
場所	予定の場所を入力します。「▼」をタップして、以前に入力した場所の一覧からも選べます。
開始／終了	予定の日付や時刻を設定できます。日付をタップするとカレンダーが表示されます。カレンダーから設定したい日付を選んでください。
終日	「いいえ」を選ぶと予定を時間単位で設定できます。「はい」を選ぶと選んだ日付が一日中対象となり、時間は設定できません。
パターン	設定中の予定を一回だけにするか、定期的な予定にするかどうかを選べます。
アラーム	通知を選んだ場合、予定のどれぐらい前にアラームを鳴らすかを選べます。
分類項目	仕事や個人用など、分類を設定できます。また、分類項目は追加や削除も行えます。
出席者	連絡先でメールアドレスを登録してある人のリストが一覧表示されます。出席者にチェックを付けるとActiveSyncやプロバイダを使って、選んだ相手に予定を通知できます。ActiveSyncとプロバイダのどちらを使用して通知するかは、「ツール」→「オプション」の「会議出席依頼の送信方法」で選べます。Outlookメールを選んだ場合、パソコンと同期したときに通知メールが送信されます。プロバイダを選んだ場合、本体でインターネットに接続したときに通知メールが送信されます。
公開方法	予定をインターネットなどで公開するときの表示方法を選べます。
秘密度	予定の内容に合わせて、標準またはプライベートのどちらかを設定します。

予定表の表示画面（一覧画面）を切り替える

画面下のコマンドバーのボタンをタップして、またはプログラムボタン１（予定表）を押して、予定表の表示方法を切り替えられます。

画面下のコマンドバーのボタン

計画表表示

タップするとカレンダーが表示され、日付をタップするとその日の予定が表示されます。

をタップすると今日の予定が表示されます。

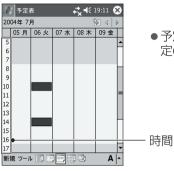
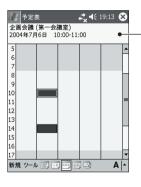
- 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

予定項目をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などが選べます。

日単位表示

- 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

時間

週単位表示

●予定項目をタップすると、画面上部に予定の概要が表示されます。

予定の概要

●予定の概要をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

月間カレンダー

年間カレンダー

- 「ツール」→「オプション」をタップすると、表示内容などを変更できます。

予定表の便利な使いかた

予定表に祝日を設定する

パソコン側のOutlookと同期することによって、Pocket Outlookの予定表に祝日を設定できます。

1 パソコンのOutlookで予定表に祝日を追加する

祝日の追加については、パソコンのOutlookのヘルプをご覧ください。

2 ActiveSyncで予定表を同期する

予定表に祝日が追加されます。

パソコンと同期したときの予定について

ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、同期する前に同期する項目や期間の設定をご確認ください（参照 58ページ）。初期値では２週間前の予定から同期する設定になっています。設定を変更しないで同期をした際は2週間以上前の予定が本体より削除されます。

2.「連絡先」の入力と編集

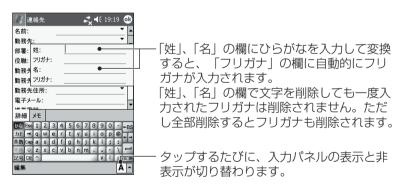
名前・電話番号・電子メールアドレス・住所などの各種情報を管理します。

新規に連絡先を入力する

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

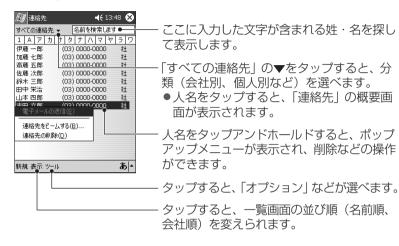
「連絡先」の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップするとメモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 43、169ページ）をご覧ください。

4 ok をタップする

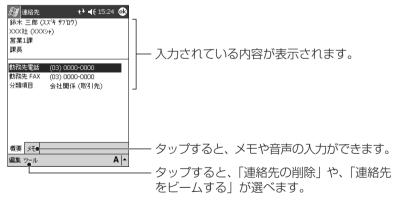
入力した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

連絡先の一覧を表示する

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

連絡先を変更する

1 「連絡先」の一覧画面で、変更したい連絡先の名前をタップする

「連絡先」の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

項目の内容が変更できます。

3 ok をタップする

変更した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

3. 「仕事」の管理

仕事の進行状況や期限などを管理できます。また、アラームも設定できます。

新規に仕事を入力する

1 「スタート」の「プログラム」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

「仕事」の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 43、169 ページ）をご覧ください。

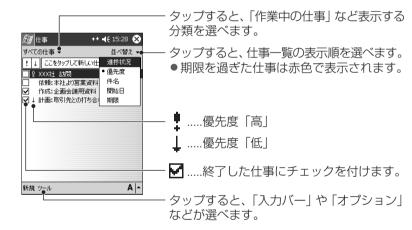
4 ⓞⓚをタップする

入力した仕事名が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

お知らせ

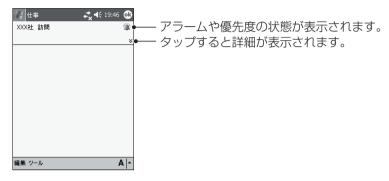
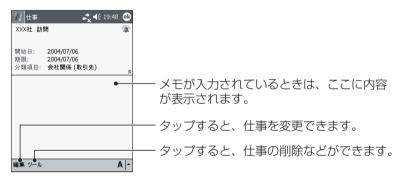
- 「仕事」でアラームを設定設定すると、期日の午前8時にバッテリ／アラームLEDが点滅し、アラームが鳴ります。アラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。
- 「仕事」の一覧画面で、「ツール」→「入力バー」を選んでも、新規に仕事を入力できます。

仕事の一覧を表示する

1 「スタート」の「プログラム」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

入力済みの仕事を変更する

1 「仕事」の一覧画面で、変更したい仕事をタップする

仕事の概要画面が表示されます。

● 詳細表示

2 「編集」をタップする

● 項目を変更します。
● メモを変更するときは「メモ」タブをタップします。
　メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

変更した仕事が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

4. 「メモ」の作成と使いかた

文字や図をすばやく手書きしたり、「メモ」の中に音声を録音することもできます。

メモを入力する

1 「スタート」の「プログラム」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

「メモ」の入力画面が表示されます。

- コマンドバーの「ツール」→「ズーム」をタップすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。
- コマンドバーのをタップすると「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が、交互に切り替わります。
- 「手書き入力モード」画面は罫線が表示されます

3 入力する

手書き（フリーハンド）入力モードのときはスタイラスで画面に直接入力します。文字入力モードのときはキーボードを使って入力します。

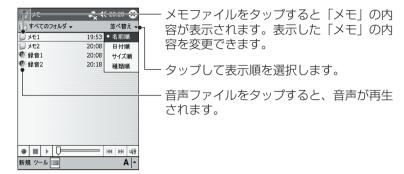
- 罫線に沿って手書きしたメモは、画面を「文字入力モード」に切り替えたときに、切り取り／コピー／貼り付けなどの編集ができます。
- 罫線を３本以上またがったメモは、描画として認識され、その範囲が破線で示されます。

4 ok をタップする

内容が保存され、「メモ」の一覧画面に戻ります。
手書き入力モードで入力したメモのファイル名は「メモ１」、「メモ２」…と自動的に付けられます。

メモの一覧を表示する

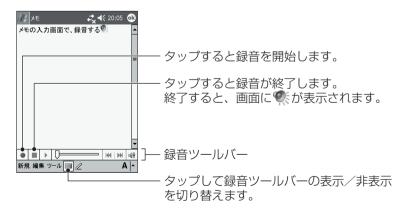
1 「スタート」の「プログラム」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

…お知らせ

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
- 「メモ」の入力画面以外で録音した音声は のアイコンで表示されます。

メモファイル上に録音する

1 「メモ」の入力画面で をタップする

「メモ」の入力画面では、同じファイルにメモと録音ができます。

2 ⓞⓚをタップする

音声が保存され、「メモ」の表示画面に戻ります。
ファイル名は、音声しかファイル上になくても、「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

お願い

- 「メモ」にはオプション設定として、「録音ボタンを使用したとき」に「プログラムを切り替えずに録音する」という項目がありますが、この機能はサポートしておりません。

お知らせ

- 「メモ」の一覧画面で録音すると、ファイルのアイコンは で、ファイル名は「録音 1」、「録音 2」…と自動的に付けられます。
- マイクロホンの位置は「各部のなまえと機能」（参照 3ページ）をご覧ください。
  録音するときは、マイクロホンを音源に近づけてください。

ファイル名を変更／ファイルを削除する

1 「スタート」の「プログラム」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 変更または削除したいファイル名をタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

- ファイル名の変更は、メニューから「名前の変更／移動」をタップします。
- 削除するときは、メニューから削除をタップします。

それぞれ画面に従って操作してください。

第5章

アプリケーションプログラム

ビジネスからエンターテイメントまでのアプリケーションプログラムを用意しています。

第5章

1. Microsoft Pocket Word

Pocket Word を使って、文字のタイプ入力や手書き入力、描画、録音などを、一つのファイルで保存できます。また ActiveSync を使って本体の Pocket Word ファイルをパソコンの Word で開いたり、パソコンの Word ファイルやテキストファイルを本体の Pocket Word で開くことができます。

お知らせ

- ActiveSyncを使ってデータを送受信するときは、ActiveSyncの設定が必要です。ActiveSyncについては、（参照 56ページ）をご覧ください。
- 本章では、Pocket Word の基本操作を説明します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

文書を作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップする

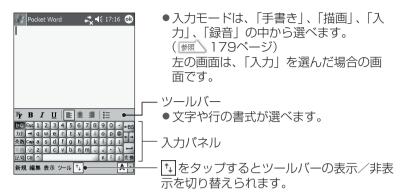
「Pocket Word」文書ファイルの一覧画面が表示されます。

- 文書ファイルが1つもないときは、新規の文書の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。

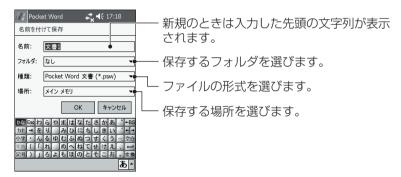
2 コマンドバーの「新規」をタップする

文書の入力画面が表示されます。

3 文書を入力する

●入力モードは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の中から選べます。
（参照 179ページ）
左の画面は、「入力」を選んだ場合の画面です。

4 保存する場合は、画面下の「ツール」→「ファイル」→「文書に名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する

6 「OK」をタップする

作成した文書が保存され、文書の入力画面に戻ります。

お知らせ

- 操作４、操作５をしないで、「OK」をタップすると、開いたファイルと同じフォルダにPocket Word形式で保存されます。
- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Word形式（.psw）で保存したファイルは、パソコン上のWordのバージョンによっては読み込めない場合があります。

- 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

  ... Pocket Word形式（.psw）、リッチテキスト形式（.rtf）、Word97/98J/2000/2002 形式（.doc）、Word6.0/95 形式（.doc）

  .... テキスト形式（.txt）

  ... Word97/98J/2000/2002テンプレート形式（.dot）、Word6.0/95 テンプレート形式（.dot）

- メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「」がついた状態で表示されます。

文書を変更する

1 **文書ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする**

タップすると、ファイルの表示順を並び替えることができます。

- ファイルをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、ファイルのコピーや削除など様々な操作が行えます。

2 **開いたファイルの内容を変更する**

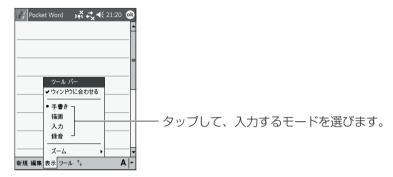
3 **ok をタップする**

同じファイル名に上書き保存されます。

- ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」→「ファイル」→「文書に名前を付けて保存」を選びます。

文書の作成・編集の入力モードについて

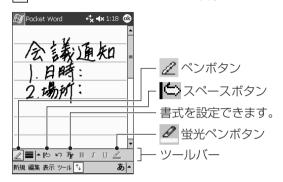
Pocket Wordでは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の４つのモードを使って入力できます。個別にファイルが作成できるだけではなく、１つのファイル内で４つのモードを切り替えて入力できます。

● 文書の入力画面で、「表示」メニューをタップして、入力モードを選びます。

手書きモードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」→「手書き」をタップする

手書き入力モード画面が表示されます。

2 手書き入力をする

をタップすると、ツールバーが表示されます。

● ツールバーの「ペンボタン」をタップすると、「ペンボタン」の枠あり／枠なしを切り替えられます。

（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に手書きができます。罫線３列以上にまたがって手書きしたものは、図形として認識されます。図形は描画モードで編集できます（参照 181 ページ）。

（枠なし）･･･ 手書きした文字をドラッグして選択（反転表示）できます。選択した文字は、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更できます。

● スペースボタンを使う
画面上をドラッグして、手書きした文字と文字の間にスペースを入れたり削除したりできます。スペースボタンをタップして枠ありにしてから、スペースを入れたい場所をタップし、そのままドラッグします。ドラッグ方向に矢印が表示されますので、その長さでスペースの量を確認してください。削除するときはスペースを入れたときと逆向きの方向にドラッグします。

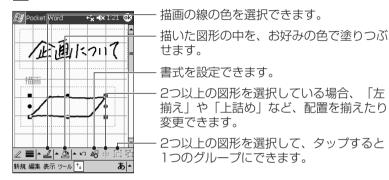
● 蛍光ペンボタンを使う
手書きした文字をドラッグして選択し、蛍光ペンボタンをタップすると、蛍光ペンでマークしたようになります。

描画モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」→「描画」をタップする

描画モード画面に切り替わり、画面上にガイドとしてグリッド線が表示されます。

2 図形を描く

をタップすると、ツールバーが表示されます。

ツールバーのペンボタンをタップすると、描画モードを切り替えられます。

（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に図形が描けます。

（枠なし）･･･ タップして図形を選択できます。ドラッグすると複数の図形をまとめて選択できます。選択した図形は、「■」の部分をドラッグして変形させることができます。「●」の部分をドラッグすると回転します。選択した状態で図形の内側をドラッグすると、移動します。

入力モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」→「入力」をタップする

入力画面が表示されます。

入力パネル切り替えボタン

2 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「入力」モードを選択する

「入力」モードには、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」、「手書き検索」、「手書き入力」の４つがあります。

3 文字を入力する

お知らせ

● 文字入力の詳細については、「文字入力のしかた」（参照 43ページ）をご覧ください。

録音モードを使う

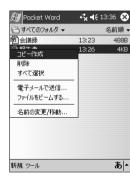
1 文書の入力画面で、「表示」→「録音」をタップする

録音入力画面が表示されます。

2 録音する

- 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
- 「■」をタップすると録音を終了し、画面に が表示されます。
- をタップすると、録音した音声が再生されます。

文書ファイルを電子メールで送信する

1 文書ファイル一覧画面で、送信したい文書ファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、メッセージを入力する

4 「送信」をタップする

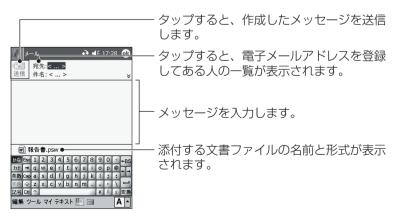
「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 144ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
● 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。
（参照 132ページ）
● ファイルを開いている状態で「ツール」→「電子メールで送信」を選んでも送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、ファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

● 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Word形式（.psw）からWord形式（.doc）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
● パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Word形式（.doc）からPocket Word形式（.psw）に自動的に変換されます。
　・ページ設定、脚注、罫線などの情報は削除されます。
　・文書に保存されているマクロやハイパーリンクは削除されます。
　・文書に挿入してあるExcelワークシートのオブジェクトは図に変換されます。

お知らせ

● 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 57ページ）をご覧ください。
● 本体とパソコンとのファイル交換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Wordのヘルプをご覧ください。

2. Microsoft Pocket Excel

Pocket Excelでは簡単な計算から関数計算まで様々な計算や表組機能が使えます。Pocket Excelのファイルはブックと呼ばれ、パソコンのExcelとファイルの交換もできます。

ファイルを作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Excel」をタップする

「Pocket Excel」のファイルの一覧画面が表示されます。

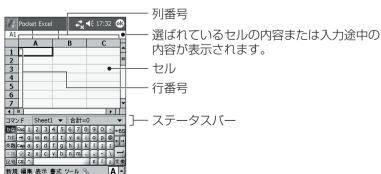
- ファイル（ブック）が一つもないときは、新規の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。

2 「新規」をタップする

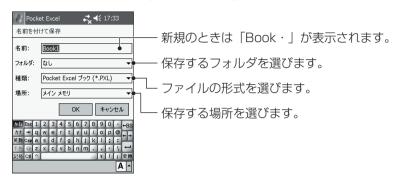
入力画面が表示されます。

3 入力する

入力したいセルを選び、入力します。

- 入力モードを切り替えるには入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、入力パネルを選択します。

4 保存する場合は、「ツール」→「ファイル」→「ブックに名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する

6 「OK」をタップする

作成したファイルが保存され、入力画面に戻ります。

お知らせ

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Excelブック形式（.pxl）で保存したファイルは、パソコン上のExcelのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

  …Pocket Excel形式(.pxl)、Excel 97/2000/2002形式(.xls)、Excel5.0/95形式(.xls)

  …Pocket Excelテンプレート形式(.pxt)、Excel97/2000/2002テンプレート形式(.xlt)、Excel5.0/95テンプレート形式(.xlt)
- メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「 」がついた状態で表示されます。

ファイルを変更する

1 ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする

選んだファイルが開きます。

2 内容を変更する

3 画面右上のⓞⓚをタップする

同じファイル名に上書き保存されます。

- ファイル名やファイル形式を変更したいときは「ツール」→「ブックに名前を付けて保存」をタップして変更します。

テンプレートを利用する

新規ファイルを作成するとき、「家計簿」や「出張メモ」などのあらかじめ用意されているテンプレートを利用すると便利です。

1 ファイルの一覧画面で「ツール」→「オプション」をタップする

「オプション」の画面が表示されます。

2 「新しいブックのテンプレート」入力欄の▼をタップし、表示された一覧から使いたいテンプレートをタップする

3 ⓞⓚをタップする

ファイルの一覧画面に戻ります。

- これ以降「新規」をタップするたびに、選択されたテンプレートが開きます。
- テンプレートを使用して保存しても、元のテンプレートには上書きされません。

画面表示を設定する

入力画面で、入力しやすいように「ツールバー」や「スクロールバー」、「行列番号」の画面表示／非表示などを設定できます。

1 入力画面で「表示」メニューをタップする

「表示」のメニューが開きます。画面表示／非表示したい項目をタップしてください。

タップするごとに表示/非表示が切り替わります。
● ✓チェックが付いている項目が表示されます。

タップすると、ツールバーやスクロールバーなどがすべて消えて広く使えます。全画面表示を終了するにはもう1度タップするか「元に戻す」をタップします。

パスワードを設定する

他人に見られたくないファイルに、パスワードを設定できます。

1 入力画面で「ツール」→「パスワード」をタップする

「パスワードの設定／変更」の画面が表示されます。
- 現在、作成・編集中のファイルに「パスワード」を設定します。
- パスワードが設定されているファイルは、パスワードを入力しないと、ファイルを開けません。

2 パスワードを設定し、ok をタップする

お願い
- **パスワードを忘れると、ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**
- 設定したパスワードを解除するときは、入力画面で「ツール」→「パスワード」を選び、設定されているパスワードを削除します。

ファイルを電子メールで送信する

1　ファイルの一覧画面で、送信したいファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2　ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3　宛先、件名、メッセージを入力する

4　「送信」をタップする

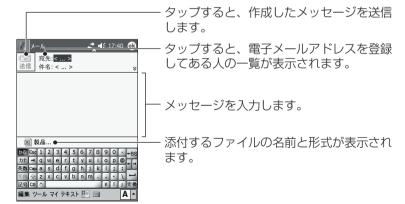
「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 144ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です（参照 132ページ）。
- ファイルを開いている状態で「ツール」→「電子メールで送信」を選んでも、送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、ファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Excel形式（.pxl）からExcel形式（.xls）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Excel形式（.xls）からPocket Excel形式（.pxl）に自動的に変換されます。
  - ・罫線はすべて１本線の罫線に変換されます。
  - ・グラフ、マクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートは空白のワークシートに置き換えられます。
  - ・Pocket Excelがサポートしていない式は、値に変換されます。
  - ・次の情報は削除されます。
    アドイン、描画オブジェクト、OLEオブジェクト、グラフ、シート（ブック）の保護、オートフィルタ、ハイパーリンク

お知らせ

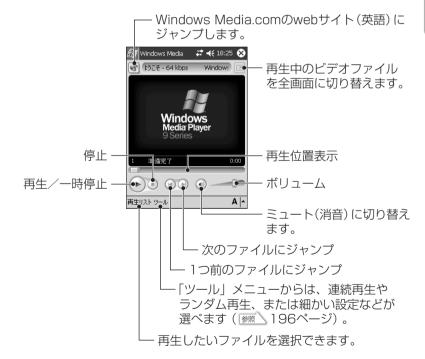
- 本体とパソコンを接続して同期をとる方法は（参照 57ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとのファイル変換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Excelのヘルプをご覧ください。
- パスワードが設定されているファイルは、交換の途中でパスワードの確認（入力）が必要になります。

3. Windows Media Player

Windows Media Player では、MP3 形式または「Windows Media Audio (WMA)」形式のオーディオファイル（曲）や「Windows Media Video（WMV）」形式のビデオファイル（動画）を再生できます。(再生できるファイルは、拡張子が asf、wma、wmv および mp3 のファイルです。)
オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンで Windows Media Player 7 以降を使ってパソコンから本体メモリやメモリカードに転送します。本体メモリへの転送先は My Documents フォルダです。

Windows Media Player を起動する

1 「スタート」から「Windows Media」をタップする

Windows Media Player のプレーヤー画面が表示されます。

お知らせ

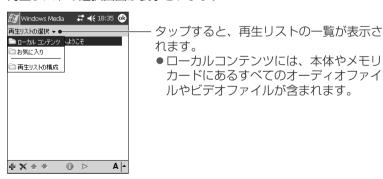
- 画像サイズはWMVファイルの持つ画素数のとおりに再生します。たとえば、QVGA（320×240ドット）のWMVファイルの場合、全画面表示をしても画面の中央に小さく再生されます。
- 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）には対応していません。
- 再生中は、本体のオートパワーオフ機能は働きません。
- Windows Media Playerを起動している場合、プログラムボタンを使ってファイルの再生や停止などの操作が行えます。
  プログラムボタンに割り当てられている機能は次のとおりです。

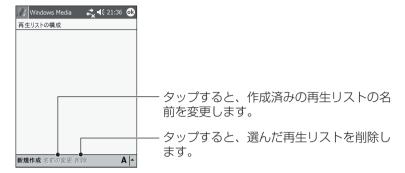
再生リストを作成する

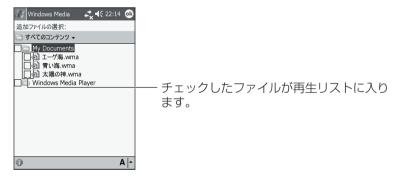
再生したいファイルを準備します。方法は、パソコンのWindows Media Playerを使って音楽CDの楽曲をWMA形式に変換してパソコンに取り込み、本体とパソコンを接続してパソコンから本体に転送するなどがあります。詳しくは、パソコンのWindows Media Playerのヘルプを参照してください。
再生したいファイルを集めて再生リストを作ると、再生リスト内のファイルを続けて再生できます。

1 プレーヤー画面で「再生リスト」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

タップすると、再生リストの一覧が表示されます。
- ローカルコンテンツには、本体やメモリカードにあるすべてのオーディオファイルやビデオファイルが含まれます。

2 再生リストの一覧から「再生リストの構成」をタップする

再生リストの作成画面が表示されます。

3 「新規作成」メニューをタップし、作成する再生リストの名前を入力して、「OK」をタップする

再生できるファイルの一覧画面が表示されます。

4 再生リストに入れるファイルのボックスをチェックして、ok をタップする

再生リストの画面が表示されます。

⬆ ⬇：選んだファイルを上または下に移動します。通常、上から順に再生します。

✕：選んだファイルをリストから削除します。

✚：ファイルを追加します。

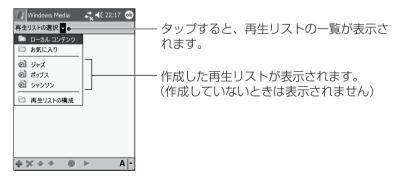
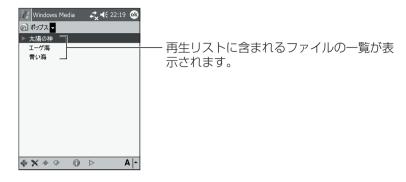
●再生したいファイルをタップして、▶をタップすると、そのファイルから再生が始まります。

5 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

再生リストを使って再生する

1 プレーヤー画面で「再生リスト」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

2 再生したい再生リストをタップする

3 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

4 プレーヤー画面で▶をタップする

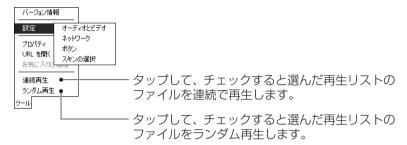
選んだ再生リスト内の一番上のファイルから再生が始まります。

- このあと他のプログラムに切り替えても再生は継続されます。再生を継続したくない場合は、「ツール」→「設定」から「オーディオとビデオ」をタップし、「別のプログラムを使用中」を「再生を一時停止する」にします。

お知らせ

- パソコンで表示できる動画データでも、Windows Media Player for Pocket PC ではそのまま再生できないデータがあります。この場合は、Microsoft 社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/）からデータ変換を行うプログラム、Windows Media エンコーダをパソコンにダウンロードして、パソコン上でデータを変換してください（2004 年 6 月現在）。
  Windows Mediaエンコーダについては、Microsoft社にお問い合わせください。

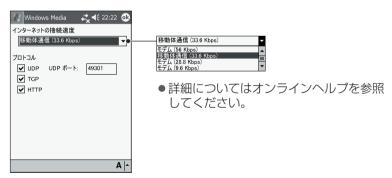
「ツール」メニューについて

プレーヤー画面から「ツール」メニューが選べます。
● 詳しくはヘルプをご覧ください。

ネットワーク上の動画ファイルを再生するには

ネットワーク上の動画ファイルを再生するには、以下の設定が必要です。

1 「ツール」→「設定」から「ネットワーク」をタップする

ネットワークの設定画面が表示されます。

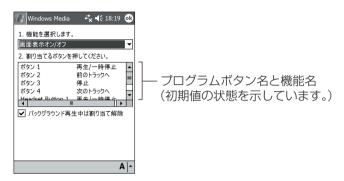
2 「インターネットの接続速度」を選択し、「プロトコル」、「UDPポート」を設定する

3 ok をタップする

設定が保存され、プレーヤー画面に戻ります。

再生中の画面表示を ON ／ OFF する

バッテリの使用時間を長くするため、再生中は画面表示をOFFにしてください。

1 「ツール」→「設定」から「ボタン」をタップする

2 「1. 機能を選択します。」で「画面表示オン / オフ」を選ぶ

3 その機能を割り当てたいプログラムボタンを押す

画面に割り当てたプログラムボタン名と機能名が表示されます。

4 ok をタップする

以上の設定操作をした後、割り当てたプログラムボタンを押すごとに画面表示が ON/OFF します。

お知らせ

- この設定画面では、「画面表示オン / オフ」だけでなく、操作２で別の機能を選んで、ボタンに割り当てることができます。

4. MSN Messenger

「MSN Messenger」はインスタントメッセージングプログラムで、次のような使いかたができます。

- 誰がオンラインで接続されているか見る
- 登録したメンバでインスタントメッセージを送受信する
- メンバのグループとインスタントメッセージで会話する

MSN Messengerを使用するには、インターネットに接続しておく必要があります。詳細については、「インターネットの接続」（参照 116ページ）をご覧ください。

さらに、Microsoft Passportのアカウントか、Microsoft Exchangeの電子メールアカウントが必要です。HotmailやMSNアカウントがある場合、Passportはすでに取得されています。

お知らせ

- Microsoft Passportのアカウントはhttp://www.passport.com/でサインアップします。Hotmailの無料電子メールアドレスは、http://www.hotmail.com/で取得できます(2004年6月現在)。

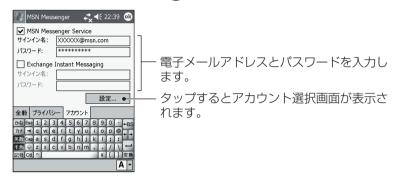
MSN Messengerをセットアップする

接続する前に、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力する必要があります。

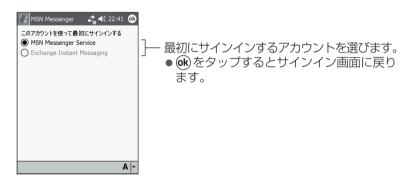
1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

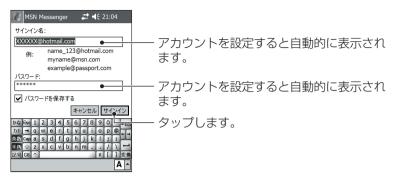
「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 「ツール」→「オプション」をタップする

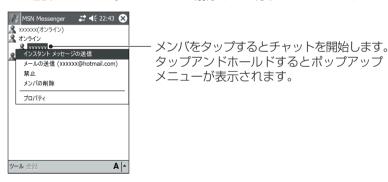
3 「アカウント」タブをタップし、Passport または Exchange のアカウント情報を入力し、ok をタップする

■アカウント選択画面

MSN Messenger を使う

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 サインイン画面をタップして、「サインイン」をタップする

サインインが終わると、MSN Messengerのメイン画面が表示されます。

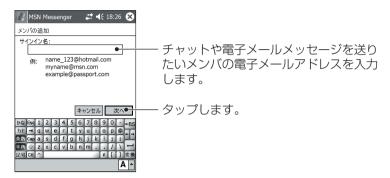
メンバの操作

MSN Messengerのメイン画面には、すべてのメンバが「オンライン」と「オフライン」の分類項目に分かれて、一目でわかるように表示されます。タップアンドホールドしてポップアップメニューから、チャット、電子メールメッセージの送信、メンバの禁止、メンバの削除などを行うことができます。

お知らせ

- パソコンですでにMSN Messengerを使用している場合、メンバを追加しなくても、画面にメンバが表示されます。
- メンバを禁止した場合、禁止された側の一覧には、禁止した側の表示がオフラインとして残ります。メンバの禁止を解除するには、そのメンバをタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「禁止の解除」をタップします。

メンバの追加

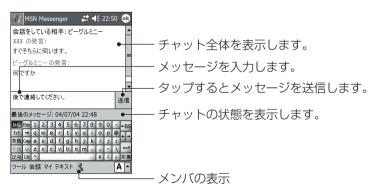
1 「ツール」→「メンバの追加」をタップする

2 追加メンバのサインイン名を入力し、「次へ」をタップする

3 画面の指示に従って設定する

メンバとチャットする

1 MSN Messenger のメイン画面で、チャットをしたいメンバの名前をタップする

チャット画面が開きます。

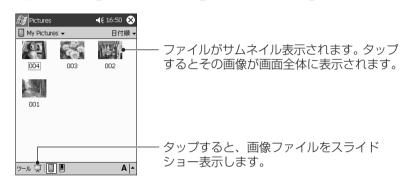
2 テキストボックスにメッセージを入力し、「送信」をタップする

お知らせ

- コマンドバーの「マイテキスト」をタップすると、よく使うメッセージを選んで入力できます。
- チャットを閉じずにメイン画面に戻るには、「メンバの表示」をタップします。チャット画面に戻るには、「会話」をタップし、チャットをしていた相手を選択します。
- 進行中のチャットに招待するには、「ツール」→「招待」をタップし、招待したいメンバをタップします。

5. Pictures

本体メモリやメモリカードに保存されている画像ファイル（.jpg）を一覧表示できます。

画像を表示する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pictures」をタップする

画像を編集する

サムネイルをタップすると、画像ファイル（.jpg）を編集することができます。

タップすると、反時計回りに90度ずつ画像を回転します。

ドラッグした部分を切り出して表示します。

ズームパネルを表示して、画像を拡大／縮小表示します。

「編集」メニューの「明るさとコントラスト」をタップすると画像の明るさやコントラストを調節できます。

画像をメールで送る

画像（.jpg）を電子メールの添付ファイルとして送信することができます。

1 **Pictures 画面で、送信したい画像をタップする**

2 **「ツール」→「電子メールで送信」をタップする**

受信トレイが起動して、選択した画像ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。
「新規にメッセージを作成し、送信する」の操作４以降（参照 144ページ）を行ってください。

画像を背景画像に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定することができます。

1 **Pictures 画面で、壁紙に設定したい画像をタップする**

2 **「ツール」→「[Today]の壁紙に設定する」をタップする**

背景にする際の透過レベルなども設定することができます。

3 **「OK」をタップする**

お願い

- 「Pictures」にはオプション設定として、「デジタルカメラのメモリカードを検出する」という項目がありますが、この機能はサポートしておりません。メモリカードに保存されている画像を「Pictures」で見るには、Pictures 画面で「My Pictures ▼」をタップし、メモリカードを選択してください。

6. World Clock

世界各地の日時を確認したり、指定した都市の時刻にアラームを設定することなどができます。

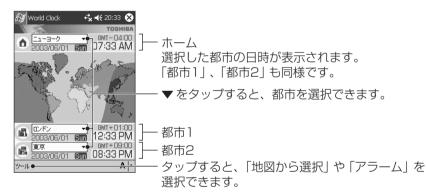
世界各地の時間を表示する

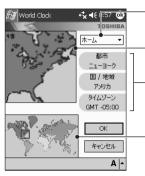
1 **「スタート」の「プログラム」から「World Clock」をタップする**

「World Clock」の設定画面が表示されます。

2 **日時を確認したい都市を設定する**

都市を設定するには、都市名の一覧の中から選択する方法と世界地図の中から選択する方法があります。

■都市名から選択する

■地図から選択する

● 「World Clock」の設定画面で、「ツール」→「地図から選択」をタップすると、都市を地図から選択する画面が表示されます。

「ホーム」、「都市1」、「都市2」の中から割り当てる項目を選択します。

選択したい都市に表示されている赤い四角をタップします。

選択した都市の情報が表示されます。
目的の都市が選択されているかを確認してください。

ここでタップして青い四角で囲まれた地域が、画面上部に拡大表示されます。

● 「OK」をタップすると「World Clock」の設定画面に戻ります。

お知らせ

● サマータイムは、自動的に適用されます。

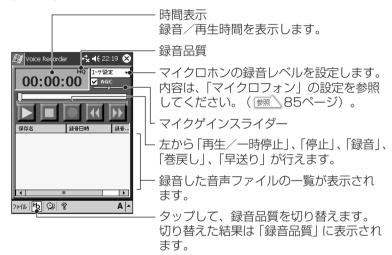
アラームを設定する

指定の時刻にアラームを設定するには、「ツール」→「アラーム」をタップして表示された画面で、「アラーム」をチェックして都市と時刻を設定します。

7. TOSHIBA Voice Recorder

TOSHIBA Voice Recorder（以下、TVR と呼びます。）は、GENIO e 用の音声録音／再生アプリケーションです。TVRを使うと、音声を「WAVファイル」（.wav）として簡単に録音できます。

音声を録音する

1 「スタート」の「プログラム」から「Voice Recorder」をタップする

2 ■ をタップする

録音を開始します。

3 ■ をタップする

録音を終了し、音声が WAV ファイル（.wav）として保存されます。ファイルの一覧に、保存した音声ファイル名が追加されます。

お知らせ

- マイクロホンの位置は「各部のなまえと機能」（参照 3ページ）をご覧ください。録音するときは、マイクロホンを音源に近づけてください。
- ファイル名は「TVR…」と自動的に付けられます。「TVR」の後は、録音日時を示しています。
- 録音中に時間表示をタップするごとに、録音時間表示と、設定した録音品質で指定の保存先に録音可能な時間表示を切り替えることができます。
- 録音品質は、「HQ」または「LP」に切り替えられます。
  「HQ」は高品質で録音したい場合に選択します。
  「LP」は長時間録音したい場合に選択します。

音声ファイルを再生する

1 「Voice Recorder」画面のファイルの一覧で、再生したい音声ファイルをタップする

再生を開始します。

- 再生を停止するには、■をタップしてください。

お知らせ

- ファイルの再生中に時間表示をタップすると、再生時間表示と再生残り時間表示を切り替えることができます。
- 録音ファイルは、Windows XP ／ 2000 の Windows Media™ Player でも再生可能です。

ファイルを削除する／ファイル名を変更する

1 「Voice Recorder」画面のファイルの一覧で、削除または名前を変更したいファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「削除」または「名前の変更」をタップする

それぞれの画面に従って操作してください。

音声ファイルをメールで送る

録音した音声を電子メールの添付ファイルとして送信することができます。

1 **「Voice Recorder」画面のファイルの一覧で、送信したい音声ファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「電子メールで送信」をタップする**

受信トレイが起動して、選択した音声ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。
「新規にメッセージを作成し、送信する」の操作４以降（参照 144ページ）を行ってください。

オプションを設定する

音声ファイルの保存先を選択したり、音声ファイルをファイルエクスプローラから再生する設定を行うことができます。

1 **コマンドバーの「設定」をタップする**

- 「保存場所」で、音声ファイルの保存先を選択できます。
  保存先に「メインメモリ」を選択すると、「My Documents」フォルダに保存されます。
- 音声ファイルをファイルエクスプローラから再生するには、「すべてのWAV ファイルを TVR で再生する」をチェックします。

お知らせ

- TVR で録音したファイルは、「メモ」では再生できません。
- 「録音ボタンにTVRを割り当てる」で、録音ボタンを押したときに起動するプログラムにTVRを割り当てたり、割り当てを解除することができます。

8. 電　卓

９桁の計算ができます。

計算する

1 「スタート」の「プログラム」から「電卓」をタップする

「電卓」の画面が表示されます。

2 画面をタップして、計算する

- 計算を実行するには、「=」をタップします。
- 入力パネルを使って数値を入力しても計算できます。
- 計算または表示されている数値をクリアするには、「C」をタップします。
- 複数桁の最後の桁をクリアするには、入力ボックスの右側の矢印をタップします。

数値を保存する

数値を保存するには、入力ボックスの左側のボックスをタップして、「M」を表示させます。

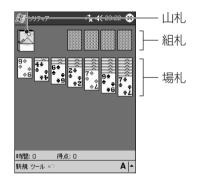
- 表示されている数値をメモリ内の数値に加算するには、「M＋」をタップします。
- メモリ内の数値を表示するには、「MR」をタップします。
- メモリをクリアするには、「MC」をタップします。

9. ゲーム

ソリティアで遊ぶ

カードゲームです。組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。

1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「ソリティア」をタップする

「ソリティア」画面が表示されます。

2 山札をタップして、山札をめくる

- 画面をタップすると時間がスタートします。

3 場札にカードをドラッグして移動し、数字が小さくなるように、しかも赤と黒のカードを交互に積み重ねる

- 例：赤４のカードの上に黒３のカードを重ねられます。

4 組札にエースを移動し、数字が大きくなるようにキングまで、同種類のカードを積み重ねる

- 組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
- カードを移動して、場札の一番上のカードが裏になったら、場札をタップしてめくります。
- キングは、場札の空の列に移動できます。
- 場札の重ねたカードは、まとめて移動できます。
- 移動したカードを元に戻すには、をタップします。
- 移動するカードが無くなったら、また山札をめくります。
- 「新規」をタップすると、カードを配り直します。

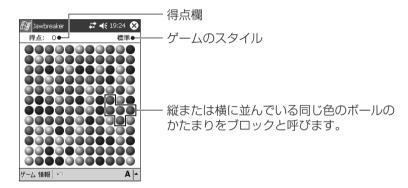
ゲームの遊びかたを変更する

「ツール」→「オプション」をタップします。
- カード（山札）のめくりかたを「1 枚ずつ」か「3 枚ずつ」に変更できます。
- 得点の付けかたを「点数方式」か「金額方式」または「なし」に変更できます。得点の付けかたは、オンラインヘルプをご覧ください。
- 時間制や得点表示ありのチェックをはずすと、時間や得点の表示は消えます。
- カードの模様を選べます。

Jawbreaker で遊ぶ

ボールを消すゲームです。1 度にたくさん消すと高得点になります。

1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「Jawbreaker」をタップする

「Jawbreaker」画面が表示されます。新しくゲームを始めるには、「ゲーム」→「新しいゲーム」をタップします。

2 消したいボールのブロックのどれかをタップする

消すブロックが線で囲われ、得られる点数が表示されます。
- ブロック内のボールの数が多いほど点数が高くなります。

3 もう 1 度消すブロックをタップする

ブロック内のボールが消え、得点が得点欄に加算されます。
- 直前のプレイを取り消すには、コマンドバーの をタップします。

ゲームの遊びかたを変更する

「ゲーム」→「オプション」をタップします。
- ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「シフト」、「メガシフト」から選べます。
- ボールの色は「カラー」または「グレースケール」が選べます。

10. 付属のコンパニオン CD について

付属のコンパニオン CD には、Microsoft® ActiveSync® 3.7.1 と Microsoft® Outlook® 2002が収められています。本体と接続するパソコンにインストールしてお使いください。
インストールする際は、パソコンの必要条件（参照 55ページ）を確認してください。
インストール方法については、クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧ください。
他にも、アプリケーションプログラムが収められています。
本体メモリにインストールしてお使いください。

付属アプリケーションのインストール方法

コンパニオンCDに収められているアプリケーションプログラムを使うためには、次の操作手順でインストールをしてください。
アプリケーションプログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンに Microsoft® ActiveSync® 3.7.1 をインストールし（参照 57ページ）、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。

1 本体とパソコンを接続する

（参照 23、55 ページ）

2 コンパニオン CD をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

メニュー画面が表示されます。

3 「製品を活用しよう」をクリックし、画面左側に表示されたアプリケーションプログラムの分類から「ツール」または「ビューワ」をクリックする

4 「Pocket PC アプリケーション」をクリックし、インストールしたいアプリケーションプログラムの「インストール」をクリックする

画面の指示に従ってインストールをしてください。
インストールの途中で「セキュリティの警告」画面が表示されたら、[実行する] をクリックしてください。「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

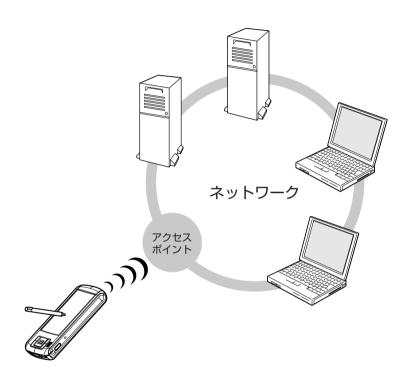
…お知らせ

- コンパニオンCDの自動起動画面には、Flash形式の画像が使われています。このためお使いの Internet Explorer に、Macromedia Flash がプラグインされていないと、Macromedia Flashをインストールするための接続確認画面が表示されます。
  Flash形式の画像を表示したい場合は、インターネットに接続できる環境にして、再接続を選択し、Macromedia Flashをインストールしてください。
  Flash形式の画像が非表示で構わない場合は、オフラインを選択してください。なおオフラインを選択後、メインメニュー表示まで数秒かかります。この間は、パソコンの操作を行わないでください。

第6章

無線LANによるネットワークとの接続

本章はe830Wを対象とした説明です。

e830WにはIEEE802.11b無線LANデバイスが搭載されています。IEEE802.11bに準拠した無線LANアクセスポイントに接続し、エリア内からワイヤレス接続を実現できます。

■ローミングについて

e830Wに内蔵の無線LANデバイスは、基地局ローミングに対応しています。基地局ローミングは電波状態の強弱を元に接続先を決定します。しかし、ローミングは基地局との接続の維持を最優先としているので、その時点で必ずしも最も強い電波を発する基地局に接続しているとは限りません。たとえば、通信中に移動した場合などは、移動先により強い電波を発する基地局があっても、切り替えずに元の基地局との接続を継続することがあります。

1. ご利用の準備

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線 LAN は、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　メールの内容
　などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　個人情報や機密情報を取り出す（機密漏洩）
　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

ご利用の準備

1 ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOnにする

スタイラスの先などで切り替えてください。

2 無線LANデバイスをオンにする

ワイヤレスコントロール画面が表示されますので、「無線LAN」をオンに設定します。
ワイヤレスコントロール画面が表示されない場合は、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスコントロール」をタップしてください。
詳細は「ワイヤレスデバイスの電源を制御する」（参照 83ページ）を参照してください。

3 無線LANの接続モード等の設定を行う

詳細は「無線LANの設定」（参照 225ページ）を参照してください。

お願い

- バッテリパックの充電残量が約15%以下になると、無線LANデバイスは使用できません。バッテリパックを充電するか、あらかじめ充電しておいたバッテリパック（別売品）に交換、またはACアダプタを接続したうえで使用してください。

2. 無線 LAN ネットワークの設定

既存のネットワークに接続する

本製品には既存のネットワークに接続するためのインタフェースがあります。本製品がワイヤレスネットワークを検出した場合は、接続するネットワーク画面が表示されます。また暗号化されたネットワークに接続する場合は、ネットワークキーを入力する画面が表示されます。

無線 LAN 設定を開始する

無線LANを設定するには、「ワイヤレスネットワークの構成」画面を使用します（参照 225 ページ）。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスネットワーク」をタップする

ナビゲーションバーの無線LANインジケータアイコン（参照 228ページ）から「設定」をタップして開くこともできます。

無線 LAN デバイスのオン／オフを切り替える

無線 LAN デバイスのオン／オフを切り替えるには、ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップして、「接続」ウィンドウを開き「フライトモードを解除／設定する」をタップします。

無線 LAN インジケータアイコン（ ）からも無線 LAN デバイスのオン／オフを切り替えることができます。ナビゲーションバーの無線 LAN インジケータアイコンをタップして、「無線LAN」ウィンドウを開き「無線LANの電波を切る／入れる」リンクをタップしてください（参照 229 ページ）。
このほか、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスコントロール」をタップして、無線LANデバイスをオンに設定することもできます。

ネットワークを選択する

無線 LAN インジケータアイコンをタップすると、接続できるネットワークリストが表示されます。ワイヤレスネットワーク接続はこのリストから変更することができます。無線 LAN ネットワークに接続するには、ネットワーク設定を作成し、ネットワークリストに保存する必要があります。ワイヤレスネットワークを設定するには「無線 LAN の設定」を参照してください。

3. IPアドレス

「IPアドレス」ページ

IPアドレス、サブネットマスク、既定のゲートウェイを表示、編集するには、「IPアドレス」ページを使用します。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスネットワーク」をタップする

2 「ネットワークアダプタ」タブをタップする

3 「IEEE802.11b WLAN Adapter」をタップする

ナビゲーションバーの無線LANインジケータアイコン→「設定」→「ネットワークアダプタ」タブ→「IEEE802.11b WLAN Adapter」の順にタップして開くこともできます。

● **IPアドレス**
IPアドレスはインターネットプロトコルアドレスのことで、「10.37.238.100」などの数字のアドレスです。ドメインネームサーバーがこれをドメイン名に変換します。IPネットワーク上の各クライアントが固有のIPアドレスを持つ必要があります。

● **サブネットマスク**
サブネットマスクは、複数のネットワークが1つのIPアドレスを共有するときに、サブネットワークを識別するために使用される「255.255.255.0」などの番号です。

● **デフォルトゲートウェイ**
リモートの宛先とIPパケットをやり取りするために使用されるデバイスです。

お願い

● 接続の設定についてはネットワーク管理者に確認してください。

4 **設定し、ok をタップする**

メッセージが表示されます。

5 **内容を確認し、ok をタップする**

設定した内容は、次に無線LANデバイスをオンにしたときに有効になります。

「ネームサーバー」ページ

プライマリ／セカンダリ DNS、プライマリ／セカンダリ WINS を表示、編集するには、「ネームサーバー」ページを使用します。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスネットワーク」をタップする**

2 **「ネットワークアダプタ」タブをタップする**

3 **「IEEE802.11b WLAN Adapter」をタップする**

4 **「ネームサーバー」タブをタップする**

ナビゲーションバーの無線LANインジケータアイコン→「設定」→「ネットワークアダプタ」タブ→「IEEE802.11b WLAN Adapter」→「ネームサーバー」の順にタップして開くこともできます。

● **プライマリ DNS**

DNSはドメインネームシステムの略で、IPアドレスとドメイン名を変換するデータベースシステムを指します。例えば「232.245.21.54」などの数字のアドレスが「cba.com」などに変換されます。DNS は、インターネットでの電子メールの配信を管理するために使用されることもあります。

● **プライマリ WINS**
WINSはウィンドウズインターネットネームサービスの略で、各通信機器に設定されたコンピュータ名とIPアドレスを関連付けるためのサービスです。WINSはWindowsネットワーク内のファイル共有やActiveSyncなどに使用されます。

お知らせ

● 本製品を無線LANでパソコンと同期させるためには、WINSの欄にパソコンの IP アドレスを設定してください。。

● **セカンダリ DNS**
必要に応じてプライマリ DNS の代用として使用されます。

● **セカンダリ WINS**
必要に応じてプライマリ WINS の代用として使用されます。

5 設定し、ok をタップする

メッセージが表示されます。

6 内容を確認し、ok をタップする

設定した内容は、次に無線LANデバイスをオンにしたときに有効になります。

4. 無線LANの設定

ワイヤレスネットワークを検出する

設定済みネットワークは登録されたネットワークとなり、「ワイヤレスネットワーク」内に表示されます。登録されたネットワークだけに接続するか、またはデバイス検索を行って、登録外のネットワークを含めた利用可能なネットワークに接続できます。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスネットワーク」をタップする**

ナビゲーションバーの無線LANインジケータアイコンから「設定」をタップして開くこともできます。

タップするとネットワーク設定を更新できます。
●目的のネットワークが表示されない場合は、「新しい設定の追加」をタップして、画面上の指示に従ってください。

チェックを付けると、デバイスは新しいネットワークの検出を行い、それを設定できるようにします。

2 **「アクセスするネットワーク」から、接続するネットワークの種類によって「利用可能なすべて」、「アクセスポイントのみ」または「コンピュータとコンピュータのみ」を選択する**

- 設定済みのネットワークだけに接続するには、「未設定のネットワークを自動的に検出して通知する」のチェックをはずします。
- 「ワイヤレスネットワークの構成」に表示される接続先ネットワークを変更するには、接続したいネットワークをタップアンドホールドして、ポップアップメニューから「接続」を選択します。
- 「ワイヤレスネットワーク」の表示からネットワークを削除するには、削除するネットワークをタップアンドホールドして、ポップアップメニューから「設定の削除」を選択します。

ワイヤレスネットワークを設定する

ワイヤレスネットワークは、検出を行う、または手動で設定情報を入力して追加できます。設定を行うネットワーク、または「新しい設定の追加」をタップし、「全般」タブで行います。

「SSID」または「ESSID」とも呼ばれます。ネットワーク名を入力します。ネットワーク名は無線LANネットワークを構成するグループに付けられる名前です。最大32文字の半角英数字と記号を使用できます。ネットワークが検出された場合は、ネットワーク名は自動的に入力されて、変更することはできません。

ネットワークの接続先です。「インターネット設定」または「社内ネットワーク設定」を選択します。

アドホック接続を利用する場合に、ここをチェックします。

ネットワーク認証を設定する

ワイヤレスネットワークは、ネットワークが検出されたとき、または手動で設定情報を入力することによって追加できます。認証情報が必要かどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。

「ネットワークキー」タブでの設定項目について

■認証
認証方法を選択します。初期値は「WPA」です。

■データ暗号化
暗号化の方式を選択します。初期値は「TKIP」です。

■自動的に提供されるキーを使用する
アクセスポイントから自動的にWEPキーを取得することができる場合は、ここをチェックします。ほとんどの場合、この機能は802.1X機能とともに使用されます。

「ネットワークキー」
選択された認証モードに対応する文字と記号を入力します。
「認証」で「オープン」または「共有」を選択した場合は、次のいずれかを入力します。

- 64 ビット（ASCII）
  5 桁の ASCII 文字または記号を入力します。
- 128 ビット（ASCII）
  13 桁の ASCII 文字または記号を入力します。
- 64 ビット（HEX）
  10 桁の英数字を入力します。入力できる英数字は０～９とＡ（a）～Ｆ（f）です。
- 128 ビット（HEX）
  26 桁の英数字を入力します。入力できる英数字は０～９とＡ（a）～Ｆ（f）です。

「認証」で「WPA-PSK」を選択した場合は、８～64 桁のASCCII文字または記号を入力してください。

「キーインデックス」
これは「認証」で「オープン」または「共有」、「データ暗号化」でWEPが選択されたときに有効になります。１～４を選択します。

「802.1x」タブでの設定項目について

■IEEE 802.1x ネットワークアクセスコントロールを使用

802.1X 認証を有効にするには、ここをチェックします。

■EAP の種類

802.1X 認証で使用するプロトコルを選択します。

「PEAP」

Windows Server 2003 などで使用されるプロトコルです。

「スマートカードまたは証明書」

Windows 2000 Server などで使用されるプロトコル（TLS）です。

802.1X 認証でアクセスポイントに接続する場合、「プロパティ」をタップします。
802.1X 認証手順の詳細については、ネットワーク管理者に確認してください。

お知らせ

- 802.1X を使うためには、ネットワーク上の環境構築が必要です。本製品単独では機能しません。

無線 LAN インジケータ

ナビゲーションバーに表示される無線 LAN インジケータアイコンで、無線 LAN デバイスの動作状態がわかります。
無線 LAN インジケータアイコンを表示／非表示にするには、「ワイヤレス LAN マネージャー」の「管理」タブで設定してください（参照 231 ページ）。

アイコンの説明

本体の下部にあるワイヤレスコミュニケーションスイッチがオフになっています。タップすると「ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOnにしてください。」という警告メッセージが表示されます。
スイッチをオンにすると、アイコンが　または　になります。

無線LANデバイスがオフになっています。タップして「無線LANの電波を入れる」をタップすると無線LANデバイスの電源がオンになり、アイコンが
になります。

無線LANデバイスがオンになっています。タップして「無線LANの電波を切る」をタップすると無線LANデバイスの電源がオフになり、アイコンが
になります。波の数は信号の強さを示します。

ワイヤレス LAN マネージャー

「ワイヤレスLANマネージャー」では、一部の電源管理の設定を行うことができ、また無線LANアダプタの情報を表示できます。

1　**「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスLANマネージャー」をタップする**
ナビゲーションバーの無線LANインジケータアイコンから「情報」をタップして開くこともできます。

「リンク」タブ

「リンク状態」

無線 LAN 信号の受信状態を示します。

「リンク情報」

無線 LAN アダプタについての情報を示します。

- SSID
  アクセスポイントまたは 802.11 アドホックネットワークに現在接続している SSID を示します。
- チャンネル
  アクセスポイントまたは 802.11 アドホックネットワークによって使用されているチャンネル番号を示します。
- 転送速度
  通信速度を示します。
- BSSID
  アクセスポイントまたは 802.11 アドホックネットワークに設定されている BSSID を表示します。
- IP アドレス
  設定されている IP アドレスを示します。
- サブネットマスク
  設定されているサブネットマスクを示します。
- ゲートウェイ
  設定されているゲートウェイ IP アドレスを示します。
- IP 再取得
  IPアドレスを更新します。ただし、DHCPが使用されている場合にのみ有効です。

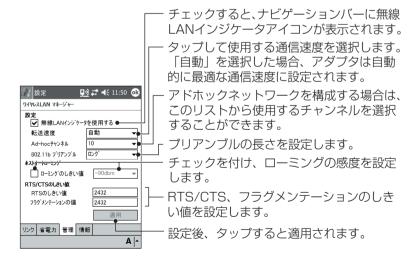
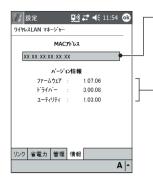
「省電力」タブ

- 無効…省電力を無効にします。
- 有効…802.11に準拠した省電力を行います。
- 自動…通信時以外は802.11に準拠した省電力を行います。

- 無線LANの電源を制御しない
  …省電力を行いません。
- 無線LANの電源を切る
  …無線LANデバイスの電源を切ることで省電力を行います。
- 無線LANの電波を切る
  …無線LANデバイスの電波を切ることで省電力を行います。

チェックを付けて、時間を設定すると、設定時間数無線LAN通信を行っていない場合に、無線LANデバイスをオフにします。バッテリ電源使用時、ＡＣアダプタ使用時それぞれ設定できます。

設定後、タップすると適用されます。

「管理」タブ

「情報」タブ

無線LANのMACアドレスを示します。MAC（Media Access Control）アドレスは、ネットワーク上の各デバイスを一意に識別するハードウェアアドレスです。

- 「ファームウェア」
  無線LAN製品のファームウェアのバージョンを示します。
- 「ドライバー」
  無線LANのドライバのバージョンを示します。
- 「ユーティリティ」
  「ワイヤレスLAN ネットワーク」のバージョンを示します。

東芝エンローラー

「東芝エンローラー」は、802.1X 認証、Pocket Internet Explorer における SSL 認証、Windows Mobile™ 2003 における VPN 認証などに使用される証明書の取得と管理を行うためのツールです。設定の詳細についてはネットワーク管理者に確認してください。
「東芝エンローラー」では、PEAP および EAP-TLS のルート証明書はもちろん、EAP-TLS のクライアント証明書もインポートできます。802.1X を使うためには、ネットワーク上の環境構築が必要です。

本製品は次のファイルをサポートしています。

- PKCS#12 ファイル…「*.p12」または「*.pfx」のファイル

お知らせ

- PKCS#12ファイルのインポートにはパスワードを入力する必要があります。パスワードが登録されていないPKCS#12ファイルはサポートしません。
- Microsoft Base Cryptographic Provider が提供する RC4 暗号鍵をサポートします。
- すべての PKCS#12 ファイルをサポートするものではありません。

- PKCS#7 ファイル…「*.p7b」のファイル
- DER エンコードされたルート証明書ファイル…「*.cer」のファイル

起動方法と設定画面

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「東芝エンローラー」をタップする

証明書の使用目的を表示します。

●インポート
…東芝証明書インポートウィザードを起動します。

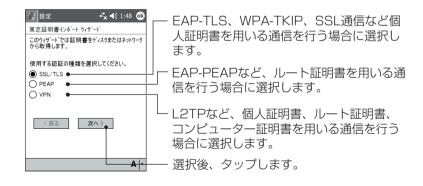
●登録…ネットワーク登録画面を起動します。

●高度な設定
…高度な設定を起動します。

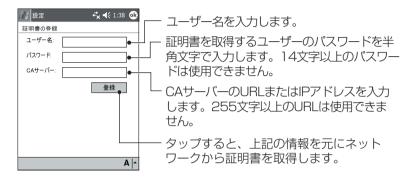
タップして切り替えると、個人証明書、コンピューター証明書、ルート証明書の管理を行うことができます（管理画面はすべてメイン画面と同様です）。

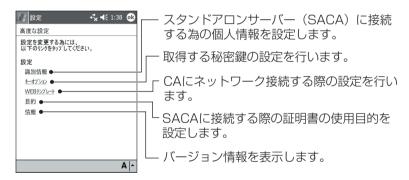
■インポートする

1 「東芝エンローラー」画面で「インポート」をタップする

ウィザードが起動します。

■ネットワーク登録画面

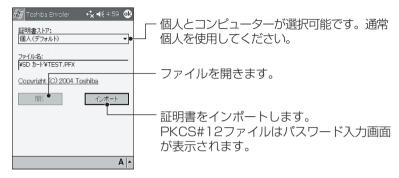
ネットワークから証明書を入手する為の設定値についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

1 「東芝エンローラー」画面で「登録」をタップする

■高度な設定

ネットワーク管理者が指定しない場合、設定は不要です。

ファイルエクスプローラ上から証明書をインポートする

ファイルエクスプローラ上から証明書をインポートすることもできます。

1 ファイルエクスプローラ上で、証明書ファイルをタップする

インポート画面

以降、画面に従って導入を行ってください。

5. ConfigFree を使う

ConfigFree はネットワークを設定・診断するためのユーティリィティです。
また、本製品を複数の無線ＬＡＮ ネットワークの端末として設定しているとき、ConfigFree を使うとネットワークの切り替えをより簡単に行うことができます。
また、Bluetooth 機器の登録を支援することができます。
ConfigFree には、次の機能があります。

- ワイヤレスデバイス検索
- ネットワーク診断
- プロファイル設定

ConfigFree ランチャの起動

ConfigFreeランチャを起動し、それぞれの機能を使うユーティリティを選択します。

1 **「スタート」の「プログラム」から、「ConfigFree」をタップする**

ConfigFree ランチャが起動し、コマンドバーにアイコンが表示されます。

2 **使用するユーティリティのショートカットアイコンをタップする**

それぞれの機能について

■ワイヤレスデバイス検索

近くにある IEEE 802.11b 形式のアクセスポイントや Bluetooth 機器を検索し、グラフィカルに表示します。
IEEE 802.11b 形式のアクセスポイントネットワークは、アクセスポイントのアイコンからＰｏｃｋｅｔ　ＰＣ アイコンにドラッグすると接続できます。
Bluetooth 機器は、Bluetooth 機器のアイコンから Pocket PC アイコンにドラッグするとBluetooth設定が起動し、そのBluetooth機器を登録できます。

■ネットワーク診断

本製品で生じるネットワークに関するさまざまな問題解決を補助します。ネットワーク診断を起動すると、すべてのネットワークや無線ＬＡＮ デバイス（Bluetooth、赤外線通信装置、ダイヤルアップの装置は含みません）を分析し、問題を検出すると問題が発生している装置やネットワークの側に「！」マークを表示します。問題についての詳細と解決方法を表示するには、この「！」をタップします。表示されたメッセージに従って操作してください。

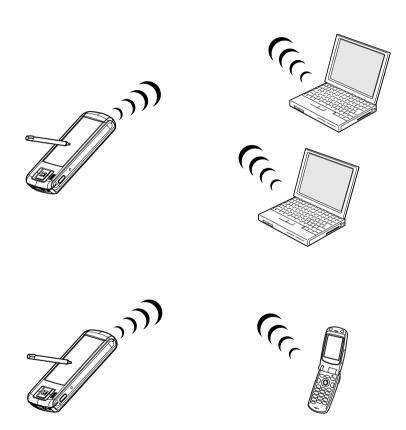
■プロファイル設定

TCP/IP や無線 LAN など、ネットワーク環境のためのプロファイルを作成することができます。Proxy や WEP キーもそれぞれのプロファイルごとに登録しておくことができます。このプロファイルを切り替えることにより、素早くネットワーク設定を変更することができます。また、各プロファイルの接続優先順位を登録しておくと、自動的に接続を切り替えることもできます。

詳細は本製品のヘルプをご覧ください。

第7章 Bluetooth通信の利用

本章は e830W を対象とした説明です。

e830Wに搭載のBluetoothデバイスを使用して、Bluetooth接続が可能なパソコンや携帯電話などとワイヤレスで通信ができます。

■Bluetooth アプリケーションについて

東芝製 Bluetooth アプリケーションは、e830W で利用可能です。e830 ではBluetooth SD Card またはBluetooth SD Card2 を使用することで、利用可能になります。通常、Microsoft 社製 Bluetooth アプリケーションを使用することはありません。

1. Bluetooth 機能の概要

e830Wは、Bluetooth接続が可能なパソコンやモデムなどワイヤレスで通信ができます。GENIO e 同士ではチャットができます。
Bluetooth 通信では、１度に４つの Bluetooth デバイスと通信できますが、ActiveSync®、電話系、出力装置系、汎用系のおのおのにつき、１種類のBluetoothデバイスのみに限定されます。
Bluetooth通信では、通信する機器や目的に応じた「プロファイル」を使用します。
e830W では、次の種類の「プロファイル」をサポートしています。

■ COM（SPP）サービス（シリアルポートプロファイル）

シリアルポートを使って接続して、データの送受信をします。パソコンとActiveSync 接続するときは、COM サービスです。

■ DUN サービス（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）

携帯電話などと Bluetooth 接続を行い、ダイヤルアップ接続を行うことができます。

■ FTP サービス（ファイル転送プロファイル）

GENIO e同士や、パソコンなどのFTPサービスを持ったデバイスとのファイル転送ができます。

■ LAP サービス（LAN アクセスプロファイル）

LANアクセスポイントを使って接続し、PPP（Point-to-Point Protocol）を用いて LAN へのアクセスを行うことができます。

■ PAN サービス（パーソナルエリアネットワーキングプロファイル）

IPベースのネットワークをサポートします。アドホックネットワーク、またはアクセスポイントを介して有線ネットワークに接続できます。

■ GAP サービス（ジェネリックアクセスプロファイル）

Bluetooth の基本的な動作に関するプロファイルです。

■ OPP サービス（オブジェクトプッシュプロファイル）

GENIO e 同士、または携帯電話と接続して、アドレス帳やオーナー情報などのデータのやりとりができます。データの形式と最大字数は次のとおりです。

データの種類	形式	最大字数
連絡先（電話帳） 名刺（オーナー情報）	vCard形式 （vCard 2.1）	メモ以外　：1,022文字 メモ　　　：約32,700文字
予定表	vCalendar形式 （vCalendar 1.0）	件名　　　：4,096文字 場所　　　：1,023文字 カテゴリ　：1,023文字 出席者　　：1,022文字 （1名あたり） メモ　　　：約2,500文字
仕事	vToDo形式	件名　　　：4,096文字 カテゴリ　：1,023文字 メモ　　　：約7,600文字

お知らせ

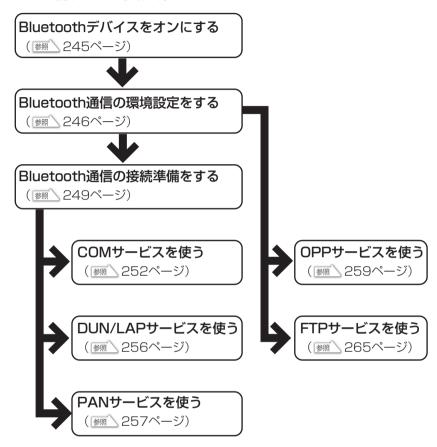
- 接続するデバイスによっては、送受信したデータが正確に保存されない場合があります。

サポートしているプロファイルと仕様

本製品がサポートしているプロファイル	シリアルポートプロファイル（SPP） ダイヤルアップネットワーキングプロファイル（DUN） オブジェクトプッシュプロファイル（OPP） ファイル転送プロファイル（FTP） LANアクセスプロファイル(LAP) パーソナルエリアネットワーキングプロファイル（PAN） ジェネリックアクセスプロファイル（GAP）
Bluetoothの仕様	V1.2 Bluetooth V1.1と互換性があります。 Bluetooth V1.0Bとは互換性がありません。

- 接続動作が未確認の機器とは通信できない場合があります。

2. 通信の流れ

Bluetooth 通信は、次の手順で行います。

3. 通信を始める前に

通信を始める前に Bluetooth デバイスをオンにし、環境設定を行います。

Bluetooth デバイスをオンにする

1 ワイヤレスコミュニケーションスイッチを On にする

スタイラスの先などで切り替えてください。

2 Bluetooth デバイスをオンにする

ワイヤレスコントロールの設定画面が自動的に表示されますので、「Bluetooth™」をオンに設定します。
ワイヤレスコントロール画面が表示されない場合は、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「ワイヤレスコントロール」をタップしてください。

3 Bluetooth 通信の設定を行う

Bluetooth 通信の環境設定

Bluetooth 通信では、操作する GENIO e を「マイデバイス」、通信相手の機器を「リモートデバイス」と呼びます。
環境設定では、セキュリティの設定とマイデバイスのデバイス名の設定を行います。初めて使用するとき、または設定を変更するときに行ってください。

1 コマンドバーの Bluetooth アイコン（ ）をタップし、ポップアップメニューから「Bluetooth 設定」をタップする

Bluetoothアイコン

「Bluetooth 設定」の画面が表示されます。
初めて「Bluetooth設定」を起動する場合、またはリモートデバイスを削除したときは、接続登録を促すダイアログボックスが表示されます。「OK」をタップしてください。

- 「スタート」の「プログラム」から「Bluetooth」をタップし、その後「Bluetooth 設定」をタップして表示させることもできます。

2 「オプション」→「セキュリティ設定」をタップする

「セキュリティ設定切り替え」の画面が表示されます。

- セキュリティを変更するときは、変更したいセキュリティ設定をタップし、「詳細設定」をタップしてください。

お知らせ

- 「オフィス」、「モバイル」、「ホーム」、「その他」の４つのセキュリティ設定から選択することができます。初期値は「ホーム」です。

■詳細設定

詳細設定の内容を切り替えるときは、選択したい内容をタップし、「OK」をタップしてください。初期値は、次の設定になっています。

オフィス		
ディスカバリーモード	発見可能	
コネクタビリティモード	接続可能	
セキュリティモード	セキュリティあり	暗号化あり
モバイル		
ディスカバリーモード	発見禁止	
コネクタビリティモード	接続禁止	
セキュリティモード	セキュリティあり	暗号化あり
ホーム		
ディスカバリーモード	発見可能	
コネクタビリティモード	接続可能	
セキュリティモード	セキュリティなし	
その他		
ディスカバリーモード	発見可能	
コネクタビリティモード	接続可能	
セキュリティモード	セキュリティあり	暗号化あり

お願い

- 初期値で設定されている「ホーム」では、セキュリティモードが「セキュリティなし」に設定されているため、不特定のデバイスから接続されるおそれがあります。セキュリティモードを「セキュリティあり」に設定することをおすすめします。
- Bluetooth機器が3台以上存在する環境の中で、コネクタビリティモードを「接続禁止」にしたときは、同時にディスカバリーモードを「発見禁止」にすることをおすすめします。

3 「オプション」→「マイデバイス」をタップする

4 「デバイス名」欄に新しい名前を入力し、「OK」をタップする

デバイス名は、初期値は「Pocket PC」などになっています。
変更する場合は、デバイス名欄に新しい名前を入力し、「OK」をタップしてください。
デバイス名は、半角英数字で最大 248 文字、日本語で最大 124 文字入力できます。最大文字数を超えるとエラーメッセージが表示されます。

以上でBluetooth通信の環境設定ができました。以降の操作については、次をご覧ください。

- COM サービスについて「COM サービスを使う」（参照 252 ページ）
- DUN/LAP サービスについて「DUN/LAP サービスを使う」（参照 256 ページ）
- PAN サービスについて「PAN サービスを使う」（参照 257 ページ）
- OPP サービスについて「OPP サービスを使う」（参照 259 ページ）
- FTP サービスについて「FTP サービスを使う」（参照 265 ページ）

お知らせ

- CF カードスロットや SD カードスロットに通信カード（カードモデム、Bluetooth カード、LAN カードなど）がセットしてあると、本体内蔵の Bluetooth デバイスが正常に動作しないことがありますので、CF カードスロットやSDカードスロットからカードを取り出してから、通信を行ってください。
- Bluetooth デバイスや Bluetooth SD カードは、それぞれ固有のデバイスアドレス(カードに書かれている BDA:XX …X)を持っていて、通信を行っています。したがって GENIO e に、いつも使用している Bluetooth SDカードとは違うカードをセットしたときや、修理の際にBluetoothデバイスを交換したときなどは、正常に通信接続ができないことがあります。その場合は、次のような操作を行ってから通信接続をしてください。
  - ・GENIO e 本体の「Bluetooth 設定」画面の、リモートデバイスのデバイスリストに表示されるデバイスを、すべて削除する。
  - ・接続先相手が記憶している、こちら側の情報を削除する。
- マイデバイス側とリモートデバイス側で、同時に通信の接続を行おうとすると、接続できない場合があります。同時に通信の接続は行わないでください。
- Bluetooth 通信を行うときは、必要に応じて GENIO e 本体の CPU 動作速度を高速に設定してください。ＣＰＵ 動作速度の設定については、（参照 77 ページ）を参照してください。

Bluetooth パスキーについて

Bluetoothパスキーとは、リモートデバイスと接続する際のパスワードのようなもので、16 文字以下の英数字で表現されます。認証を必要とする機器への接続では、Bluetooth認証画面が表示され、パスキーを入力しないと接続できません。GENIO e やパソコンなどで送受信する際にはお互いに同じパスキーを入力する必要があります。
セキュリティ設定で認証を無効にしていても、必要な場合は自動的にパスキー入力ダイアログが表示され、認証が要求されます。一度認証が完了すると次回からパスキーを入力する必要がない場合もあります。

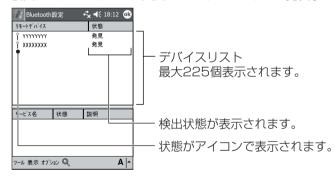
4. Bluetooth 接続の準備

Bluetooth 接続の準備では、次の操作を行います。
- 周辺の Bluetooth デバイスの検索
- Bluetooth 認証手続きとサービスの更新

1 コマンドバーのBluetoothアイコン( )をタップし、「Bluetooth設定」をタップする

初めて「Bluetooth設定」を起動する場合、またはリモートデバイスが削除された場合、接続登録を促すダイアログボックスが表示されます。「OK」をタップしてください。
- 「スタート」の「プログラム」から「Bluetooth」をタップし、その後「Bluetooth 設定」をタップして表示させることもできます。

2 コマンドバーの をタップする

デバイス検索中メッセージが表示され、周辺のBluetoothデバイスの検索が行われます。
検出されたデバイスは、画面のデバイスリストに一覧表示されます。

デバイスリストに表示されるアイコンの種類と状態

アイコンの種類		接続中
		発見済み
		発見済みで接続登録済み
		行方不明
		行方不明で接続登録済み
状態	接続	接続中のデバイス
	発見	デバイスの検索で発見されたデバイスで、接続を許可されている状態
	行方不明	以前にデバイスの検索で発見されたデバイスで、現在は発見できなかったデバイス

- 「ツール」→「周辺デバイスの検索」をタップしてデバイス検索を行うこともできます。
- Bluetooth デバイスを検出するのに、数分かかる場合があります。

3 **接続したいデバイス名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「サービス更新」をタップする**

マイデバイス側に Bluetooth 認証画面が表示されます。

- マイデバイスまたはリモートデバイスのどちらかがセキュリティモードが「セキュリティあり」に設定されていると、通信を行うときに接続相手を確認する「認証手続き」を行います。
- すでに認証されているデバイス、またはマイデバイスとリモートデバイスが、どちらもセキュリティモードが「セキュリティなし」に設定されている場合は、Bluetooth 認証画面は表示されません。

4 20秒以内にBluetoothパスキーを入力し、「OK」をタップする

Bluetooth パスキーは半角英数字で最大 16 文字です。
リモートデバイスによって、Bluetoothパスキーが固定値の場合や、桁数が制限されている場合があります。各機器の制限を必ずご確認ください。

サービス更新中のメッセージが表示されます。

- サービス更新が完了するまでに数分かかる場合があります。

更新したデバイスのサービス情報をサービスリストに一覧表示します。

サービス名	アイコン		
	サービスアイコン	接続中	接続登録済み
COMサービス			
DUNサービス			
OPPサービス			
FTPサービス			
LAPサービス			
NAPサーブス			
GNサービス			
状態	接続	接続中のサービス	
	未接続	接続されていないサービス	

以上でBluetooth 接続の準備ができました。

5. COM サービスを使う

パソコンと ActiveSync® で接続する

COM サービスを使って、パソコンと接続を行う方法を説明します。

接続前の準備

あらかじめ次の準備が必要です。

■接続するパソコン

Bluetooth通信対応のパソコンに、ActiveSync® をインストールしてください。

■本製品の準備

- Bluetooth パスキーを用意する（参照 248 ページ）
- クレードルまたはケーブルを使用して、本体とパソコンの ActiveSync 接続の設定をする（参照 55 ページ）
- Bluetooth 機能を使用可能な状態にする（参照 245 ページ）
- Bluetooth 通信の環境設定（参照 246 ページ）と接続準備（参照 249 ページ）をする

接続

1 サービスリストから、接続したい COM サービス名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「ActiveSync登録」をタップする

接続先名称画面が表示されます。

2 「OK」をタップする

ActiveSync設定画面が表示されます。ActiveSync接続時の設定を行ってください。

3 ok をタップする

接続登録が完了すると、接続登録済みアイコンに変わります。

4 ok をタップする

「Today」画面に戻ります。

5 **パソコン側でパソコンの ActiveSync 接続の設定で、接続先を Bluetooth の COM ポートに設定する**

パソコンを接続待ち状態にします。

- 接続待ち状態への設定は、パソコンによって異なります。お使いのパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

6 **「スタート」の「プログラム」から「Bluetooth」をタップし、「Bluetooth 接続」をタップする**

パソコンとの接続を開始します。
接続が完了すると、「プログラム」画面に戻ります。

7 **をタップする**

コマンドバーに、パソコンと接続中であることを示す アイコンが表示されます。

以上でパソコンとの接続状態になります。

- ActiveSync® を終了すると、Bluetooth 通信も切断されます。

ActiveSync の自動接続機能について

■ActiveSync の自動接続機能とは

ActiveSync の自動接続機能を利用すると登録したPCへの ActiveSync 接続が自動的に行われるようになります。ActiveSyncをよくご利用になられる方には非常に便利な機能です。

■ActiveSync の自動接続登録を行う

ActiveSync の自動接続登録を行うには Bluetooth アイコンをタップし、ポップアップメニューの「ActiveSync自動接続」にチェックをつけてください。
登録が完了するとすぐにActiveSync での接続を開始します。対象となるPCの準備ができていれば自動的に ActiveSync での接続が確立します。

■ActiveSync の自動接続登録を解除する

接続登録を行うのと同じ要領でポップアップメニューを開き、「ActiveSync 自動接続」のチェックをはずしてください。

■ActiveSync の自動接続の有効／無効を切り替える

Bluetooth アイコンのポップアップメニューの「ActiveSync 自動接続」をタップすることにより、ActiveSync の自動接続の有効／無効を切り替えることができます。

お知らせ

- ActiveSync の自動接続機能を有効にした場合、他のデバイスに接続しにくくなる場合があります。この場合はActiveSync の自動接続機能を無効にしてください。
- Bluetooth での ActiveSync 接続が確立されている場合には、ダイヤルアップやファイル転送等の他の Bluetooth の機能が使用できませんので ActiveSync の自動接続機能を無効にしてください。
- ActiveSync の自動接続機能が有効になっていると無効な状態より多くの電力を消費してしまいますのでご利用になる場合には注意してください。

チャットをする

COM サービスを使って、「Bluetooth Chat」で GENIO e 同士の簡易的な「チャット」を行う方法を説明します。

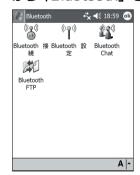
接続前の準備

あらかじめ次の準備が必要です。

■本製品の準備

- Bluetooth 機能を使用可能な状態にする（参照 245 ページ）
- Bluetooth 通信の環境設定（参照 246 ページ）と接続準備（参照 249 ページ）をする

チャットの開始

1 チャットする両方のGENIO eで 「スタート」の「プログラム」から「Bluetooth」をタップする

2 チャットする両方のGENIO eで「Bluetooth Chat」をタップする

3 マイデバイス側のGENIO eで「ツール」→「Bluetooth チャット開始」をタップする

4 リモートデバイス側のGENIO eで「ツール」→「Bluetooth チャット開始」をタップする

必ずマイデバイス側のGENIO eが「Bluetoothチャット開始」をタップしてからリモートデバイス側での操作を行ってください。同時に行うと、接続に失敗することがあります。

5 文字を入力して、「送信」をタップする

メッセージ表示画面をタップしないでください。タップすると、次回から、その位置にメッセージが表示されてしまいます。

お知らせ

- チャット中にGENIO e本体やBluetoothデバイスの電源を切らないでください。接続相手にチャットの終了が正しく伝わらないため、相手側はチャット動作異常になります。

チャットの終了

1 チャットしている両方のGENIO eで「ツール」→「Bluetooth チャット停止」をタップする

Bluetooth 通信が終了します。

6. DUN/LAP サービスを使う

インターネットへ接続する

DUN サービスを使って、モデムや携帯電話と接続してインターネットへ接続する方法を説明します。DUN と LAP サービスは同じ接続方法です。

接続前の準備

■本製品の準備

- インターネット接続設定をする
  Bluetooth通信対応のモデムと接続するときは、「スタート」の「設定」から「接続」タブ→「接続」をタップします。「インターネット設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップします。「新しい接続」画面で、「モデムの選択」の一覧から「Bluetooth Card」を選択してください。
- Bluetooth 機能を使用可能な状態にする（参照 245 ページ）
- Bluetooth 通信の環境設定（参照 246 ページ）と接続準備（参照 249 ページ）をする

お知らせ

- モデムや携帯電話の操作に関しては、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- LAPサービスのダイヤルアップ番号は、何でも構いません。任意の数字を入力しておいてください。

接続

1 サービスリストから、接続したい DUN サービス名または LAP サービス名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「接続登録」をタップする

接続先名称画面が表示されたら、「OK」をタップしてください。
接続登録が完了すると、接続登録済みアイコンに変わります。

2 ok をタップする

「Today」画面に戻ります。

- この後の操作の詳細は、「ホームページを見る」（参照 137ページ）や「メールを送受信する」（参照 144ページ）を参照してください。ホームページの閲覧やメールの送受信の「終了」や「切断」操作をすると、Bluetooth 通信も切断されます。

7. PAN サービスを使う

ネットワークに接続する

PANサービスを使って、ネットワークに接続する方法を説明します。このサービスはDUN/LAPサービスに似ていますが、DUN/LAPサービスより簡単(モデムやダイアルアップの設定が不要)です。
PAN サービスには、次の 3 つのモードがあります。

- GN（Group ad-hoc Network controller）
  アドホックネットワークでマスタの役割をするモードです。
- NAP（Network Access Point）
  アクセスポイントの役割をするモードです。
- PANU（PAN user）
  GN または NAP と接続するときのモードです。また、PANU 同士を直接接続することもできます。
  e830W は PANU から GN、NAP への接続だけサポートしています。接続待ちはできません。

接続前の準備

■本製品の準備

- PAN サービスの設定をオンにする
  初期設定では PAN サービスは使用できない設定になっています。コマンドバーの Bluetooth アイコンをタップし、ポップアップメニューから「Bluetooth 設定」をタップします。表示された画面のコマンドバーの「オプション」→「機能一覧」を選択し、「パーソナルエリアネットワーク」をオンにしてください。設定を有効にするためには Bluetooth デバイスの電源を入れ直してください（参照 245 ページ）。
- Bluetooth 機能を使用可能な状態にする（参照 245 ページ）
- Bluetooth 通信の環境設定（参照 246 ページ）と接続準備（参照 249 ページ）をする

接続

1 サービスリスト内の接続したい NAP サービス名または GN サービス名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「接続登録」をタップする

接続先名称画面が表示されたら、「OK」をタップしてください。
接続登録が完了すると、接続登録済みアイコンに変わります。

2 ⓞⓚをタップする

「Today」画面に戻ります。

3 コマンドバーのBluetoothアイコン( )をタップし、「Bluetooth」→「個人ネットワークの開始」をタップする

リモートデバイスに接続します。

- この後の操作の詳細は、「ホームページを見る」(参照 137ページ)や「メールを送受信する」(参照 144 ページ)を参照してください。

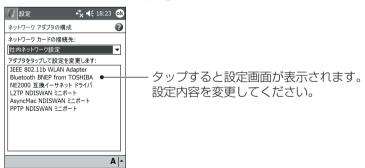
PAN サービスを終了する

1 コマンドバーのBluetoothアイコン( )をタップし、「Bluetooth」→「パーソナルエリアネットワーク停止」をタップする

リモートデバイスの接続を切断し、Bluetooth 通信も切断されます。

PAN サービスのネットワーク設定を変更する

1 「スタート」の「設定」から「接続」タブ→「ネットワークカード」をタップする

「ネットワークアダプタの構成」画面が表示されます。

8. OPP サービスを使う

OPP サービスを使って、GENIO e 同士で「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「名刺」を送受信する方法を説明します。「名刺」とは、GENIO e では「オーナー情報」のことです。なお、メモ欄に入力した音声データ、手書きデータを送信することはできません。

接続前の準備

■本製品の準備

- Bluetooth パスキーを用意する（参照 248 ページ）
- Bluetooth 機能を使用可能な状態にする（参照 245 ページ）
- Bluetooth 通信の環境設定（参照 246 ページ）と接続準備（参照 249 ページ）をする

お知らせ

- 携帯電話など、他の Bluetooth 機器の操作に関しては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

連絡先の送信

1 「スタート」から「連絡先」をタップし、送信したい連絡先をタップアンドホールドする

- 連絡先をドラッグすると、複数選択することができます。

2 ポップアップメニューの「Bluetooth で送信」をタップする

- 「ツール」メニューをタップしても、送信することができます。

デバイス検索画面が表示されます。

3 「全デバイス表示」をチェックし、「デバイス検索」をタップする

デバイスリストが表示されます。

4 送信したいデバイス名をタップし、「OK」をタップする

リモートデバイスとの接続中メッセージが表示されます。

- Bluetooth認証画面が表示されたら、Bluetoothパスキー（暗証番号）を入力し、認証手続きを行ってください。

連絡先送信中のメッセージが表示されます。
送信が終了すると、送信済みのメッセージが表示され、Bluetooth通信が切断されます。
「閉じる」をタップすると連絡先一覧画面に戻ります。
リモートデバイス側のGENIO eには、受信済みのメッセージが表示されます。「閉じる」をタップすると、画面を閉じます。

連絡先の全件データ送信

リモートデバイスに、オーナー情報も含めてすべての連絡先を送信します。送信できるサイズは最大2MBです。1件あたり1KBとすると約2000件の連絡先を送ることができます。2MBを超えるとエラーメッセージが表示されます。

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

2 連絡先をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「Bluetooth で全件送信」をタップする

- 「ツール」メニューをタップしても、送信することができます。

メッセージが表示されます。

3 「OK」をタップする

デバイス検索画面が表示されます。

4 **「全デバイス表示」と「認証あり」を設定し、「デバイス検索」をタップする**

デバイスの一覧が表示されます。

5 **接続したいデバイスをタップして選択し、「OK」をタップする**

相手デバイスとの接続中メッセージが表示されます。

● Bluetooth 認証画面が表示されたら、Bluetooth パスキー（暗証番号）を入力して認証手続きを行ってください。

連絡先送信中のメッセージが表示されます。
送信が終了すると、送信済みのメッセージが表示され、Bluetooth通信が切断されます。
「閉じる」をタップすると連絡先一覧画面に戻ります。

■リモートデバイス側の表示と操作

他の GENIO e から連絡先の全件を受信したときは、「Bluetooth 受信」画面が表示されます。

● 受信データの 1 件目（オーナー情報）を、オーナー情報に書き込むか、連絡先に書き込むかを指定してください。

受信済みのメッセージ画面で、「閉じる」をタップすると画面が閉じます。

予定表の送信

1 「スタート」から「予定表」をタップする

2 送信したい予定表をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「Bluetooth で送信」をタップする

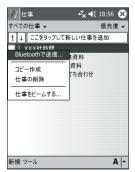
●「ツール」メニューをタップしても、送信することができます。

デバイス検索画面が表示されます。

以降の操作は、「連絡先の送信」（参照 259ページ）の操作３～４を参照してください。

仕事の送信

1 「スタート」から「仕事」をタップする

2 送信したい仕事をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「Bluetooth で送信」をタップする

●「ツール」メニューをタップしても、送信することができます。

デバイス検索画面が表示されます。

以降の操作は、「連絡先の送信」（参照 259ページ）の操作３〜４を参照してください。

名刺の交換

GENIO e では「オーナー情報」が名刺の代わりをします。「オーナー情報」は必ず入力しておいてください。

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

2 連絡先をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「Bluetooth で名刺交換」をタップする

●「ツール」メニューをタップしても、名刺交換することができます。

デバイス検索画面が表示されます。

3 「全デバイスの表示」をタップし、「デバイス検索」をタップする

デバイスリストが表示されます。

4 名刺交換の相手先のデバイス名をタップし、「OK」をタップする

リモートデバイスと接続中メッセージが表示されます。

● Bluetooth認証画面が表示されたら、Bluetoothパスキー（暗証番号）を入力し、認証手続きを行ってください。

名刺の交換が開始されます。名刺交換が終了すると、受信した氏名、Eメールアドレス、電話番号などが画面に表示され、Bluetooth接続が切断されます。
GENIO e 同士で名刺の交換をすると、送信した「オーナー情報」は相手の「連絡先」に保存されます。

5 「閉じる」をタップする

連絡先一覧画面に戻ります。

名刺の受信

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

2 連絡先をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「Bluetooth で名刺を受信」をタップする

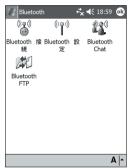
● 以降の操作は「名刺の交換」の操作２～３と同じように行います。

名刺の受信が終了すると、受信した氏名、E メールアドレス、電話番号などが画面に表示され、Bluetooth 接続が切断されます。
GENIO e から名刺を受信すると、相手の「オーナー情報」が「連絡先」に保存されます。

9. FTP サービスを使う

FTP サービスを使って、GENIO e 同士でファイル転送を行う方法を説明します。

Bluetooth FTP の起動

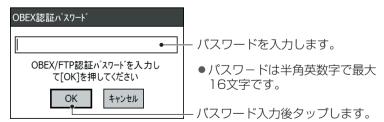
1 「スタート」の「プログラム」から、「Bluetooth」をタップする

2 「Bluetooth FTP」をタップする

サーバ選択画面が表示されます。

3 「サーバー検索」をタップする

画面にデバイス検索中、デバイス名取得中のメッセージが表示され、周辺に存在するデバイスの検索が行われます。
検出したデバイスが表示されます。

4 ファイル転送したいデバイス名をタップし、「OK」をタップする

FTP 認証画面が表示された場合は、FTP 認証パスワードを入力します。

マイデバイス側にはFTP（クライアント）画面が表示されます。
リモートデバイス側では、自動的にBluetooth FTPが起動し、コマンドバーにFTP（サーバ）アイコンが表示されます。FTP（サーバ）アイコンをタップするとFTP（サーバ）画面が表示されます。

ファイルを送信する

1 マイデバイスウィンドウから送信したいフォルダまたはファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

- ファイルをタップすると、関連付けられたアプリケーションが起動します。

「送信」　　　　　：リモートデバイスにファイルを送信します。
「実行」　　　　　：関連付けられたアプリケーションが起動します。
「新しいフォルダ」：マイデバイスウィンドウにフォルダを作成します。
「削除」　　　　　：フォルダやファイルを削除します。
「名前の変更」　　：フォルダやファイルの名前を変更します。

2 ポップアップメニューの「送信」をタップする

- ファイルをドラッグしても、ファイルを送ることができます。

送信中画面が表示されます。

3 「ツール」→「終了」をタップする

終了します。

ファイルの受信

1 リモートデバイスウィンドウから受信したいフォルダまたはファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

「受信」　　　　　：リモートデバイスのファイルを受信します。
「受信／実行」　　：リモートデイバスのファイルを受信したり、関連付けられたアプリケーションを起動したりします。
「新しいフォルダ」：リモートデバイスウィンドウにフォルダを作成します。
「削除」　　　　　：フォルダやファイルを削除します。

2 **ポップアップメニューの「受信」または「受信/実行」をタップする**

- マイデバイスウィンドウにファイルをドラッグしても、ファイルを受信することができます。

受信中画面が表示されます。
「受信/実行」をタップしたときは、「送信／実行 確認」というメッセージが表示されます。「はい」をタップするとリモートデイバスのファイルを受信後、関連付けられたアプリケーションを起動します。関連付けられたアプリケーションがない場合は、エラーメッセージが表示されます。

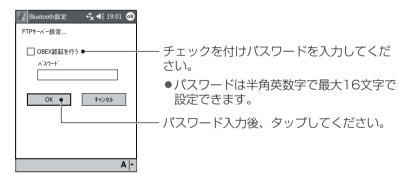
3 **「ツール」→「終了」をタップする**

終了します。

FTP 認証の設定をする

OBEX認証を行う設定にし、FTPパスワードで認証することができます。パスワードを設定しておけば、リモートデバイスからの不正使用から、本製品の個人情報を保護できます。

1 **「Bluetooth 設定」画面で「オプション」→「FTP サーバー設定」をタップする**

「FTP サーバー設定」画面が表示されます。

お知らせ

- FTPパスワードは初期値では登録されていません。FTPサーバを使用する前に、FTP パスワードを設定することをおすすめします。

10.「Bluetooth 設定」のメニュー

「Bluetooth 設定」画面のコマンドバーには、「ツール」、「表示」、「オプション」の３つのメニューがあります。
この３つのメニューを使って、さまざまなBluetooth通信の操作を行います。ここでは、３つのメニューのさまざまな機能について説明します。

「ツール」メニュー

コマンドバーの「ツール」をタップして表示される「ツール」メニューでは、次のことができます。

■周辺デバイスの検索

タップすると、画面に検索中メッセージが表示され、周辺に存在するBluetooth デバイスの検索が行われます。（参照 249 ページ）

お知らせ

- 検索されたデバイス名をタップアンドホールドして表示されるポップアップメニューで、次の設定ができます。

サービス更新 .... 選択したリモートデバイスのサービス情報をもう一度検索し、サービスリストに一覧表示します。
プロパティ .... 選択されたリモートデバイスの詳細な情報が表示されます。
削除 .... 選択したリモートデバイスをデバイスリストやサービスリスト、および「周辺デバイスの検索」をしたときのデータベースから削除します。選択したリモートデバイスが接続中の場合は、削除することはできません。

■検索オプション

デバイス検索の設定をします。

- 「デバイス名検索あり」を選択した場合、周辺デバイスの検索時にデバイス名が検索され、デバイスリストにデバイス名が表示されます。
- 「デバイス名検索なし」を選択した場合、周辺デバイスの検索時にデバイス名の検索は行われないので、検索する時間を短くすることができます。デバイスリストには、デバイスアドレスが表示されます。

■行方不明デバイスの削除

デバイスリストに「行方不明」と表示されているデバイスがすべて削除されます。

「表示」メニューについて

コマンドバーの「表示」をタップして表示される「表示」メニューでは、次のことができます。

■詳細
デバイスリストにデバイス名が表示されます。

■アイコン
デバイスリストにアイコンが表示されます。

■フィルタ
現在選択されているデバイスに黒丸「●」が付いています。選択したいデバイスをタップしてください。

- 「ツール」→「周辺デバイスの検索」で検索したデバイスの中でも、「表示」メニューで選択したデバイスだけがデバイスリストに表示されます。

「オプション」メニューについて

コマンドバーの「オプション」をタップして表示される「オプション」メニューでは、次のことができます。

■ ActiveSync 設定
ActiveSyncの自動接続を行うかどうか、同期完了後に自動的に切断するかどうかの設定を行います。

■ FTP サーバ設定
FTPサーバの設定画面を表示します。ここではOBEX認証を行うかどうか、行う場合の認証パスワードの設定をします。

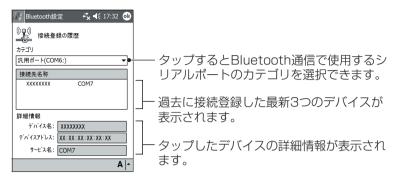
■セキュリティ設定
セキュリティ設定を切り替える画面を表示します。（参照 246 ページ）

- 詳細設定ボタン
  セキュリティ、暗号化に関する設定をします。（参照 246 ページ）

お知らせ

- 「Today」画面の Bluetooth アイコンをタップし、「セキュリティ切り替え」をタップすると、４つのセキュリティ設定が選択できるメニューが表示されます。設定したいセキュリティをタップしてください。

■登録履歴

「接続登録の履歴」画面を表示します。
自動接続の登録履歴を表示します。

■マイデバイス

マイデバイスの情報が表示されます。
デバイス名を変更することもできます。（参照 247 ページ）

■機能一覧

マイデバイスの機能一覧が表示されます。

■バージョン情報

Bluetooth 設定のバージョン情報を表示します。

第8章
困ったときは

1. Q&A

電源

1. 電源スイッチを押しても電源が入らない？

- バッテリパックの充電量がなくなっています。充電を行ってください。
- バッテリパックまたは大容量バッテリパック（別売品）がセットされていません。バッテリパックまたは大容量バッテリパック（別売品）をセットしてください（AC アダプタだけでは使用できません）。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。
  リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 308 ページ）。

2. 急に電源が切れた？

- バッテリパックの充電量を使いきりました。充電を行ってください。
- オートパワーオフ（自動サスペンド）が働きました。電源が切れるまでの時間を変えるときは、「スタート」→「設定」→「システム」タブから、「パワーマネージメント」→「バッテリ」タブをタップし、設定してください。バッテリ電源使用時とACアダプタ使用時で、それぞれ設定できます。

3. 充電しても使用時間が著しく短いのですが？

- 持ち運び時にプログラムボタンなどが押されて、電源が入ってしまった可能性があります。持ち運び時には、プログラムボタンなどが押されないように気をつけてください。
  ホールドスイッチを「On」（HOLD）側に移動すると、プログラムボタンを押しても、電源が入りません（参照 10 ページ）。
- バッテリパックの寿命などが考えられます。新しいバッテリパックに交換してください。

4. 使用しながら充電できますか？

ACアダプタを接続していれば、使用しながら充電できます。

画面、スクリーンライト

1. 画面(ディスプレイ)の一部に、非点灯・常時点灯などの点があるのですが？

ディスプレイの一部に非点灯・常時点灯などの点が存在することがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。
ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていて、非点灯・常時点灯などの点を少量に抑えるように管理していますが、現在の技術水準でも完全になくすことは困難ですので、ご了承ください。

2. 画面が暗い？

- スクリーンライトがOFFになっています。電源スイッチを長く押してONにしてください。

3. 画面が暗くなった？

- 設定した未使用時間を超えたため、スクリーンライトが消灯しました。再び使用すると、スクリーンライトはONになります。

4. スクリーンライトのON／OFFを任意に切り替えることはできますか？

スクリーンライトは、電源スイッチを長押しすることでON／OFFを手軽に切り替えることができます。

5. 画面を見やすい明るさにしたい？

「スタート」→「設定」→「システム」タブから「スクリーンライト」→「設定」タブをタップし、明るさのレベル「9段階＋省電力(消灯)」の中から、見やすい明るさを選択してください。

6. 画面をタップしても正しく応答しない？

- タッチスクリーンの設定が正しく調整されていません。「スタート」→「設定」→「システム」タブから「画面」をタップし、タッチスクリーンの補正を行ってください。
- 静電気などの影響で、タッチスクリーンの誤作動が起きている可能性があります。本体をリセットしてください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 308ページ）。

7. 画面をタップした時の反応が極端に遅い。動作がおかしい？

- メモリ容量が不足していると思われます。使用していないプログラムの終了処理を行って、メモリ容量を確保してください。
  プログラムの終了は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」の「実行中のプログラム」タブで行います。または「ホーム」の実行中タブでも行うことができます。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 308 ページ）。

8. 画面がロックして動かないのですが？

何らかの異常が発生した可能性があります。本体をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 308ページ）。

9. 画面（液晶パネル）のサイズはどのくらいですか？

液晶パネルのサイズは、4.0型です。

メモリカード

1. 本体メモリを拡張することはできますか？

本体メモリを拡張することはできませんが、SDメモリカードやCFメモリカードなどを、データ保存用のメモリとしてご利用できます。

2. メモリカードをセットしたのですが、本体メモリ容量が変わらないのですが？

メモリカードをセットしても、本体メモリ容量は変化しません。メモリカードは、プログラムのインストール先、データ保存先としてご利用ください。

3. SDメモリカードまたはCFメモリカードに、アプリケーションをインストールすることはできますか？

アプリケーションによっては、メモリカードに保存して、そこから起動することもできます。これはアプリケーションに依存しますので、アプリケーションの作成元にご確認ください。

4. SDカードスロット、CFカードスロットのそれぞれにメモリカードをセットした状態で使えますか？

使えます。CFメモリカードは「CF カード」と、SDメモリカードは「SD カード」と表示されます。

5. メモリカードの残り容量はどのように調べたらよいですか？

メモリカードの使用状況は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」をタップし、「メモリカード」タブで調べることができます。

6. メモリカードを使用中に本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードに本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

7. メモリカードを使用してファイルのコピーをしているとき、間違って本体の電源を切ってしまったのですが？

コピーをやり直してください。電源を入れた後、メモリカードのフォルダが表示されなくなったときは、カードをいったん本体から取り出し、再度取り付けてみてください。

操作全般

1. プログラムが起動しない？

- メモリ容量が不足しています。使っていないアプリケーションを終了させて、メモリ容量を確保してください。
- バッテリパックの充電量が不足しています。充電を行ってください。

2. 操作の反応が遅い？

- 「CPUの動作速度」で動作速度が遅い速度に設定されています。速い動作速度に設定してください（参照 77ページ）。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 308ページ）。

3. 起動時にパスワードを設定することはできますか？

パスワードは、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「パスワード」で設定することができます。4桁の数字、または7桁以上の英数字のパスワードで設定することができます（参照 69ページ）。

4. スタートメニューに表示される項目を編集することはできますか？

スタートメニューに表示される項目は、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「メニュー」の「スタートメニュー」タブで編集することができます。

5. 従来機種のPocket PCや他社のPocket PC（以下他のPocket PCと呼ぶ）でバックアップを取ったデータを、この本体にリストアすることはできますか？

できません。リストア操作を実行しても、正常にデータが戻りません。(当社では、このような操作を行った場合に発生するいかなる問題にも責任は負いませんので、あらかじめご了承ください。）
他のPocket PCのデータを、この本体に取り込む場合には、まずActive Syncを使用して他のPocket PCとパソコンで同期を取ってください。（同期を取る項目は、事前にパソコンのActiveSync側で設定しておいてください。）次に、この本体とパソコンで同期を取り、必要なデータをこの本体に取り込んでください。

6. 本体の時間を設定しても、すぐにずれてしまうのですが？

初期値では、パソコンのActiveSyncにおいて「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」項目にチェックが付いています。 このため本体とパソコンの同期を取ると、パソコンの日時に自動的に変更されます。この機能を無効にするか、パソコンの時間を正しく設定してください。
【無効にするには】
パソコンのActiveSyncの「ツール」→「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」のチェックをはずします。

7. メモリカードなどを使用しているときに、本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードなどを使用中で、本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

文字入力

1. 手書き入力文字がテキスト選択されるまでの時間を速くできませんか？

以下の操作で速くすることができます。

1 「スタート」→「設定」を選択する
2 「個人用」タブで「入力」をタップする
3 「入力方法」の「▼」をタップし、「手書き入力」を選択する
4 「オプション」をタップする
5 「タイムアウト値」を「1」に設定する
- 初期値では「2」に設定されています。
6 ⓞⓚをタップする
7 もう1度 ⓞⓚをタップする

Today

1. 作成した覚えのない未送信メッセージが数通登録されているのですが？

予定表で新規に予定を作成する時に会議出席者を選択しておくと、会議出席者のメールアドレスにメールが送信されます。 また、会議の予定を変更/削除した場合に「この会議の変更内容を出席者に連絡しますか？」というメッセージが表示されますが、この問いに対して「はい」と回答すると、「更新」/「キャンセル」のメールが会議出席者に送信されます。 このメールがメールの「送信トレイ」に保存されています。
本体の初期値では、メールの「表示」→「Outlookメール」を選択して「送信トレイ」を開くと、このとき作成され、未送信のメールを確認することができます。

同期（ActiveSync）

1. クレードルまたはUSBシンクケーブルを使ってパソコンに接続しても、ActiveSyncが動作しないのですが？

パソコンにUSBドライバがインストールされていない可能性があります。USBドライバをインストールしてください。

2. パソコンにUSBドライバをインストールしていますが、パソコンとUSB接続できないのですが？

次の確認をしてください。

1 本体の「スタート」→「ActiveSync」をタップする
2 「ツール」→「オプション」をタップする

3「PC」タブの「オプション」をタップする

4「次の接続方法でPCとの同期を有効にする」がチェックされていて、「USB」が選択されていることを確認する

3. ActiveSyncのセットアップはできましたが、同期が取れないのですが？

次の操作、確認をしてください。

- 「パソコンとの接続」(参照 23ページ)をご覧いただき、パソコンに本体が正しく接続されているかどうかを確認してください。
- パソコンのActiveSyncを起動し、「ファイル」→「接続の設定」をクリックしてください。
  「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」、あるいは「USB接続をこのPCで有効にする」にチェックが付いていることを確認してください。
- 複数のアプリケーション(プログラム)を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください(参照 289ページ)。また、1度本体をリセットしてから操作してください。
- パソコンを再起動してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続する場合は、電源の付いたUSBハブを利用してください。電源なしのUSBハブをご使用の場合は、パソコンに直接クレードルを接続してください。
- USBポートが複数存在するパソコンをご使用の場合は、別のUSBポートに接続してみてください。

4. ActiveSyncで接続すると「同期完了」と表示されずに「要確認」と表示されてしまうのですが？

次の操作をしてください。

- パソコンのActiveSyncを起動して、「ツール」→「オプション」をクリックし、「規則」タブをクリックしてください。「競合の解決」の選択項目を変更してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接クレードルを接続してください。
- LANで同期を取っている場合には、クレードルを使用して同期を取ってみてください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、もう1度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

5. 同期がうまく取れなくなってしまったのですが？

次の操作をしてください。

- 複数のアプリケーション(プログラム)を起動している場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了してから操作してください(参照 289ページ)。

- 同期中に本体をクレードルまたはUSBシンクケーブルから取りはずしたり、また、接続／切断を何度も繰り返すと、パソコンと接続できなくなる場合があります。このような現象が発生したときは、本体をリセットし、パソコンを再起動して、もう１度接続をしてください。
- USBハブを経由してクレードルを接続している場合は、パソコンに直接クレードルを接続してください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、もう1度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

6. Outlook97/98のデータは同期できますか？

ActiveSync3.7.1では、Outlook98と同期できます。Outlook97はサポート対象外です。

7. ActiveSync3.7.1でサポートしているOutlookは何ですか？

ActiveSync3.7.1では、Outlook98/2000/2002/2003をサポートしています。

8. Outlook Expressと同期を取ることはできますか？

Outlook Expressとは、同期を取ることができません。

9. ネットワークカードを使用して同期が取れないのですが？

以下の操作で設定すれば、同期が取れるようになります。ネットワークを利用して同期を取る前に、１度USB接続した状態で標準パートナーシップを構築しておく必要があります。

1. ネットワークケーブルを接続したネットワークカードを挿入する
2. ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップし、ポップアップメニューから「設定」をタップする
3. 「設定」タブで「プロキシサーバーの設定」をタップし、「プロキシの設定」タブでプロキシサーバーの設定をする
4. 「OK」をタップする
5. 「スタート」→「設定」をタップする
6. 「接続」タブで「ネットワークカード」をタップする
7. 「ネットワークアダプタ」タブで「ネットワークカードの接続先」を「社内ネットワーク設定」にする
8. 「OK」をタップする
9. 「スタート」→「ActiveSync」をタップする
10. 「ツール」→「オプション」をタップする
11. 「次のPCを使用する」で同期するパソコンを選択する
12. 「OK」をタップする
13. 「同期」をタップする

また、初期値では、同期完了後切断されるよう設定されています。継続する場合は、以下の操作で設定を変更してください。

1 本体の「スタート」→「ActiveSync」をタップする
2 「ツール」→「オプション」をタップする
3 「PC」タブの「手動での同期中にこのPCと同期する」をチェックする
4 「PC」タブの「オプション」をタップする
5 「リモートで同期を実行したとき」の「接続を維持する」を選択する
6 「OK」をタップする
7 「OK」をタップする

10. 赤外線を利用して同期が取れないのですが？

パソコンの出荷時状態では、赤外線の設定が有効になっていないものがあります。まず、パソコンの赤外線が利用できるように、次の操作で設定してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

1 本体を接続しない状態で、パソコンのActiveSyncを起動する
2 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする
3 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける
4 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート(IR)」を選択する
   - 「赤外線ポート(IR)」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。再度パソコンの赤外線設定をご確認ください。
5 「OK」ボタンをクリックする
6 本体とパソコンの赤外線ポートを向き合わせたら、本体より「スタート」→「ActiveSync」をタップする
7 「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

11. Macintoshと同期を取ることはできますか？

本体は、Macintoshと同期を取ることはできません。

12. 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？

次の操作をしてください。

1 パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「同期の設定」タブで同期する情報の種類を変更し、「OK」ボタンをクリックする
3 ActiveSyncの同期ボタンをクリックする

13. 仕事の同期時、終了設定がパソコンに設定されると同時に、その仕事の項目が削除されてしまうのですが？

パソコンのActiveSyncの仕事の同期設定で、「すべての仕事を同期する」に設定してください。

1 パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「同期の設定」タブで「仕事」を選択し、「設定」ボタンをクリックする
3 「すべての仕事を同期する」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする
4 「OK」ボタンをクリックする

14.本体にPHSカードをセットした状態で同期を取っていたら、インターネットへの接続(ダイヤルアップ接続)が開始されてしまった？

同期の接続に失敗したか、途中でクレードルから本体をはずしたのが原因です。インターネットへの接続を切断してください。表示された接続のポップアップメニューの「キャンセル」をタップします。

インターネット接続、メール

1. インターネットに接続できない(ダイヤルできない)？

- 通信機器が正しくセットされているか、ご確認ください。
- 通信機器の電波状態が良好かどうか、ご確認ください。
- ダイヤルアップ接続先のユーザーID/パスワードが半角の英数字で正しく入力されているか、ご確認ください。
- ActiveSyncなどで、本体とパソコンを接続した状態になっている場合は、パソコンとの接続を終了してください。
- 本体とパソコンなどが赤外線通信中になっている場合は、赤外線通信を終了してください。
- バッテリパックの充電残量が約15%以下になると、インターネット接続はできません。バッテリパックを充電するか、あらかじめ充電しておいたバッテリパック（別売品）に交換、またはACアダプタを接続したうえで使用してください。

2. ダイヤルはできるのですが接続できない？

使用するPHSカードを接続し、ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップして、ポップアップメニューから以下の項目をご確認ください。

●ダイヤル時に使用する接続名
●電話番号
●0 発信、市外局番

それぞれ、次の操作で確認、設定をしてください。

- ダイヤル時に使用する接続名が違っていた場合
  1 ポップアップメニューの「設定」をタップする
  2 「インターネット設定」の「既存の接続を管理」をタップする
  3 ご利用になる接続名をタップアンドホールドする
  4 「接続」をタップする

●電話番号が違っていた場合

1 ポップアップメニューの「設定」をタップする
2 「インターネット設定」の「既存の接続を管理」をタップする
3 ご利用になる接続名を選択して、「編集」をタップする
4 「次へ」をタップして、アクセスポイントの電話番号を入力し、「次へ」をタップする
5 「完了」をタップする
6 「OK」をタップする
7 「OK」をタップする

● 0 発信、市外局番の設定が違っていた場合

1 ポップアップメニューの「設定」をタップする
2 「詳細設定」タブをタップする
3 「ダイヤル情報」をタップする
4 「ダイヤル情報を使用する」にチェックを付ける
   メッセージが表示された場合は、内容を確認し、「OK」をタップしてください。
5 「発信元の選択」で、発信元を選択して「編集」をタップする
   新しく発信元を登録したい場合は「追加」をタップしてください。
6 「市外局番」の設定を確認、設定する
7 「ダイヤルパターン」をタップする
8 「市内通話」、「市外通話」を確認、設定する
   0発信しない場合は、「市内通話」を「G」、「市外通話」を「FG」と設定してください。
   0発信する場合は、「市内通話」を「0,G」、「市外通話」を「0,FG」と設定してください。
9 「OK」をタップする
10 「OK」をタップする
11 「OK」をタップする

3. ホームページは見ることができるのですが、メールの送受信ができません？

Pocket Internet Explorerでホームページが閲覧できているということは、インターネット接続は正しく設定されています。
この場合には、メール接続設定が正しくない可能性があります。プロバイダから提供されている、下記のメール接続設定のデータを再度ご確認ください(参照 132ページ)。

● ユーザー名 / ユーザー ID
● パスワード
● POP3/IMAP4 サーバー名
● SMTP サーバー名

4. メールを受信しても、メールが途中で切れているのですが？

初期値では、2KBを取得する設定になっています。受信トレイを起動したら、以下の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする
2 「アカウント」タブをタップする
3 表示されているアカウント一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「 電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

4 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
5 「オプション(1/3)」画面が表示されたら、(3/3)画面になるまで「次へ」をタップする

- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択している場合には、何KBまでメールを取得するか数字を指定してください。初期値では、2Kに設定されています。
- メールの全文を取得する場合には、「▼」をタップして、「メッセージの全文を取得する」を選択してください。

6 「完了」をタップする
7 「OK」をタップする

5. 添付ファイルは取得できますか？

受信トレイを起動したら、以下の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする
2 「アカウント」タブをタップする
3 表示されているアカウント一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

4 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
5 「オプション(1/3)」画面が表示されたら、(3/3)画面になるまで「次へ」をタップし、「メッセージヘッダーのみ取得する」または「メッセージの全文を取得する」のいずれかを選択する

- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合には、何KBまで受け取るか容量を設定します。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合には、すべての添付ファイルを受信します。

6 「完了」をタップする
7 「OK」をタップする

6. 受信したメールをメモリカード、Flash ROM Diskに保存することはできますか？

メールをメモリカード、Flash ROM Diskに保存することはできません。しかし、添付ファイルをFlash ROM Diskに保存することは可能です。

1 メッセージの全文を取得する
2 メッセージの内容を表示する
3 画面左下の添付ファイル名をタップアンドホールドし、「名前を付けて保存」をタップする
4 保存場所を選択し、「保存」をタップする

メッセージの全文を取得したとき、自動的に添付ファイルを保存するように設定する場合は、あらかじめ「ツール」→「オプション」→「保存場所」タブをタップしたら、「メモリカードに添付ファイルを保存する」にチェックを付けてください。

Pocket Internet Explorer

1. インターネットに接続できるのですが、ホームページの表示ができません？

DNSの設定が間違っている可能性があります。以下の操作でDNSの設定を確認、修正してください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「接続」タブをタップする
3 「接続」をタップする
4 「既定のインターネット設定」の「既存の接続を管理」をタップする
5 ご利用になる接続名を選択して、「編集」をタップする
6 「次へ」→「次へ」をタップする
7 「詳細設定」をタップする
   - 「TCP/IP」タブおよび「サーバー」タブの設定を再度ご確認になり、必要があれば修正してください。
8 「OK」をタップする
9 「完了」をタップする
10 「OK」をタップする
11 「OK」をタップする

2. ネットワークカードを使用して社内(イントラネット)のホームページは見ることができるのですが、社外(インターネット)のホームページを見ることができません？

プロキシの設定をご確認ください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「接続」タブをタップする

3 「接続」をタップする
4 「既定の社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」をタップする
5 「プロキシの設定」タブの「このネットワークをインターネットに接続する」と「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックが付いていることを確認する
6 「詳細設定」をタップする
- サーバーのアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。
- アドレスやポート番号が分からない場合は、ご利用になっているネットワークの管理者にご相談ください。

3. パソコン上で見たホームページを、本体でオフラインで閲覧するにはどうすればよいですか？

以下の方法で閲覧することができます。
1 パソコンでInternet Explorerを起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」、「OK」で、モバイルのお気に入りを作成する
- この操作は最初の１回だけ必要です。
2 Internet Explorerで本体に転送したいページを表示させる
3 「お気に入り」→「お気に入りに追加」で、「モバイルのお気に入り」のフォルダを選択する
4 「オフラインで使用する」をチェックして、「OK」を選択する
5 「お気に入り」→「モバイルのお気に入り」に、本体に転送したいページが追加されているのを確認する
6 本体とパソコンをActiveSyncで接続する
Pocket Internet ExplorerとInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」が同期されます。
7 本体でPocket Internet Explorerを起動して、「お気に入り」のアイコンをタップする。同期したページが追加されているので、そのページ名をタップする
パソコンで取り込んだページが本体に表示されます。

4. Pocket Internet Explorerで表示している画像データを保存することはできますか？

Pocket Internet Explorerで表示している画像を、ファイルとして保存することはできません。

5. フレームのあるWebページに対応していますか？

対応しています。

6. SSLに対応していますか。対応しているとすれば、また何ビットまで対応していますか？

SSL（128 ビット)に対応しています。

予定表

1. 予定の通知にアラームを鳴らすことはできますか？

予定の通知にアラームを鳴らすには、以下の操作でアラームを有効に設定してください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「個人用」タブで「音と通知」をタップする
3 「サウンド」タブで「プログラム」と、「通知」にチェックを付ける
4 「通知」タブをタップする
5 「イベント」で「アラーム」を選択する
6 「音を鳴らす」にチェックを付ける
7 「OK」をタップする

2. 予定表の表示で、希望する日へジャンプするにはどうすればよいですか？

左端の日付をタップすると、小さな月のカレンダーが表示され、希望する日へジャンプすることができます。

3. 祝日を登録するにはどうすればよいですか？

本体にはあらかじめ祝日が登録されていませんが、パソコンのOutlookと同期を取ることにより、祝日データを取り込むことができます。以下の操作をしてください。

1 パソコン側でOutlookを起動する
2 「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表オプション」ボタンをクリックする
3 「祝日の追加」ボタンをクリックする
4 「予定表に祝日を追加」画面が表示されたら、「日本」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックする
5 「OK」ボタンをクリックする
6 「予定表オプション」画面、「オプション」画面を「OK」ボタンをクリックして閉じる
7 パソコンのActiveSyncより「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表」にチェックを付ける
8 「予定表」を選択した状態で、「設定」ボタンをクリックする
9 「すべての予定を同期する」を選択する、または「次の中から選択した分類項目に含まれる予定だけを同期する」を選択して分類項目の「祝日」にチェックを付ける
10 「OK」ボタンをクリックし、「予定表の同期設定」画面、「オプション」画面を閉じる
11 同期を取る
祝日データが本体に登録されます。

4. 予定を作成した際に送信されるメールを、ActiveSync以外から送信するにはどうするのですか？

予定表から送信するメールは、ActiveSync以外の通常のメールボックスからも送信を行うことができます。
予定表を起動したら、「ツール」→「オプション」をタップしてください。「予定」タブで「会議出席依頼の送信方法」に表示されている「Outlookメール」の右側「▼」をタップして、会議通知を送付するためのメールボックスを選択してください。

- このとき表示されるメールボックス一覧は、「メール」で既に作成してあるメールボックスです。

5. 本体に登録しておいた古い予定が消えてしまったのですが？

ActiveSyncで同期を取ると、本体に登録されている予定表のデータは、2週間以前のものが削除されてしまいます。 これはメモリを有効に使用するために、古いデータを本体に残さないようにするためです。（パソコン側の予定表はデータが残ります）
以前の予定表データを本体に残しておきたい場合には、パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」より「予定表」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。
初期値では「2週間前」の予定から同期を取るようになっていますので、この数値を変更するか、「すべての予定を同期する」にチェックを付けてください。ただし、たくさんのデータを本体に残すとその分メモリを使用します。必要な期間のデータを同期するようにしてください。

Windows Media Player

1. Windows Media Player で再生できるファイルにはどのようなものがありますか？

インターネットなどで配信されているMP3形式、またはWindowsMedia形式（音声はWMA、動画はWMV、ASF）に対応しています。QuickTime形式には対応していません。

2. 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）に対応していますか？

対応しておりません。

3. 音楽CDからWMA形式のファイルを作成しましたが、本体で再生をすると止まってしまうのですが？

以下の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2 パソコンのWindows Media Playerの「ファイル」→「録音／転送」から「ポータブルデバイスに転送」を選択する
3 「転送する項目」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4 「デバイス上の項目」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5 「転送」ボタンをクリックする
   - ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
   - また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
   - うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「音楽の録音」タブの「録音設定」項目で「保護された音楽を録音する」のチェックをはずす
3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
   - 通常のコピー操作です。

4. 本体でWMA形式のファイルを再生しようとしたら、「著作権…」のメッセージが表示され、再生できないのですが？

以下の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2 パソコンのWindows Media Playerの「ファイル」→「録音／転送」から「ポータブルデバイスに転送」を選択する
3 「転送する項目」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4 「デバイス上の項目」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5 「転送」ボタンをクリックする
   - ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
   - また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
   - うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「音楽の録音」タブの「録音設定」項目で「保護された音楽を録音する」のチェックをはずす
3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
   ● 通常のコピー操作です。

アプリケーション

1. アプリケーションを終了させるには、どうすればよいですか？

以下のどちらかの方法で、終了操作をしてください。

【メモリ設定より終了】

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「システム」タブの「メモリ」をタップする
3 「実行中のプログラム」タブをタップする
   ● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。
4 終了したいアプリケーションを選択し、「終了」ボタンをタップする。 または「すべて終了」ボタンをタップする

【ホームより終了】

1 ホーム画面を表示する
2 「実行中」タブをタップする
   ● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。
3 終了したいアプリケーションをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「終了」をタップする。 または、画面上の何もない場所でタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「すべて終了」をタップする

2. 購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできますか？

購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできません。

3. アプリケーションなどのショートカットを作成することはできますか？

ファイルエクスプローラで作成することができます。ファイルエクスプローラで該当ファイルをコピーし、コピー先のフォルダで、ショートカットの貼り付けを行います。

4. メモリカード中の任意のソフトを「ホーム」に登録するにはどうすればよいですか？

以下の操作で登録することができます。メモリカードを本体にセットしてください。

1. メインメモリの「¥Windows」中にそのソフトの実行ファイルのショートカットを作成する
2. ホーム画面を表示する
3. 登録したいタブの画面上でタップアンドホールドして表示されるポップアップメニューから「追加」を選択する
4. 「アプリケーション」の下の「参照」をタップする
5. 「参照」画面で「フォルダ」が「Windows」になっていることを確認し、「種類」を「すべてのファイル」に切り替える
6. 表示されたファイル名リストの中で、1.で作成したショートカットをタップする
   自動的に「アプリケーション追加」画面 に戻ります。
7. 「アプリケーション名」にわかりやすい名前を入力し、「OK」ボタンをタップする

- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

5. EXEファイルをプログラムに登録するにはどうすればよいですか？

ファイルエクスプローラでそのEXEファイルをコピーし、メインメモリの「¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム」フォルダで、ショートカットの貼り付けをすると、「スタート」の「プログラム」に登録することができます。

無線 LAN

＊ e830W のみ

1. ネットワークに接続できないのですがどうしたらいいですか？

- ワイヤレスコミュニケーションスイッチがOnになっているか確認してください。
- 無線LANの省電力モードにより、無線LANデバイスがオフになっている可能性があります。
  「スタート」→「設定」→「システム」タブを開いて、「ワイヤレスコントロール」をタップし、「無線LAN」をオンにしてください。
- SSIDが正しいか確認してください（大文字と小文字が区別される点に注意）。
- 「ワイヤレスLANマネージャー」の「リンク」タブでリンク状態を確認してください。接続状態が良くない場合は、もう1度スキャンして別のアクセスポイントを使用してください。

- 接続するネットワークの種類が正しく設定されているか確認してください（参照 225ページ）。
- WEPキーが正確に入力されているか確認してください。
- 動作中のアクセスポイントの範囲内にいることを確認してください。
- チャンネルが1〜11の範囲に設定されていることを確認してください。
- バッテリパックの充電残量が約15%以下になると、無線LAN機能は使用できません。バッテリパックを充電するか、あらかじめ充電しておいたバッテリパック（別売品）に交換、またはACアダプタを接続したうえで使用してください。

2. パソコンと無線接続できないのですがどうしたらいいですか？

- パソコンと本体の間でパートナーシップが設定されていることを確認してください。
- 動作中のネットワークの範囲内にいることを確認してください。
- 本製品にパソコンのIPアドレスをWINSサーバーとして入力したことを確認してください。
- TCP/IP設定を有効にするためにパソコンまたは本製品をリセットしてください。
- ネットワーク内のすべての機器に同じSSID、WEPキー、チャンネルが設定されていることを確認してください。
- チャンネルが1〜11の範囲に設定されていることを確認してください。

3. インフラストラクチャモードで「チャンネル」を変更することができないのですがどうしたらいいですか？

インフラストラクチャモードでは、チャンネルはアクセスポイントによって決定されます。新しいワイヤレスネットワークを作成することはできません。動作中のアクセスポイントによって構築される、既存のネットワークへの接続のみが可能です。

4. 本製品がフリーズしてしまったのですがどうしたらいいですか？

リセットしてください。

5. 無線LAN通信を使用するには、本製品と同じメーカの機器を使用する必要がありますか？

本製品はWi-Fi認定を受けています。同様にWi-Fi認定を受けている機器であれば他のメーカの機器でも機能します。

6. ワイヤレスネットワークはどのように構築するのですか？

一般的には、アクセスポイントに接続することによってワイヤレスネットワークを構築することができます。アクセスポイントを使用する場合は、インフラストラクチャモードに設定します。異なるアクセスポイン

トには異なるチャンネルが必要です。また、ネットワークに接続されたすべての機器に同じSSIDを設定します。
アクセスポイントを使用しない場合は、アドホックモードに変更してください(参照 226ページ)。アクセスポイントを使用しない場合は、共有SSIDを使用してアドホックモードで通信するネットワークを構築することができます。

7. ワイヤレスネットワークに接続するにはどうしたらいいですか？

次の操作を行ってください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブを開いて、「ワイヤレスネットワーク」をタップする
2 「ワイヤレス」タブで接続したいネットワークを選択する
3 「全般」タブで接続モードやSSIDなどのその他の設定を編集し、「OK」をタップする
選択したワイヤレスネットワークのWEPセキュリティモードが有効の場合は、「ネットワークキー」タブで適切なWEPキーとキーインデックスを選択してください。
4 接続したいネットワークをタップアンドホールドして「接続」をタップする
選択したネットワークに接続します。
ネットワーク選択後、IEEE802.11b無線LANアダプタを設定します。
5 「ネットワークアダプタ」タブで「IEEE802.11b WLAN Adapter」をタップする
6 「IPアドレス」タブで、「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」または「特定のIPアドレスを使用する」を選択する
「特定のIPアドレスを使用する」を選択した場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

8. アクセスポイントに正しく接続できているかどうか知るにはどうしたらいいですか？

- BSSIDを確認してください。接続が確立されていれば、使用しているアクセスポイントの現在のBSSIDが、「ワイヤレスLANマネージャー」の「リンク」タブに表示されます。本体がアクセスポイントから切断されているときは、「BSSID」に何も表示されません。BSSIDを確認するには「スタート」→「設定」→「システム」タブを開いて、「ワイヤレスLANマネージャー」→「リンク」タブをタップします。
- リンク状態を確認してください。リンク状態は、アダプタがどれだけ明瞭にアクセスポイントの信号を受信できているかを示します。リンク状態が良くない場合は、再度スキャンしてより良く受信できるアクセスポイントを見つけるか、アクセスポイントの位置を調整してみてください。リンク状態を表示するには「スタート」→「設定」→「システム」タブを開いて、「ワイヤレスLANマネージャー」→「リンク」タブをタップします。

9. 802.11アドホックネットワークとは何ですか？802.11アドホックネットワークを構築するにはどうしたらいいですか？

アクセスポイントなしでピア・ツー・ピア接続するネットワークのことです。そのために使用するモードをアドホックモードといいます。ローカルエリアネットワーク内の無線通信を有効にするためには、ネットワーク内の機器に同じSSIDを設定します。

お知らせ

- 最初に設定する802.11アドホック機器に、適切なSSIDとチャンネルを選択します。その他の機器を接続するには、最初の機器と同じSSIDを選択するだけです。既存のアドホックネットワークに接続するためのチャンネル設定は、ネットワークのチャンネル番号として自動的に設定されます。

10. インフラストラクチャモードとアドホックモードの違いは何ですか？どちらを選べばいいのでしょうか？

インフラストラクチャモードは、アクセスポイントと接続するために使用します。通常、ワイヤレスネットワークを構築するには、まずアクセスポイントをADSL、ケーブルモデム、有線LANなどに接続します。適切なSSID、チャンネル、WEPセキュリティをユーザーガイドに従ってアクセスポイントに設定します。その後、接続する機器にアクセスポイントと同じSSID、チャンネル、WEPセキュリティを設定してください。

アクセスポイントなしでネットワークを構築する場合は、アドホックモードを選択します。アドホックモードでは、アクセスポイントなしでピア・ツー・ピア通信するローカルネットワークを、共有SSIDを使用して構築します。アドホックモードでは、ワイヤレスネットワーク内で機器が正常に通信できるよう、それぞれの機器に同じSSIDを設定します。

11. LANにアクセスするためにアドホックモードを使用することができますか？アクセスポイントなしでLANにアクセスするにはどうしたらいいですか？

次の手順で、アクセスポイントを使用せずに、LANにアクセスすることができます。

1. パソコンがLANアダプタまたはモデム経由で、すでにLANまたはインターネットに接続していることを確認する
2. パソコンに無線LANアダプタを取り付けて、アドホックネットワークを構築するようにアドホックモードと適切なSSIDを設定する
3. パソコンにICS（SyGateなどのインターネット共有ソフトウェア）機能をインストールして有効にする
   Windows 2000以降のバージョンのOSは、コントロールパネルの「ネットワーク接続」などでICS機能が標準でサポートされています。

4 本製品をアドホックモードに設定して、パソコンと同じSSIDを選択してアドホックネットワークに接続する
IPアドレスが自動的に割り当てられるようにDHCPを選択します。

5 アドホックネットワークの無線LANアダプタが、同じIPグループであることを確認する
相互にpingを実行して、接続が確立されていることを確認してください。これでLANにアクセスすることができます。

12. ワイヤレスネットワーク経由でActiveSyncを使用するにはどうしたらいいですか？

次の手順で操作してください。

1 パソコンと本体の間でパートナーシップが設定されていること、およびUSB接続でActiveSyncが正常に動作していることを確認する
ActiveSync接続インタフェースでは、無線LANのActiveSync接続にイーサネットインタフェースも選択する必要があります。

2 動作中のワイヤレスネットワークの通信可能範囲にいることを確認する

3 パソコンから本体に対してpingを実行できることを確認する
SSID、WEPキー、チャンネルがネットワーク内のすべてのデバイスで同じに設定されていることを確認してください。

4 本体にパソコンのIPアドレスをWINSサーバーとして入力したことを確認する

5 TCP/IP設定を有効にするために本体をリセットする
本体からActiveSync機能を実行して、高速ActiveSyncをワイヤレスで使用できます。

13. ワイヤレスでインターネットをブラウズするにはどうしたらいいですか？

- ネットワークがDHCPを使用する場合は、IPアドレスとDNS（またはWINS）が自動的に割り当てられます（参照 222、223ページ）。
- ネットワークがDHCPを使用しない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイとDNS（またはWINS）を入力する必要があります（参照 222、223ページ）。

次の手順でパソコンから本体に対してpingを実行することができます。
パソコンでDOSコマンドプロンプトを開いて「ping 140.124.40.112」のように、pingコマンドに続けてIPアドレスを入力します。このIPアドレスから応答があった場合は、接続は確立されています。
これで本体から「Internet Explorer」でインターネットをブラウズすることができます。

14. ワイヤレスで電子メールを確認するにはどうしたらいいですか？

次の手順で確認できます。

1. USB経由でActiveSync機能を使用して電子メールを送受信できることを確認する
   企業での電子メールの送受信については、必要な接続設定をネットワーク管理者に確認してください。
2. 本体にパソコンのIPアドレスをWINSサーバーとして入力したことを確認する
3. TCP/IP設定を有効にするために本体をリセットする

これで、本体からActiveSync機能を実行して、高速ActiveSyncによりワイヤレスで電子メールを送受信できるようになります。

15. SSIDとは何ですか？SSIDを設定するにはどうしたらいいですか？

SSIDはサービスセット識別手段（Service Set Identification）のことで、ワイヤレスネットワークを構築するためのIDです。SSIDには半角文字で最大32文字を設定することができます。インフラストラクチャモードでは、接続するアクセスポイントと同じSSIDを設定します。802.11アドホックネットワークを構築する場合は、ローカルエリアネットワーク内の無線通信を有効にするために、機器同士に同じSSIDを設定します。

お知らせ

- 802.11アドホックネットワークを構築する場合、最初の機器に、適切なSSIDとチャンネルを選択します。接続する機器には、最初の機器と同じSSIDを選択しますが、チャンネルは有効になりません。802.11アドホックモードでは必ずSSIDを入力する必要があり、空白のままにすることはできません。802.11アドホックネットワークに参加する機器には同じSSIDを設定し、さらにネットワークグループで同じIPアドレスを持つことが推奨されます。

16. IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはどのような場合に設定する必要がありますか？

ワイヤレスネットワークにDHCPサーバーがない場合は、ネットワーク接続のためのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。これらを設定しないと、OSが別のネットワークグループIPアドレスを設定するため、ワイヤレスネットワークに接続できなくなります。

17. IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはどのように設定するのですか？

222、223ページを参照してください。

18. ワイヤレス接続ではどの通信速度を選択するべきですか？

自動的に最適な通信速度を調整して、その他の低速の802.11無線デバイスと互換性を保つように、「ワイヤレスLANマネージャー」の「管理」タブの「転送速度」で「自動」を選択することを推奨します。

19. WEPとは何ですか？

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、ワイヤレスネットワークへの不正アクセスを防ぐセキュリティサービスです。

20. Bluetoothと同時に使えますか？

使用できますが、同一の周波数帯を使用するため、相互に干渉して通信速度が下がったり、通信できない場合があります。

21. 無線LANは何種類のWEPセキュリティモードをサポートしていますか？

IEEE802.11b無線LANデバイスにより構築されたワイヤレスネットワークでは、WEPセキュリティを無効にする「無効」、5バイト16進値をサポートする「64ビット」、13バイト16進値をサポートする「128ビット」の3つのモードが利用できます。

22. WEPセキュリティを設定するにはどうしたらいいですか？

次のように設定します。

1. 「スタート」→「設定」→「システム」タブをタップする
2. 「ワイヤレスネットワーク」から接続するネットワークを選択する
3. 「ネットワークキー」タブの「認証」で「共有」または「オープン」を選択し、「データ暗号化」で「WEP」を選択し、「ネットワークキー」、「キーインデックス」を設定する

お知らせ

- 接続するためには、WEPモード、ネットワークキー、キーインデックスがワイヤレスネットワークと正確に一致する必要があります。WEPの設定例は次のとおりです。
- WEPモード「64ビット」：
  ネットワークキー「1234567890」、キーインデックス「1」
- WEPモード「128ビット」：
  ネットワークキー「12345678901234567890123456」、
  キーインデックス「1」
- WEPモード「無効」

23. 無線LANの動作範囲はどれぐらいですか？

通信速度と環境の条件に依存します。通信速度が高いと、通信範囲が狭くなります。11Mbpsの場合、屋外の環境では300mまで通信できます。屋内の環境では100m程度に制限されます。無線周波数の干渉や、天井、壁への信号の反射などにより、屋内での範囲は屋外の範囲より狭くなります。

24. 通信速度はどのように選べばいいのですか？

「ワイヤレスLANマネージャー」の「管理」タブの「転送速度」をチェックし、「自動」、「11Mbps固定」、「5.5Mbps固定」、「1or2Mbps」、「2Mbps固定」、「1Mbps固定」の6つの通信速度オプションから選択できます。

通信デバイス間の距離が遠いほど、より遅い通信速度を使用する必要があります。基本的に、通信速度が遅いほど、データ転送の信頼性は高くなります。どの通信速度を使用するべきか分からない場合は「自動」を選択します。この場合、アクセスポイントやその他の接続されたモバイルデバイスから離れると、通信速度が自動的に、11Mbps→5.5Mbps→2Mbps→1Mbpsと段階的に下がります。

25. 無線LANの電力消費量を抑えるにはどうしたらいいですか？

- ワイヤレスネットワークを使用していないときは、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOffにしてください。
- ナビゲーションバー上の無線LANインジケータアイコンをタップし「無線LANの電波を切る」をタップしてください。
- 「スタート」→「設定」→「システム」タブを開き、「ワイヤレスLANマネージャー」の「省電力」タブで省電力設定後「適用」をタップしてください。

お知らせ

- ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOffにすると、ワイヤレスネットワークが切断されます。Offにする前にすべてのワイヤレス接続を閉じてください。
- 無線LANインジケータアイコンの「無線LANの電波を切る」をタップすると、ワイヤレスネットワークが切断されます。その前にすべてのワイヤレス接続を閉じてください。

26. 無線LANソフトウェアが適切にインストールされ、無線LANが正常に動作していることを確認するにはどうしたらいいですか？

- 「スタート」→「設定」→「接続」タブを開き、「ネットワークカード」の「ネットワークアダプタ」タブに「IEEE802.11b WLAN Adapter」があるか確認してください。もしなければ、無線LANドライバが適切にインストールされていません。

- 「スタート」→「設定」→「システム」タブを開き、「ワイヤレスネットワーク」「ワイヤレスLANマネージャー」があることと、正常に開くことができるかどうかを確認してください。
- 「スタート」→「設定」→「システム」タブを開き、「ワイヤレスLANマネージャー」の「リンク」タブをタップして現在のリンク情報を確認してください。

機器認証ツール

1. コンパニオンCDに収録されている「機器認証ツール」をインストールして機器認証に対応した通信カードでの通信中、通信が切断されたのですが、どうしたらいいですか？

無線LANなどのほかの通信と同時に使用できません。ほかの通信を開始すると、機器認証に対応した通信カードの通信は切断されます。

海外での使用

1. 海外で利用できますか？

本製品の仕様は、日本国内向けとなっています。海外での使用は考慮しておりません。

2. 海外で修理できますか？

本製品は、日本国内向け商品となっています。海外での修理はできません。

その他

1. スタイラスをなくしてしまったのですが、どこで買えますか？

本製品をお買い求めの販売店で、別売りのスタイラスをご購入ください。

2. 本体は、防水、防滴、防塵機能はついていますか？

本体には防水、防滴、防塵機能はありません。

3. 本体は、落下、衝撃、振動に耐えられますか？

本体には落下、衝撃、振動に耐える構造にはなっていません。お取り扱い時はご注意ください。

2. 警告メッセージ

メッセージ	原因／対処
メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。	バッテリパックの充電残量が少なくなっています。すみやかにバッテリパックを充電してください（参照 12ページ）。 満充電をしてもこのメッセージがすぐに出るようでしたらバッテリパックの寿命が考えられます。新しいバッテリパック（別売品）に交換してください。
バッテリ不足です USB機器をお使いになれません。	バッテリパックの充電残量が約15%以下になったため、USB機器に必要な電力を供給できません。 バッテリパックの充電を行うか、本体にACアダプタを接続してください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。
USBの過電流を検出 USB機器への電源供給がカットされました。 USB機器をはずしてください。	接続しているUSB機器に問題が発生しました。USBポートを再び使用するには、1度本体の電源をオフにするか、本体をリセットしてください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。
許容電力オーバー USB機器の接続が多すぎます。	接続しているUSB機器の消費電流が大きすぎて、USBポートに供給できる電流を超過しました。USBポートに供給可能な電流は、合計で500mAまでです。USB機器接続内容を確認してください。 上記の確認後も、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。

3. Bluetoothに関する警告メッセージ

COM/DUNサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	原因/対処
Bluetoothでエラーが発生しました。カードまたは電源を確認してください。	ドライバのロードでエラーが発生しました。Bluetoothデバイスの電源をオンにしてください。Bluetooth SDカードを使用している場合は、カードを正しく挿入してください。
マイデバイス情報の取得に失敗しました。	本製品をリセットしてください。
メモリ不足のため、マイデバイス情報の取得に失敗しました。空き領域を確認してください。	本製品をリセットし、メモリ領域を増やしてから、「Bluetooth設定」を起動してください。
メモリ不足のため、リモートデバイス検索を中止しました。空き領域を確認してください。	メモリ領域を増やして、リモートデバイス検索を再実行してください。
リモートデバイス情報の取得に失敗しました。	デバイスリストの再表示、または再検索を実行してください。
リモートデバイス情報の更新に失敗しました。	通信環境によっては、相手のサービスが検出できないことがあるので、デバイスの再検索を実行してください。または本製品をリセットしてください。
リモートデバイス数が制限値（MAX:255）を超えています。不要なリモートデバイスを削除してください。	不要な行方不明デバイスを削除し、デバイスの再検索を実行してください。リモートデバイスが255件以上検索される場合は、表示できないデバイスもあります。
リモートデバイスの削除に失敗しました。	デバイス削除を再実行してください。または本製品をリセットしてください。
入力されたデバイス名が最大バイト数（248バイト）を超えました。再度入力してください。	マイデバイス名の文字数が多すぎます。マイデバイス名を半角英数字で最大248文字、日本語で最大124文字に変更して再登録してください。
取得情報に一部無効な情報があります。	デバイス情報の一部に無効な情報があります。デバイスリストの再表示を実行してください。またはデバイス検索を実行し、情報を取り直してください。
メモリ不足のため、リモートデバイスの削除に失敗しました。空き領域を確認してください。	処理に必要なメモリ容量が不足しています。メモリ領域を増やして、デバイス削除を再度実行してください。

COM/DUNサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	**原因/対処**
メモリ不足のため、サービスリスト検索を中止しました。空き領域を確認してください。	メモリ領域を増やして、サービスリスト探索を再度実行してください。
サービス数が制限数（MAX:30）を超えています。	本製品の検出サービス数の上限30を超えるサービスが検出されました。リモートデバイス側で、不要なサービスを削除してから、再更新してください。
Bluetoothの接続に失敗しました。Bluetooth設定ユーティリティで、状態を確認してください。	接続処理で何らかのエラーが発生しました。状態を確認して、接続を再実行してください。
切断に失敗しました。状態を確認してください。	切断処理で何らかのエラーが発生しました。本製品をリセットしてください。
サービス情報の更新に失敗しました。	原因１：サービス更新で何らかのエラーが発生しました。 原因２：Bluetoothパスキーを20秒以内に入力しなかったので、タイムアウトになりました。 原因３：間違ったBluetoothパスキーを入力しました。 原因４：サービスが１つもありません。 対処　：サービス更新を再実行してください。
接続登録がされていません。Bluetooth設定ユーティリティで、接続登録してください。	接続登録をして、接続を再実行してください。
接続登録情報の削除に失敗しました。	本製品をリセットしてください。
内部処理エラーが発生しました。	本製品をリセットしてください。
ディスカバリーモードの設定において、内部処理エラーが発生しました。	本製品をリセットしてください。
コネクタビリティモードの設定において、内部処理エラーが発生しました。	本製品をリセットしてください。
セキュリティモードの設定において、内部処理エラーが発生しました。	本製品をリセットしてください。

COM/DUNサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	**原因/対処**
暗号化設定において、内部処理エラーが発生しました。	本製品をリセットしてください。
デバイス名の登録に失敗しました。変更前のデバイス名が継続されます。	再度接続登録を実行してください。
不正な文字が入力されました。再度入力してください。	登録デバイス名にスペース文字だけ、または何も入力されていません。スペースだけでない文字列を入力し、再度登録してください。
サービス情報の取得に失敗しました。	サービスリストの再表示を実行してください。
接続情報の登録に失敗しました。	「Bluetooth設定」を閉じ、本製品の電源を一度切り、再度入れてください。または本製品をリセットしてください。
接続情報の取得に失敗しました。	「Bluetooth設定」を閉じ、本製品の電源を一度切り、再度入れてください。または本製品をリセットしてください。
( ) アイコンが表示されない。	「ワイヤレスコントロール」で「Bluetooth™」をオンに設定してください。すでにオンになっている場合には、本製品をリセットしてください。

OPPサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	**原因/対処**
指定デバイスと接続できません。	Bluetooth通信の接続、または認証手続き、またはOPPサービスの接続に失敗しました。
相手デバイスに要求を拒否されました。 相手デバイスがこの機能をサポートしていません。	リモートデバイスが、OPPサービスをサポートしていません。
オブジェクトの送信に失敗しました。	電波が原因の通信のエラーなどにより、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「名刺」の送信に失敗しました。
オブジェクトの受信に失敗しました。	電波が原因の通信のエラーなどにより、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「名刺」の送信に失敗しました。
送信する項目を選択してください。	送信する項目が選択されていません。
メモリの空き容量が少ないため、受信データをすべて格納できませんでした。	メモリの容量不足により連絡先、予定表、仕事を保存できませんでした。必要のない保存データを削除して、メモリ領域を増やしてください。
オーナー情報に名前が設定されていません。	オーナー情報の「名前」の項目に名前が入力されていません。オーナー情報の設定を行ってください。「名前」は必須です。
Bluetooth設定が起動されていません。	ワイヤレスコミュニケーションスイッチがオンになっていることを確認してください。また、「ワイヤレスコントロール」で「Bluetooth™」がオンになっていることを確認してください。
Bluetooth受信プログラムが動作中のため、起動できません。	「Bluetooth受信」プログラムが起動中、または「連絡先」、「予定表」、「仕事」のいずれかでBluetooth通信をしようとしてポップアップメニューを表示させた状態で、新たに「連絡先」、「予定表」、「仕事」でBluetooth通信を始めようとしました。 「Bluetooth受信」プログラムが起動中、または「連絡先」、「予定表」、「仕事」のどれか１つBluetooth 通信の動作中になっているときは、他で新たにBluetooth通信を始めることはできません。１つを終わらせてから、次のBluetooth通信を始めてください。

OPPサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	**原因/対処**
Bluetooth送信プログラムが動作中のため、起動できません。	Bluetooth送信でのデバイス検索画面の最中に、Bluetooth受信プログラムを実行しました。起動中のデバイス探索画面を終了して、再度実行してください。
Bluetooth設定に異常が発生したため、実行できません。	Bluetooth設定プログラムの初期設定にエラーが発生し、処理が継続できません。本製品をリセットしてください。
メモリ不足のため処理を中断しました。	作業バッファが確保できないなど、メモリの容量不足が発生しました。他の起動中のプログラムを中止するか、本製品をリセットしてください。
デバイス情報の取得に失敗しました。 名刺の送信に失敗しました。 名刺の受信に失敗しました。 名刺の送受信に失敗しました。 受信データの保存に失敗しました。	不正なデータを受信しました。またはメモリ容量不足以外の理由で「連絡先」、「予定表」、「仕事」のデータを保存できませんでした。接続先相手のデバイスが、本製品がサポートしているデータ形式でデータを送っているか確認してください。
相手デバイスから応答がありません。	接続、送受信の要求に対してリモートデバイス(サーバー)から一定時間応答がありませんでした。リモートデバイスが正常に動作しているか確認してください。
不正なデータのため送信できません。	送信時のデータ変換でエラーが発生しました。
内部エラー発生により処理を中断しました。	内部エラーにより、処理の継続ができなくなりました。本製品をリセットしてください。

FTPサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	**原因/対処**
FTPクライアントが動作中のため、FTPサーバーは起動できません。	マイデバイス側としてBluetooth FTP(クライアント) を起動しているとき、周辺デバイスからBluetooth FTP(サーバー)の起動要求が届きました。Bluetooth FTPを終了すれば、周辺デバイスからのBlurtooth FTP(サーバー)の起動要求が受けられます。
FTPサーバーが動作中のため、FTPクライアントは起動できません。	マイデバイス側としてBluetooth FTP(サーバー)が起動しているのに、Bluetooth FTPの起動操作を行いました。マイデバイス側でBluetooth FTPを終了し、マイデバイス側のBlurtooth FTP(サーバー)を終了させてから、Bluetooth FTPの起動操作を行ってください。
"ファイル/フォルダ名”を削除することができませんでした。	削除時にエラーが発生した。または指定されたフォルダ内に別野ファイルやフォルダが存在しています。フォルダ内の別野ファイルやフォルダを取り除き、再度削除の操作を行ってください。
読み取り専用のファイルは削除することができません。	マイデバイス側からリモートデバイス側のファイルを削除しようとしましたが、読み取り専用のファイルなので削除できませんでした。
指定されたファイル／フォルダ名は既に存在します。別の名前を指定してください。	変更して入力しようとした名前は、既に存在していました。別の名前にして入力してください。
ファイル／フォルダ名を入力してください。	変更後の名前が何も入力されていないか、または半角スペースのみ、または先頭がピリオド（.）になっています。正しい名前を入力してください。
ファイル／フォルダ名に次の文字は使えません。¥/; , : * ? " < > ¦	名前に使用できない文字を入力しました。使用できる文字だけで名前を入力し直してください。
ファイル／フォルダ名を変更することができませんでした。	入力した名前が長すぎるなどの理由で処理エラーになりました。短い名前にして入力してください。
フォルダ名を入力してください。	作成、変更後の名前が何も入力されていないか、または半角スペースのみ、または先頭がピリオド（.）になっています。正しいフォルダ名を入力してください。

FTPサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	**原因/対処**
ファイル／フォルダ名に次の文字は使えません。¥/;,:*?"<>¦	新しいフォルダ名に使用してはいけない文字が入力されました。使用できる文字だけで名前を入力し直してください。
フォルダ名を作成することができませんでした。	入力した名前が長すぎるなどの理由で処理エラーになりました。短い名前にして入力してください。
指定されたファイルを実行することができませんでした。	「実行」または「受信/実行」の操作を行いましたが、指定したファイルは実行形式ではありませんでした。あるいは関連付けられたアプリケーションソフトがありませんでした。
接続先サーバーが選択されていません。サーバーの選択を行ってください。	接続するデバイスが選択されていません。
送信（または受信）に失敗しました。処理を中断します。	送信、受信、削除、フォルダ情報取得で失敗しました。再度操作をやり直してください。
ファイル受信中に保存領域が超過しました。処理を中断します。	ファイルやフォルダの受信または受信/実行をしているとき、ファイル格納先領域が不足しました。必要のない保存データを削除して、メモリ領域を増やし、再度実行してください。
サーバーに接続できませんでした。処理を中断します。	ファイルの送信、受信をしようとしましたが、リモートデバイスに接続できませんでした。
使用可能なCOMポートの取得に失敗しました。プログラムを終了します。	自動接続時にCOMポートの自動オープンに失敗しました。
OBEX認証パスワードに使用できない文字があります。再入力してください。	リモートデバイスのFTP（サーバー）画面、「ツール」→「オプション」からFTP認証のパスワードを入力するとき、使用できない文字種がありました。使用できる文字種はASCIIコード文字です。
フォルダの移動または情報取得に失敗しました。	再度実行してください。
レジストリ異常	処理に必要なレジストリデータに異常がありました。
相手から応答がありません。アプリケーションを終了します。	接続、切断、サーバー検索を行いましたが、応答がなく、タイムアウトエラーになりました。先にマイデバイス側で「Bluetooth FTP」を終了してください。

FTPサービス時のエラーメッセージ	
メッセージ	原因/対処
内部処理エラーが発生しました。処理を中断します。 処理を行うためのメモリが確保できません。処理を中断します。	必要のない保存データを削除して、メモリ領域を増やし、再度実行してください。
同じ名前のファイル（またはフォルダ）が存在します。転送をスキップします。	ファイル（またはフォルダ）を受信するとき、すでに同一名のフォルダ（またはファイル）があります。
サーバー検索中にエラーが発生しました。	周辺デバイスの検索に失敗しました。もう一度実行してください。
Bluetooth設定が起動されていません。	ワイヤレスコミュニケーションスイッチがOnになっていることを確認してください。また、「ワイヤレスコントロール」で「Bluetooth™」がオンになっていることを確認してください。
“フォルダ名”が存在しません。	マイデバイス側で参照しようとしたフォルダが存在していませんでした。
通信エラーが発生しました。	FTPプログラムが通信エラーを検出しました。再度実行してください。OBEX 認証をサポートしない相手から接続する場合は、FTPサーバー設定のOBEX認証を行わないようにしてください。

4. リセットと初期化の方法

リセットする

リセットはパソコンの「再起動」に相当します。ボタンやタップが働かなくなったなどの異常が発生した場合にリセットを行ってください。

お願い

- リセットした場合、保存されていない作業中のデータは消去されます。すでに保存したデータは、消去されません。

1 電源を入れた状態で、リセットスイッチをスタイラスで押して離す

「Today」画面が表示されます。

お知らせ

- リセットを行っても、正常な状態に戻らない場合は、初期化を行ってください。

初期化する

初期化すると、ご購入時の状態に戻ります。リセットを行っても正常に戻らない場合に行ってください。

お願い

- 初期化した場合、本体内メモリに保存したすべてのデータが消去されます。最初から内蔵されているプログラムなどは消去されません。
- 初期化する前に、本体内メモリに保存したデータは、あらかじめバックアップをとっておいてください。
- 初期化する前にメモリカードは抜いてください。メモリカード内の記憶データが消去される可能性があります。
- 初期化してもFlash ROM Diskの内容は残ります。ファイルやフォルダの消去は、ファイルエクスプローラなどで行ってください。

1 **電源スイッチを指で押しながら、リセットスイッチをスタイラスで押す**

2 **画面が表示されたら、リセットスイッチからスタイラスを離す**

3 **電源スイッチから指を離す**

- 初期化が終了すると、「Pocket PC」の画面が表示されます。「初期セットアップ」（参照 19ページ）したときと同じように画面に従ってセットアップを行ってください。

5. アフターサービスについて

ご使用中に異常が発生したときは、「Q&A」や「警告メッセージ」をお読みになり、もう１度お調べください。
それでも異常が解決できないときは、「東芝PC集中修理センタ」に修理をご依頼ください。

□本製品の修理サービスは

東芝PC集中修理センタ

0120-86-9192（ハロー クイックニ）

※受付時間／9:00～17:30（祝祭日・当社特別休日を除く）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様は、TEL 043-278-8122で受け付けております。

修理形態

■無料修理（保証修理）

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

ご注意：消耗品（バッテリパック、タッチスクリーン、スタイラス、内蔵電池等）の交換は有料修理です。

■有料修理

保証書に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

部品について

■部品の交換

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

■保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から６年６ヶ月です。

□本製品についての技術的なご質問、お問い合わせは

「東芝 PC ダイヤル」

TEL 0570-00-3100（ナビダイヤル：全国共通電話番号）

受付時間／ 9:00 ～ 19:00（年中無休）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、TEL 043-298-8780で受け付けております。

6. 消耗品について

本製品に使用している下記の部品は、機器のご利用と共に消耗します。

- バッテリパック
- タッチスクリーン
- スタイラス
- 内蔵電池

これらの部品の消耗による交換は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

ローマ字入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ	いぇ	よ
YA		YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ		うぇ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
NN N の次に子音、続けて母音 (例) SANKOU→さんこう				

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA XA	LI XI LYI	LU XU	LE XE LYE	LO XO
っ				
LTU XTU 子音を重ねて母音 (例) KAKKO→かっこ				
ゃ		ゅ		ょ
LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
ゎ				
LWA XWA				

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

くぁ				くぉ
KWA				QWO QO
くゃ	くぃ	くゅ	くぇ	くょ
QYA	QYI	QYU	QYE	QYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
FA	FI FYI		FE FYE	FO
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO

索引

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

ヒ

フ

付録

主な仕様

本製品の仕様は、日本国内向けになっています。
海外でのご使用は考慮しておりません。

製　品　名	GENIO e830W	GENIO e830
ＯＳ	Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition software for Pocket PC 日本語版	
外形寸法	幅：77mm×奥行：16.7mm × 高さ：１３５mm（突起部を除く）	
周辺環境条件	動作時　温度0～40℃、湿度30～80%（ただし結露しないこと） ・充電可能温度　約5～35℃ （動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。）	
バッテリパック メモリ保持時間*1	リチウムイオン充電池（1320mAh） 約72時間（オプションを付けない状態で、電源がONできなくなってから、周囲温度25℃で放置した場合）	
内蔵電池	ニッケル水素充電池（バッテリパック脱着時の一時的なメモリ保持用）	
プロセッサ	Intel Xscale® マイクロアーキテクチャに基づく インテル PXA 272プロセッサ 520MHz*2	
メモリ容量	RAM：128MB（SDRAM） ROM：64MB(Flash ROM)* ＊うち24MBをFlash ROM Diskとして使用可能	
ディスプレイ	4.0型TFTカラー液晶（半透過型） 480×640ドット、65,536色	
CFカードスロット SDカードスロット	CFメモリカードまたはCF＋カードが挿入可 TYPE Ⅰ／TYPE Ⅱの3.3Vのみ対応 SDメモリカード*3またはSDIOカードが挿入可（SDIO NOW!対応）	
赤外線ポート	IrDA Ver.1.2準拠、データ転送速度　最大115.2kbps	
外部機器接続端子	ヘッドホン端子*4（φ3.5mmステレオミニプラグ） クレードル接続ポート 電源コネクタ	
ACアダプタ	入力電源条件　AC100V、50／60Hz、38VA 定格出力　DC5V、3A	
無線LAN 規格 無線周波数帯 中心周波数 最大通信速度*5 その他	IEEE802.11b 2.4GHz帯（1-11チャンネル） 2412～2462MHz 11M/5.5M/2M/1M（bps） WiFi準拠、64／128bit WEP対応、WPA対応	—
Bluetooth™ 規格 無線周波数帯 最大通信速度*6	Bluetooth Specification Ver.1.2 2.4GHz帯（2402～2480MHz） 約720kbps（非対称型通信時） 約430kbps（対称型通信時）	—

＊1 メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。
＊2 Intel® PXA27xプロセッサ･ファミリ用に作られたアプリケーション以外では、プロセッサの性能を十分に発揮できないことがあります。
＊3 SD（Secure Digital）Card 規格、SDIO Card 規格（Ver.1.0）準拠。SD メモリカードのセキュリティ機能は利用できません。SD メモリカードのセキュリティ機能に対応した機器で暗号化されたデータは使用できません。
＊4 ヘッドセット（営業型番 PAHDS001　別売品）を使用可能。
＊5 表記の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
＊6 表記の数値は、Bluetooth V1.2 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書に乱丁、落丁があればお取り替えいたします。

2004年8月　第1版発行

発行　株式会社**東芝** PC＆ネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

©2004 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED

無断複製および転載を禁ず

MPW1342B